

Panasonic®

■本機はP2HD 5年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは122ページをご覧ください。

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー
品番 AG-HPX175

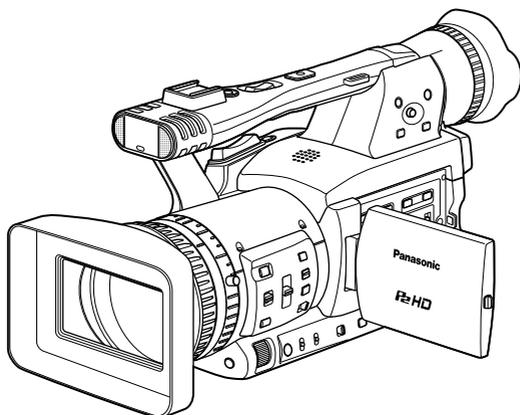
P2HD

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DV



LEICA
DICOMAR

SD
HG

SD

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

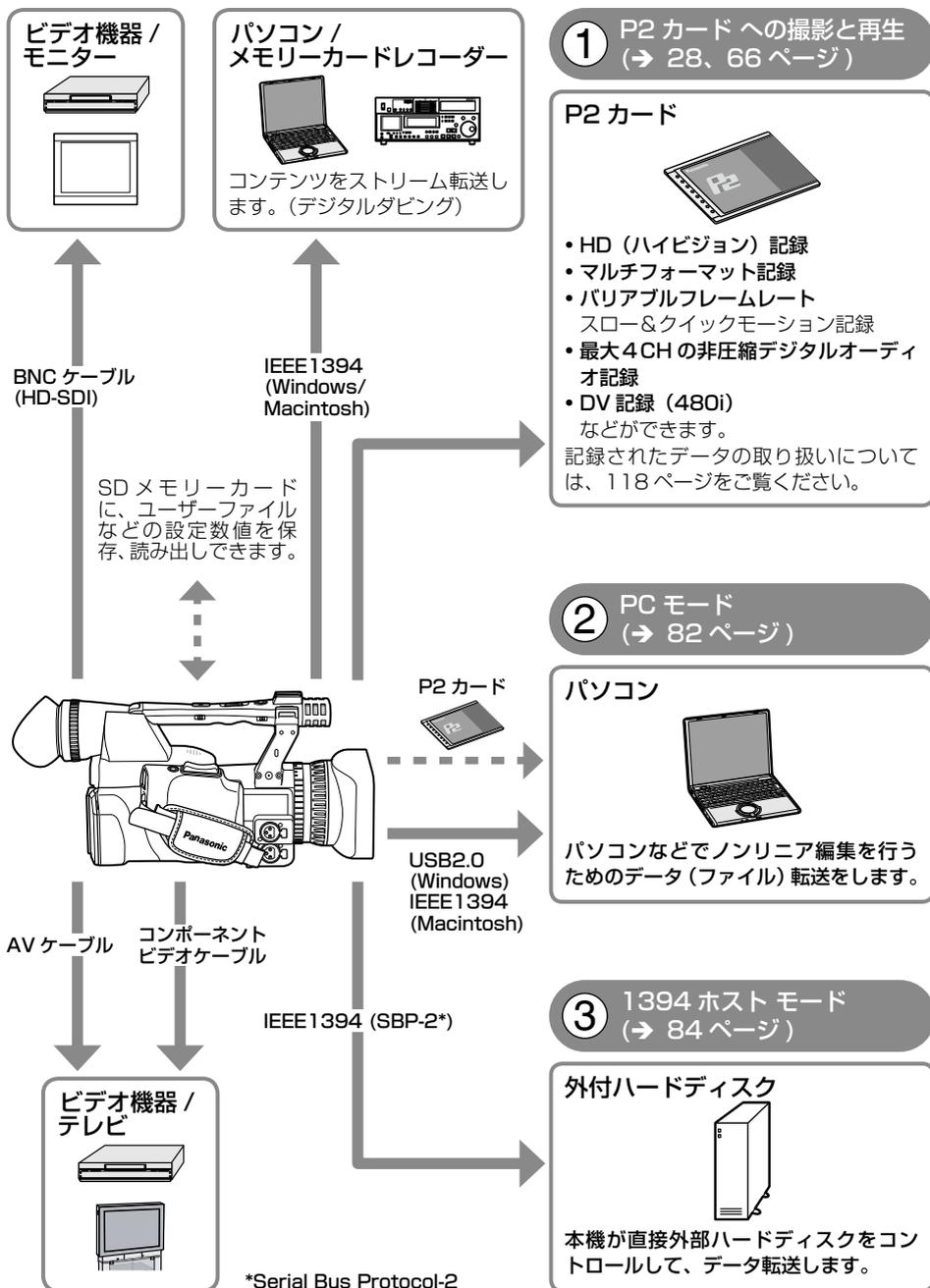
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本機の使いかた

本機では、P2 (Professional Plug-in) カードで記録することができます。
 大容量で転送速度にすぐれた P2 カードは、HD (ハイビジョン) 記録を始めとして、スムーズな編集や
 ダビングが行えますので、ハンディカメラながら高度な映像作りを行うことができます。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…	
	<ul style="list-style-type: none">■指定以外のものを使わない■端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない■分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしてしない■電子レンジやオープンなどで加熱しない■炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。) ⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては 10 ページをご参照ください。 ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">■本機専用の AC アダプターで充電する (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)

AC アダプターは…	
	<ul style="list-style-type: none">■本機専用のバッテリー以外の充電には使わない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)



警告

カメラレコーダーや付属品は…



■ 乗り物を運転しながら使わない

(事故の誘発につながります。)

⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

(火災の原因になります。)

⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

■ 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない

(本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。)
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、
皮膚感覚が弱い人など (高齢者) は、低温やけどになりやすい傾向があります。



接触禁止

■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

■ 分解や改造をしない

(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)

⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。



電源プラグ
を抜く

■ 異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く

[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、
煙や異臭、異音などが出たとき]

(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)

⇒ AC アダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。

⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

⇒ 販売店にご相談ください。

リモコン用のコイン電池は…



■ + と - は逆に入れない

■ 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない

■ ネックレスなどの金属物と一緒にしない

■ 指定外の電池は使用しない

(液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺破損の原因になることがあります。)

⇒ 電池の交換方法は 21 ページを参照して下さい。

警告 (つづき)

ACアダプターは…



- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない
〔傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100V ~ 240V 以外での使用はしない
(感電・火災の原因になります。)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない
(感電・火災の原因になります。)



- 電源プラグは、根元まで確実に差し込み、ほこり等は定期的に取り
(感電・火災の原因になります。)
⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
⇒ 電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

小さな付属品は…



- メモリーカード、コイン電池、マイクホルダー用ネジ、マイクホルダーアダプター、フェライトコア、INPUT 端子キャップは乳幼児の手に届くところに置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

カメラレコーダーは…



- **レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない**
(レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)
- **三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない**
(三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
- **コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない**
(コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

カメラレコーダーや付属品は…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)]
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- **コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない**
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)



- **飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う**
(本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。)
⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。



電源プラグ
を抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛用頂きまして誠にありがとうございます。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常な低価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、カメラに水が入らないようご注意ください。

- カメラやカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

電磁波を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)からカメラを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピューターから放出される電磁波は、カメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後カメラの電源を入れます。

カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようご注意ください。

- 砂やほこりでカメラやカードが破損することがあります。(カードを出し入れる時にはご注意ください。)

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりする時、もしくはバッテリーが長期間使用されずに放電したままになっている時、[CHARGE] ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まりません。
- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続ける時は、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くなります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ:
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-Ion

カメラを持ち運ぶ時、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶ時は、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いってください。

カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげることがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった 5 分ほどしかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラからバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、カメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、カメラやACアダプター側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡する時のお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。 廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源を OFF にしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えないものではありません。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- カメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けしないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

ご使用の前に

ためし撮りをしましょう

- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前のためし撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。（→ 27 ページ）

録画内容の補償はできません

- 本機および P2 カードの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたがカメラで録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

レーザー光線についてのご注意

- レーザー光線が CCD に照射されると、CCD を破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

1394 ケーブルで接続する時のご注意

- Windows :
本機の電源を切り、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。
- Apple Macintosh :
Macintosh の電源を入れた後、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。
（→ 79、80 ページ）

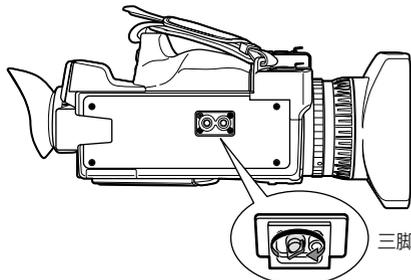
本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

- P2 カード（→ 30、118 ページ）
- SD/SDHC メモリーカード（→ 32、119 ページ）

三脚の取り付けについて

三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。

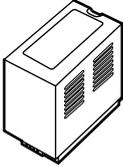
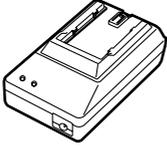
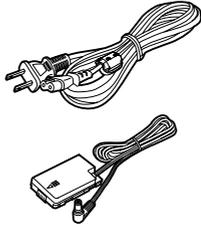
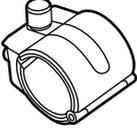
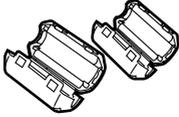


三脚取り付け穴に三脚を取り付ける。

その他の使用上の注意については 10 ページをご覧ください。

付属品

はじめに

バッテリー*1 	AC アダプター 	AC コード / DC コード 	ワイヤレスリモコン リモコン用コイン電池 (CR2025) 
アイキャップ 	マイクホルダー 	マイクホルダー用ネジ 長さ 6 mm (2 個)  長さ 12 mm (2 個) 	マイクホルダー アダプター 
ショルダーベルト 	コンポーネント映像ケー ブル 	フェライトコア*2 長さ 30 mm (2 個)  長さ 35 mm (2 個) 	CD-ROM 

以下の付属品は本体に取り付けられています。

レンズフードキャップ 	INPUT 端子キャップ (2 個) 
---	--

*1: 「バッテリー」の品番につきましては、別売品の項目 (➔ 下記) を参照してください。

*2: 1394 ケーブル (別売)、USB ケーブル (別売) を使う時に、ケーブルの両端に取り付けます。(➔ 79 ページ)

• AC コードキャップおよび包装材料は商品を取り出した後、適切に処理をしてください。

別売品

- 超指向性マイクロホン
AG-MC200G
- バッテリー
VW-VBD55 (5400 mAh: 付属のバッテリーと同等品)

本書の見かた

本書内のイラストについて

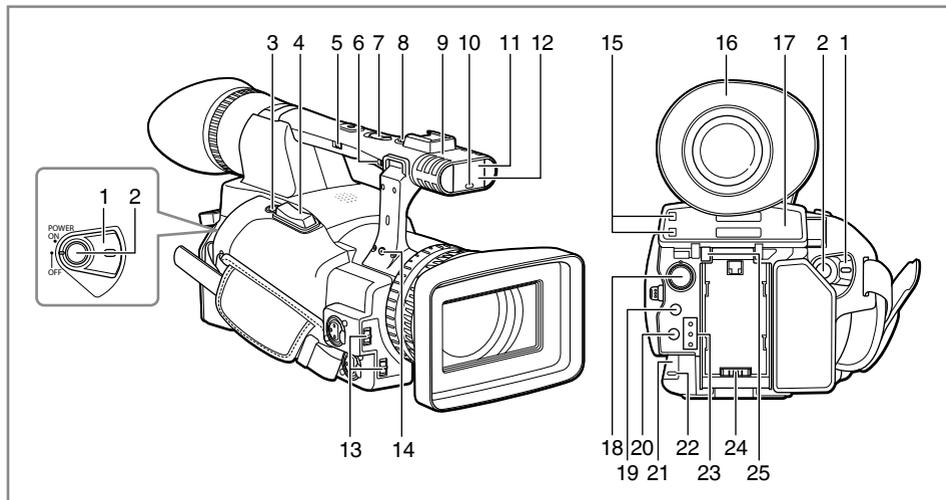
- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

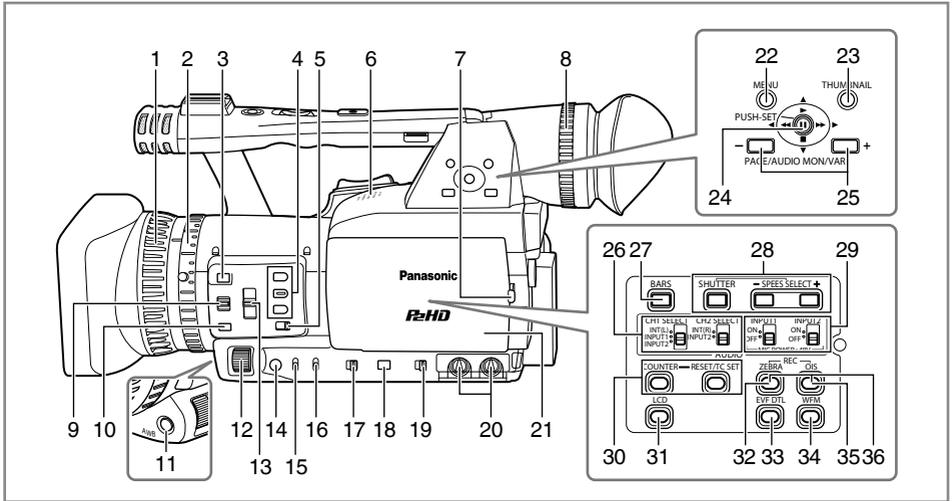
- 本書では、参照ページを (➔ @ ページ) のように示しています。

各部の名称

右面、後面



- 1 POWER スイッチ (→ 22 ページ)
- 2 START/STOP ボタン (→ 28 ページ)
- 3 REC CHECK ボタン (→ 28 ページ)
- 4 ズームボタン (→ 33 ページ)
- 5 HANDLE ZOOM スイッチ (→ 33 ページ)
- 6 REC 切替スイッチ (→ 43 ページ)
- 7 ズームボタン (ハンドル側) (→ 33 ページ)
- 8 START/STOP ボタン (ハンドル側) (→ 28 ページ)
- 9 マイクロホン (内蔵、ステレオ) (→ 54 ページ)
- 10 タリーランプ (フロント) (→ 22 ページ)
- 11 リモコンセンサー (フロント) (→ 21 ページ)
- 12 ホワイトバランスセンサー (→ 41 ページ)
- 13 INPUT 1/2 (音声入力切替) スイッチ (→ 54 ページ)
- 14 ズームリングピン取り付け穴 (→ 15 ページの2)
- 15 P2 カードアクセスランプ (× 2) (→ 29 ページ)
- 16 ビューファインダー (→ 23 ページ)
- 17 P2 カード/SD メモリーカードスロット (カバー) (→ 28、32 ページ)
- 18 SCENE FILE ダイヤル (→ 35 ページ)
- 19 SLOT SEL ボタン (→ 47 ページ)
- 20 動作モードボタン (→ 28 ページ)
- 21 リモコンセンサー (リア) (→ 21 ページ)
- 22 タリーランプ (リア) (→ 22 ページ)
- 23 動作ランプ (→ 28 ページ)
- 24 電源端子 (→ 19 ページ)
- 25 バッテリー取り外しボタン (→ 19 ページ)

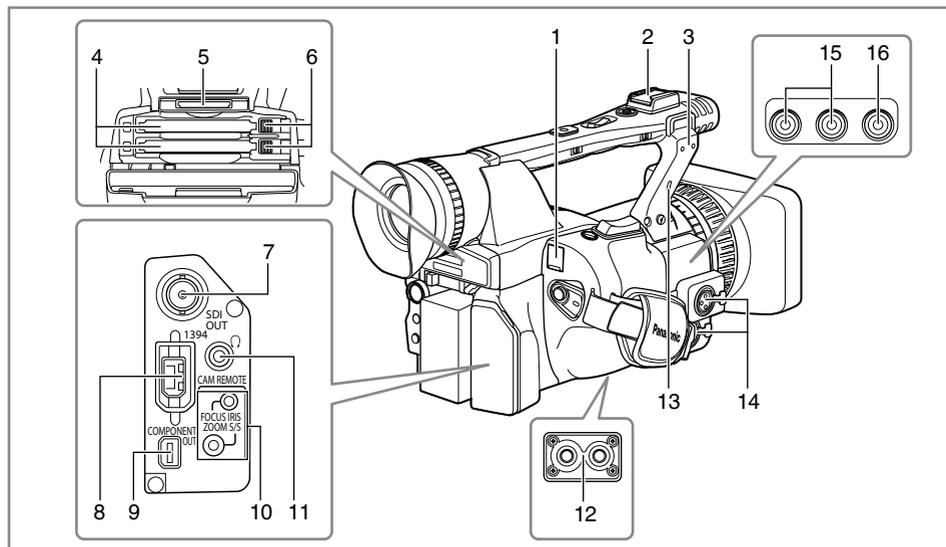


各部の名称

- | | |
|---|---|
| <p>1 フォーカスリング (→ 38 ページ)</p> <p>2 ズームリング (→ 33 ページ)
ズームリングのピンが不要な場合、ズームリングピン取り付け穴 (→ 14 ページの 14) に取り付け、紛失しないようにしてください。</p> <p>3 FOCUS ASSIST ボタン (→ 39 ページ)</p> <p>4 USER ボタン (→ 45 ページ)</p> <p>5 ZOOM スイッチ (→ 33 ページ)</p> <p>6 内蔵スピーカー (→ 77 ページ)</p> <p>7 OPEN ボタン (→ 24 ページ)</p> <p>8 視度調整ダイヤル (→ 23 ページ)</p> <p>9 FOCUS スイッチ (→ 38 ページ)</p> <p>10 PUSH AUTO ボタン (→ 38 ページ)</p> <p>11 AWB ボタン (→ 41 ページ)</p> <p>12 IRIS ダイヤル (→ 39 ページ)</p> <p>13 ND FILTER スイッチ (→ 40 ページ)</p> <p>14 IRIS ボタン (→ 39 ページ)</p> <p>15 GAIN スイッチ (→ 40 ページ)</p> <p>16 WHITE BAL スイッチ (→ 41 ページ)</p> <p>17 FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチ (→ 38 ページ)</p> <p>18 DISP/MODE CHK ボタン (→ 44 ページ)</p> <p>19 AUTO/MANUAL スイッチ (→ 28 ページ)</p> <p>20 AUDIO LEVEL つまみ (CH1、CH2) (→ 55 ページ)</p> | <p>21 液晶モニター (→ 24 ページ)</p> <p>22 MENU ボタン (→ 93 ページ)</p> <p>23 THUMB NAIL ボタン (→ 69 ページ)</p> <p>24 OPERATION レバー (→ 66、93 ページ)</p> <p>25 PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン (→ 46、76 ページ)</p> <p>26 CH1、CH2 SELECT スイッチ (→ 54 ページ)</p> <p>27 BARS ボタン (→ 45 ページ)</p> <p>28 SHUTTER、SPEED SELECT + / - ボタン (→ 52 ページ)</p> <p>29 INPUT1、2 スイッチ (MIC POWER + 48 V) (→ 54 ページ)</p> <p>30 COUNTER - RESET/TC SET ボタン (→ 61 ページ)</p> <p>31 LCD ボタン (→ 26 ページ)</p> <p>32 ZEBRA ボタン (→ 43 ページ)</p> <p>33 EVF DTL ボタン (→ 24 ページ)</p> <p>34 WFM ボタン (→ 46 ページ)</p> <p>35 OIS ボタン (→ 45 ページ)</p> <p>36 MCR REC ボタン (→ 86 ページ)
ZEBRA ボタンと OIS ボタンを同時に押すことで動作します。</p> |
|---|---|

各部の名称 (つづき)

端子部、取り付け部



1 USB 端子 (Mini-B) (→ 79 ページ)

2 ライトシュー

3 マイクロホンシュー (→ 78 ページ)

4 P2 カードスロット (→ 28 ページ)

5 SD メモリーカードスロット (→ 32 ページ)

6 P2 カード取り出しボタン (→ 31 ページ)

7 SDI OUT 端子 (→ 81 ページ)

8 1394 端子 (→ 79、80 ページ)

9 COMPONENT OUT 端子 (→ 81 ページ)

10 CAM REMOTE ジャック*

FOCUS/IRIS (3.5 mm ミニジャック)

リモコンを接続して、フォーカス (ピント) 操作、およびアイリス (絞り) 操作をリモート制御できます。

ZOOM S/S (2.5 mm スーパーミニジャック)
リモコンを接続して、ズーム操作と記録スタート/ストップの操作をリモート制御できます。

11 ヘッドホンジャック (3.5 mm ステレオミニジャック) (→ 78 ページ)

12 三脚取り付け穴 (→ 12 ページ)

13 セキュリティーロック穴

セキュリティー用ケーブルを取り付けることができます。
接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。

セキュリティーロックおよびセキュリティー用ケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

14 INPUT 1/2 端子 (XLR、3 ピン) (→ 78 ページ)

15 AUDIO OUT CH1/CH2 端子 (→ 81 ページ)

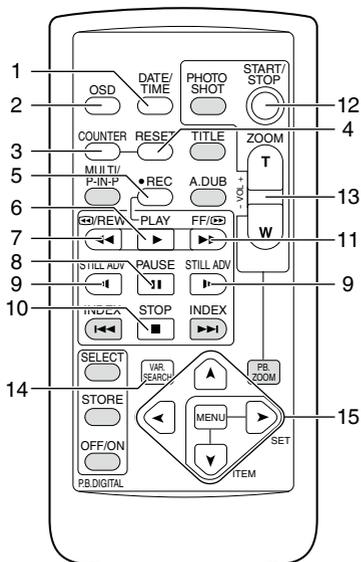
16 VIDEO OUT 端子 (→ 81 ページ)

* CAM REMOTE ジャックにはリモコン以外の機器を接続しないでください。リモコン以外の機器を接続すると、映像の明るさが変化したり、ピントが合わなくなったりすることがあります。

リモコン

下記に示すボタンは本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- PHOTO SHOT
- TITLE
- A.DUB
- MULTI/P-IN-P
- SELECT
- STORE
- OFF/ON
- PB.ZOOM
- INDEX



- 1 DATE/TIME ボタン (→ 77 ページ)
- 2 OSD ボタン (→ 77 ページ)
- 3 COUNTER ボタン (→ 61 ページ)
カメラ本体の COUNTER ボタンと同じ働きです。
- 4 COUNTER RESET ボタン (→ 61 ページ)
カメラ本体の COUNTER RESET ボタンと同じ働きです。
- 5 REC ボタン (→ 86 ページ)

<操作ボタン>

- 6 PLAY ボタン (▶) (→ 66、86 ページ)
- 7 ◀/REW ボタン (◀◀) (→ 66 ページ)
- 8 PAUSE ボタン (⏸) (→ 66 ページ)
本体の操作ボタンと同様に、MENU 操作の時は SET ボタンになります。
- 9 STILL ADV ボタン (◀◀, ▶▶) (→ 21 ページ)

- 10 STOP ボタン (■) (→ 66 ページ)
- 11 FF/▶▶ ボタン (▶▶) (→ 66 ページ)

<撮影操作 / 音量調節部>

- 12 START/STOP ボタン (→ 28 ページ)
本体の START/STOP ボタンと同じ働きです。
- 13 ZOOM/VOL ボタン (→ 33 ページ)
- 14 VAR. SEARCH ボタン (→ 76 ページ)
- 15 MENU ボタン (→ 93 ページ)
カメラ本体の MENU ボタンと同じ働きです。
[◀] [▶] [▲] [▼] ボタン
カメラ本体の OPERATION レバーと同じ働きです。

バッテリーの充電

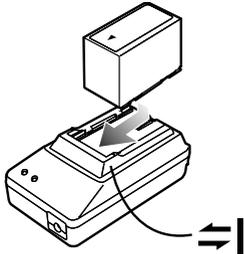
充電する

バッテリーを使用する前に、ACアダプターでフル充電を行ってください。

また、予備のバッテリーを1本用意されることをお勧めします。

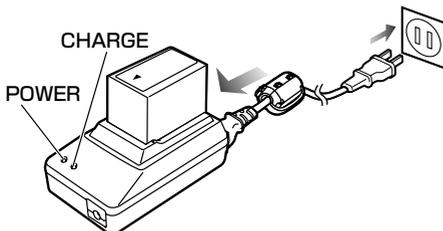
1 ACアダプターの ≡ | マークにそってバッテリーを水平ののせ、スライドさせる。

- ACアダプターにDCコードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していると、充電できません。



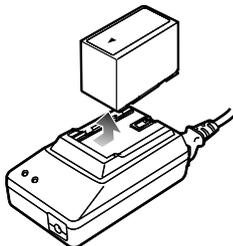
2 ACコードをコンセントに接続する。

- ACアダプターのPOWERランプとCHARGEランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けた時にCHARGEランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- 充電が終わると、ACアダプターのCHARGEランプが消灯します。

3 バッテリーをスライドさせて取り外す。



付属のバッテリーの充電時間と録画時間

容量	充電時間	連続録画可能時間
5400 mAh	約 330 分	約 160 分

- 上の表は液晶モニターを使わずに、DVCPRO HDモードで撮影した時の目安です。
- 上の表は、動作周囲温度20℃、動作相対湿度60%での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。

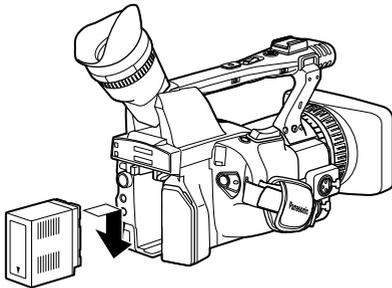
- バッテリーおよびカメラ本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 必要以上に録画と停止を繰り返すと、録画時間は上の表より短くなります。
- バッテリーは、放電した状態で保管してください。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、カメラで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりする時、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっている時は、CHARGEランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが過温でも、CHARGEランプが点滅し続ける時は、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時は、充電時間が通常より長くなります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ACアダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ACアダプターからカメラ本体に電源を供給している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- 別売バッテリーパックVW-VBD33C(1500mAh)は動作保証いたしません。

電源の取り付け・取り外し

バッテリーの取り付け・取り外し

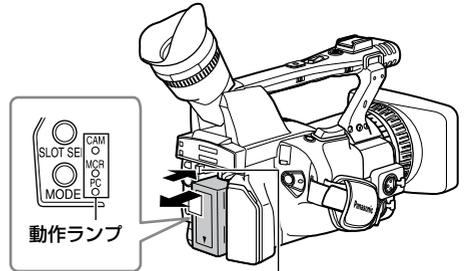
取り付け

- 1 カチッというまで入れる。



取り外し

- 1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながらバッテリーを持ち上げて取り外す。
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

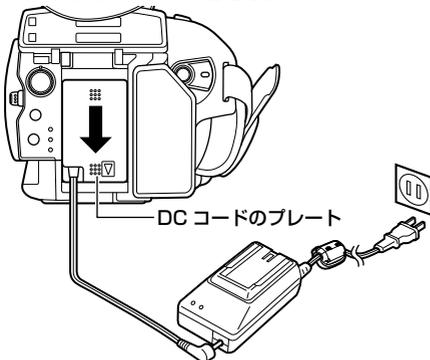


バッテリー取り出しボタン

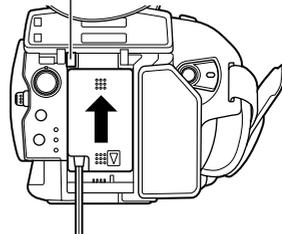
電源コードの取り付け・取り外し

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する。
- 2 AC コードをコンセントに接続する。
- 3 DC コードのプレートをカチッというまで矢印の方向にスライドさせる。



- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながら DC コードのプレートを矢印の方向にスライドさせる。
バッテリー取り出しボタン



- 3 AC コードをコンセントから抜く。

取り外し

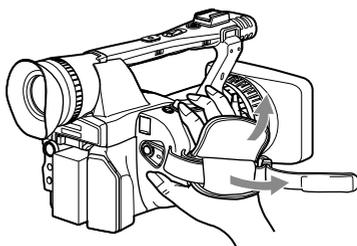
- 1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。

- AC アダプターからカメラ本体に電源を供給している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V - 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

グリップベルトの調節

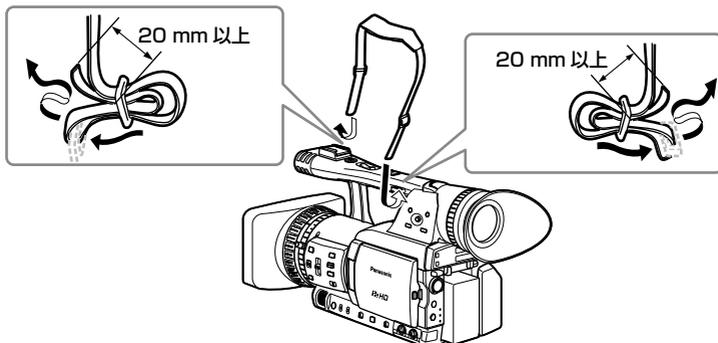
グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節する。
- 2 カバーを元に戻す。
 - しっかりとカバーを密着させてください。



ショルダーベルトの取り付け

カメラを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお勧めします。



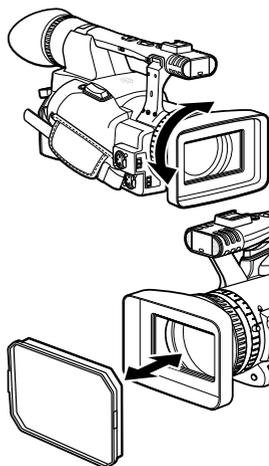
レンズフードの取り外し・取り付け

レンズフードを外す

- 反時計方向にレンズフードを回して外します。

レンズフードを取り付ける

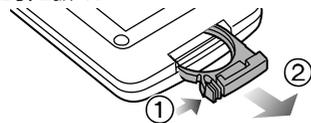
- 時計方向にレンズフードをカチッと音がしてロックするまで回して固定します。
- 使用しない時はレンズを保護するためにレンズフードキャップを取り付けてください。



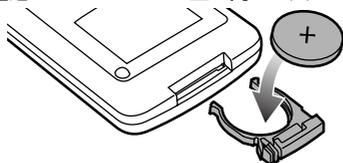
リモコンの準備

コイン電池を入れる

- 1 つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜く。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れる。



- 3 ホルダーを元に戻す。



- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です)
リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、幼児の手の届かない所に置いてください。

リモコンの設定

同時に 2 台のカメラを使用した時に、リモコン操作での誤操作を防ぐため、本機と付属のワイヤレスリモコンの設定を、「[動作モード 1]」用または「[動作モード 2]」用に切り替えることができます。

設定方法

• ワイヤレスリモコン

MCR 操作ボタンの STOP (■) と STILL ADV (▶) を同時に押すと動作モード 1 用のリモコンに設定されます。

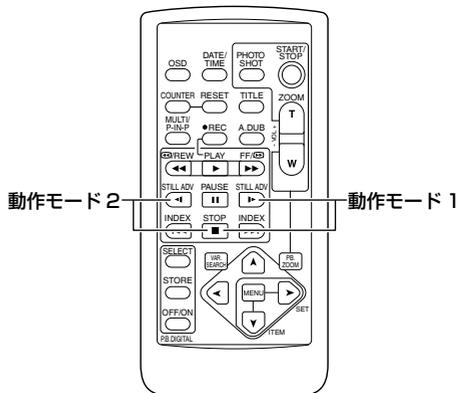
同様に、STOP (■) と STILL ADV (◀) を同時に押すと動作モード 2 用のリモコンに設定されます。

リモコンの電池を交換した時は、動作モード 1 用の設定になります。

• カメラ本体

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REMOTE 項目で 1 または 2 を設定します。(→ 108 ページ)

カメラ本体とリモコンの設定が違う時は、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。



標準

電源の入れかた・切りかた

ロック解除ボタンを押しながら、POWER スイッチを回します。

電源を入れると：

動作ランプ（CAM）が赤点灯し（カメラモード）、撮影の一時停止状態になります。

電源を切ると：

動作ランプ（CAM）が消灯します。

● 省電力モードについて

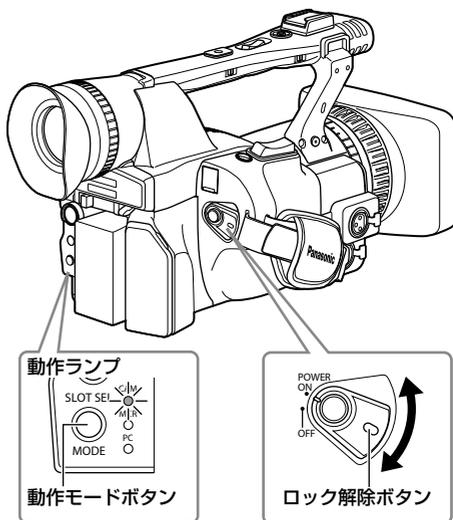
撮影一時停止状態で約 5 分間、特定の操作 * が
ない場合、設定メニュー OTHER FUNCTIONS
画面の POWERSAVE 項目の設定（→ 110 ペ
ージ）によって次のようになります。

ON：自動的に本機の電源を OFF にします。

OFF：電源を OFF にしません。

* 特定の操作については、設定メニュー「POWER
SAVE」の項目（→ 110 ページ）をご覧ください。

- 動作ランプが上から順に点滅し、電源が切れる
場合はバッテリーの残量がありません。バッテ
リーを充電してください。

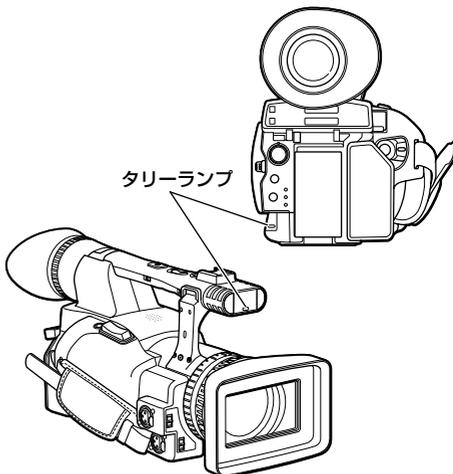


タリーランプについて

OTHER FUNCTIONS 画面の REC LAMP 項目
（→ 109 ページ）を ON に設定すると、撮影中
にタリーランプを点灯させることができます。

また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが
点滅します。

- リモコン操作の受信時（1 秒間に 8 回）
- バッテリーの残量がなくなった時（1 秒間に 4 回）
- P2 カードの記録残量、およびバッテリーの残量
が少なくなった時（1 秒間に 1 回）
- P2 カードのアクセス中にカードを抜いた時
（1 秒間に 4 回）
- P2 カードの記録残量がなくなった時（1 秒間に
4 回）



ファインダーの使いかた

本機のファインダーには、小型のLCDを採用したビューファインダーと、3.5インチの液晶モニターがあります。

用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とでは、明るさや色合いが違う場合があります。

最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

- 本機のビューファインダーは、映像を常時表示します。

ビューファインダーを使う

- 1 本機のPOWERスイッチをONにし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認する。

- 液晶モニターは閉じたままにしてください。

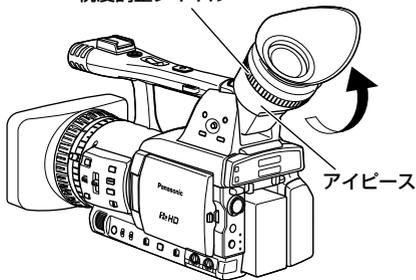


- 2 ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にする。

- ビューファインダーは、約90度まで垂直に起こすことができます。

- 3 視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整する。

視度調整ダイヤル



ビューファインダーのアイピースは、太陽や強い光源に向けたままにしない。

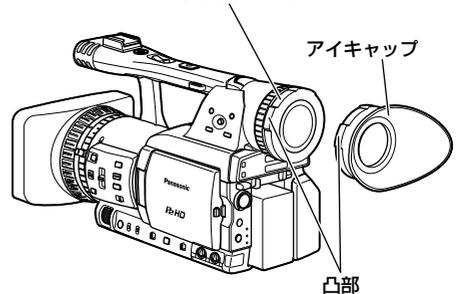
- レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。

アイキャップの取り付け

アイキャップホルダーとアイキャップの凸部を合わせて取り付けてください。

- 取り付け後にアイキャップを回すと、アイキャップホルダーが外れることがあります。アイキャップホルダーが外れた時は、「ビューファインダーのお手入れ」(→ 116ページ)を参照して取り付けてください。

アイキャップホルダー

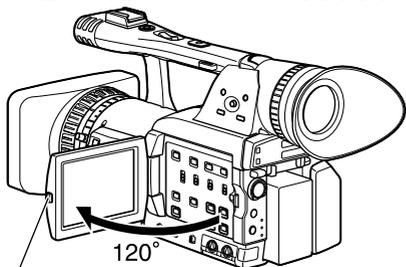


準備

ファインダーの使いかた (つづき)

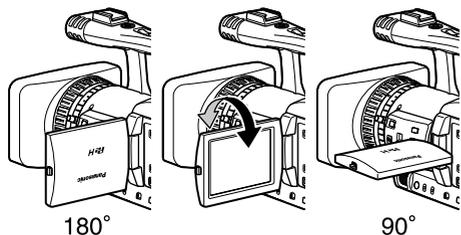
液晶モニターを使う

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 OPEN ボタンを押しながら、液晶モニターを開く。
 - 開く角度は、120 度までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります



OPEN ボタン

- 3 液晶モニターの画面が一番見やすい位置にする。
 - レンズ方向に 180 度、手前方向に 90 度まで回転します。
 - 開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。

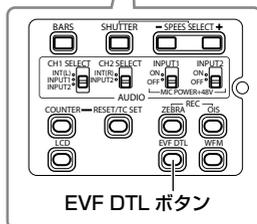
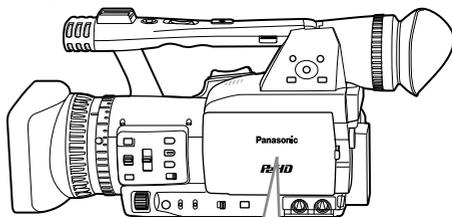


- 液晶モニターを閉じる時は、確実に閉じてください。

映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。

- 1 CAM モードの時に EVF DTL ボタンを押す。画面中央に「EVF DTL ON」と約 2 秒間表示されます。



元に戻す時は、再度 EVF DTL ボタンを押します。この時、画面中央に「EVF DTL OFF」と約 2 秒間表示されます。

画面表示を調整する

1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)

2 MENU ボタンを押す。

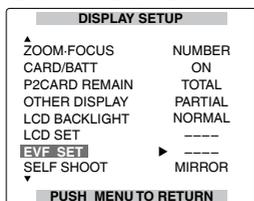
- メニューの操作 (→ 93 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)

3 ビューファインダーの調整

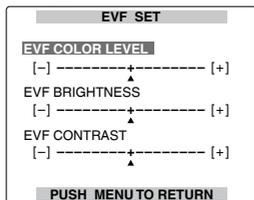
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF SET 項目で YES を選びます。

液晶モニターの調整

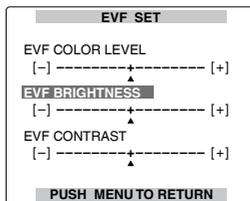
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の LCD SET 項目で YES を選びます。



4 設定したい項目を OPERATION レバーの ▲ または ▼ で選ぶ。



5 選んだ項目を OPERATION レバーの ◀ または ▶ で調整する。



6 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除する。

- EVF SET または LCD SET の各項目を選択して設定値を変更可能な状態の時、COUNTER RESET ボタンを押すと、その項目の設定値を工場出荷値にすることができません。
- ビューファインダー表示はカラーとモノクロを選択できます。(設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF COLOR 項目) なお、解像度はどちらも同じです。

ファインダーの使いかた（つづき）

バックライトの明るさを変える

液晶モニターのバックライトの明るさを3段階で切り替えることができます。

- 1 設定メニュー SW MODE 画面の LCD 項目で LCD BL を選ぶ。
LCD ボタンに LCD BL が割り当てられます。
- 2 LCD ボタンを押す。
ボタンを押すごとに NORMAL（標準）→ LOW（暗い）→ HIGH（明るい）→ NORMAL の順にバックライトの明るさが切り替わります。
 - 本機の電源を切っても設定は保持されます。



画像の上下左右を反転させる

液晶モニターに表示される映像を、上下、左右を反転することによって画角や映像のイメージを確認することができます。

表示される映像を反転しても、記録される映像は反転されません。

- 1 設定メニュー SW MODE 画面の LCD 項目で LCD REV を選ぶ。
LCD ボタンに LCD REV が割り当てられます。
- 2 LCD ボタンを押す。
 - ボタンを押すごとに通常表示、反転表示が切り替わります。
 - 反転表示している時は、画面表示はすべて消えます。
 - 本機の電源を切ると、次回、電源を入れたときは通常表示されます。



オーバースキャン、アンダースキャンを切り替える

ビューファインダーや液晶モニターに表示される映像を、オーバースキャンで表示させるかアンダースキャンで表示させるかを切り替えることができます。

- 1 設定メニュー SW MODE 画面の LCD 項目で OVERSCAN を選ぶ。
LCD ボタンに OVER SCAN が割り当てられます。
- 2 LCD ボタンを押す。
 - ボタンを押すごとにオーバースキャン、アンダースキャンが切り替わります。
 - 本機の電源を切ると、次回、電源を入れたときはアンダースキャンで表示されます。
 - オーバースキャンで表示しているときは、画面に枠が表示されます。



カレンダーを合わせる

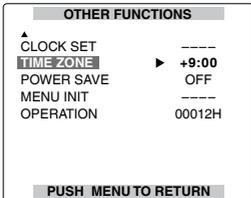
CLOCK SET の値は、コンテンツ (クリップ) に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず CLOCK SET と TIME ZONE を確認・設定してください。

ここではカレンダーを 2008 年 12 月 25 日午後 5 時 20 分に設定する手順を説明します。

1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)

2 MENU ボタンを押す。

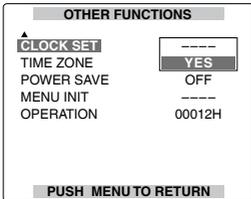
3 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の TIME ZONE 項目で、グリニッジ標準時間からの時差を OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して設定する。(→ 110 ページ)
日本で使う場合、「+9:00」(工場出荷モード) に設定します。



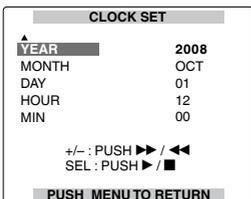
(CAM モードでの MENU 例)

- メニューの操作 (→ 93 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)

4 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の CLOCK SET 項目で YES を選ぶ。



5 OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して、YEAR を 2008 にする。

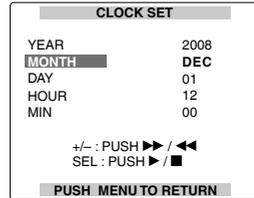


2000 から 2030 まで設定できます。

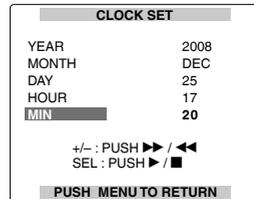
6 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、設定の項目を MONTH に移動する。



7 OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して、MONTH を DEC にする。



8 手順 4、5 と同様の方法で、DAY・HOUR・MIN を設定する。
• HOUR は 24 時間表示です。



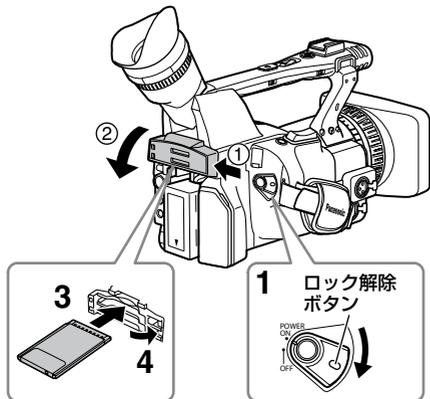
9 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除する。

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、CLOCK SET 項目を現地時間に合わせるのではなく、TIME ZONE によるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。

撮影の基本操作

撮影準備

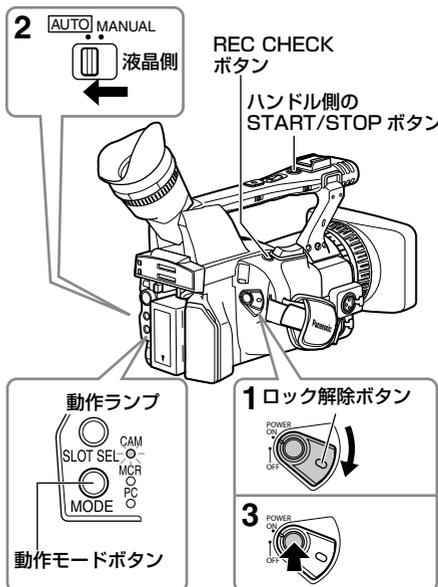
- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)
- 2 ビューファインダーを上に戻し、カードスロットカバーの側面を押し (①)、スライドさせて開く (②)。
- 3 P2 カードをカードスロットの奥までしっかり差し込む。
- 4 カード取り出しボタンを矢印の方向に倒し、カードスロットカバーを閉じる。
 - 2 つの P2 カードスロットがあります。
 - ほこり等から保護するため、カードスロットカバーは必ず閉じてください。
 - P2 カードアクセスランプがオレンジ色に点滅している間は、P2 カードを取り出さないでください。(→ 29 ページ)



オートモードで撮影する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)
 - 動作ランプ (CAM) が赤点灯していることを確認してください。
- 2 AUTO/MANUAL スイッチを AUTO にする。
 - [A] がビューファインダーや液晶モニターの上に表示されます。
 - フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランスが自動調整されます。

- 3 START/STOP ボタン (赤) を押し、撮影を開始する。
 - 再度押すと撮影の一時停止状態になります。
 - ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の START/STOP ボタンを使うと便利です。



以下のような場合、STOP ボタンを押しても、P2 カードへの書き込み完了までに時間を要する場合があります。
そのため、すぐに START ボタンを押しても、動作を受け付けることができません。

- 短時間記録の停止動作
- 2 枚目の P2 カードにわたって記録した直後の停止動作

撮影した映像を確認する (REC CHECK)

撮影一時停止の時に REC CHECK ボタンを押す。直前約 2 秒間の映像と音声を再生した後、一時停止状態になります。

- 機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、この REC CHECK 映像も記録されます。
- 動作モードが PC、MCR モードの時は動作しません。

工場出荷モードでは、HD (720P/60P) 記録の設定になっています。
(現在の設定状態を見るには: → 44 ページ)

P2 カードアクセスランプについて

CAM モード (MCR)

- 緑色点灯 : 書き込み、読み込み可能
 緑色点滅 (遅) : カード残量なし、書き込み保護状態
 オレンジ点灯 : 記録対象スロット
 オレンジ色点滅 : アクセス中
 オレンジ色点滅 (速) : 認識中
 オレンジ色同時点滅 : アクセス中のカード取り出し
 消灯 : 未挿入、未フォーマット、未対応カードの挿入

PC モード (USB DEVICE)

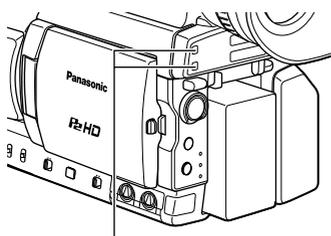
- オレンジ点滅 : アクセス中
 消灯 : アクセス中以外

PC モード (1394 DEVICE)

- オレンジ点滅 : 接続中
 消灯 : 接続なし

PC モード (1394 HOST)

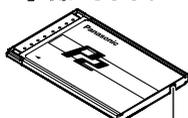
- 緑点灯 : アクセス待機
 オレンジ点滅 : アクセス中
 消灯 : 未挿入、未フォーマット、未対応カードの挿入



P2 カードアクセスランプ

P2 カードの保護について

P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。

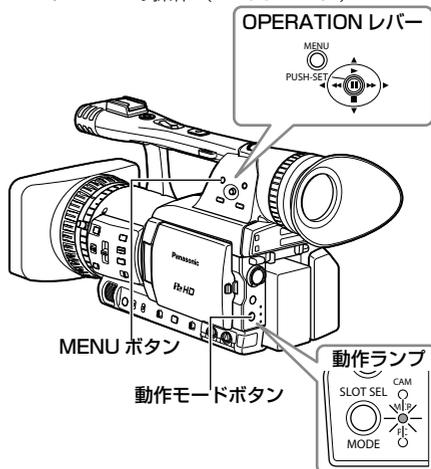


書き込み禁止スイッチ



P2 カードのフォーマット

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)
- 2 動作モードボタンを押して、MCR モード (MCR ランプが点灯) にする。
・サムネールが表示されます。
- 3 MENU ボタンを押す。
・メニューの操作 (→ 93 ページ)



- 4 メニューから OPERATION → FORMAT を選ぶ。(→ 71 ページ)
 ・下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、選択します。フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。
 ・MENU ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。

THUMB NAIL	DELETE	
OPERATION	FORMAT	SLOT1
PROPERTY	REPAIR CLIP	SLOT2
META DATA	RE-CONNECT	SD CARD
EXIT	EXCH.THUMB	EXIT
	EXIT	

- 5 確認の画面で YES を選ぶ。
 ・選択した P2 カードがフォーマットされます。



P2 カードの記録時間について

品 番	容 量	DVCPRO/DV Audio 2CH	DVCPRO50 Audio 4CH	DVCPRO HD * 1	DVCPRO HD 720P/24PN	DVCPRO HD 720P/30PN
AJ-P2C004HG	4 GB	約 16 分	約 8 分	約 4 分	約 10 分	約 8 分
AJ-P2C008HG	8 GB	約 32 分	約 16 分	約 8 分	約 20 分	約 16 分
AJ-P2C016RG	16 GB	約 64 分	約 32 分	約 16 分	約 40 分	約 32 分
AJ-P2C032RG	32 GB	約 128 分	約 64 分	約 32 分	約 80 分	約 64 分

- AJ-P2C002SG (2 GB) のカードは使用できません。
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- P2 カードに記録されるクリップの分割について
本機で 8 GB 以上の P2 カードを使用した場合、1 回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2 機器にてクリップのサムネール操作（表示、削除、修復、コピーなど）を行う場合は、1 つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトおよびパソコンなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

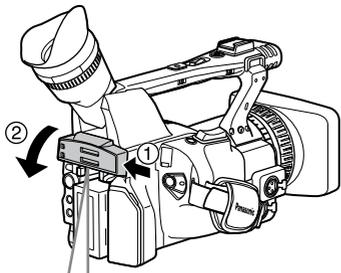
記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD * 1	約 5 分
DVCPRO50	約 10 分
DVCPRO/DV	約 20 分

* 1 DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN を除きます。

- 上記以外のカードを使用する場合は、本機搭載ドライバーのアップデートが必要になることがあります。
(➔ 115 ページ)
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。<http://panasonic.biz/sav/>

P2 カードを取り出す

- 1 ビューファインダーを上を起こし、カードスロットカバーの側面を押し (①)、スライドさせて開く (②)。
- 2 P2 カードアクセスランプがオレンジ色に点滅していないことを確認する。
- 3 カード取り出しボタンを起こして、押す。
- 4 P2 カードを取り出す。



- P2 カード故障の原因となりますので、以下の状態の時は、カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
 - ① P2 カード挿入後、P2 機器のオレンジ色のカードアクセスランプの点滅が、点灯に変わるまでの間。
 - ② 記録中や記録終了処理中、および P2 カードアクセスランプが点滅している間。
- 万が一、フォーマットやアクセス中の P2 カードを取り出した場合、ビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示され、タリーランプで警告表示を行います。この場合、電源を入れ直してください。
 - フォーマット中に取り出した時：フォーマットをやり直してください。
 - アクセス中に取り出した時：クリップが不正規の状態になることがあります。(→ 68 ページ) クリップをご確認の上、修復を行ってください。(クリップの修復について → 71 ページ)
- プリレックの直後、空きスロットに P2 カードを挿入しても、すぐに認識されません。
- 再生中は、他の空きスロットに P2 カードを挿入しても認識されず、P2 カードアクセスランプは点灯しません。再生が終了してから、P2 カードの認識を始めます。

- P2 カードアクセスランプは、OTHER FUNCTIONS 画面の ACCESS LED 項目で常に消灯させる設定ができます。この場合、電源を OFF にしてから取り出すか、カード装着後または動作 (記録、再生など) 停止後、十分時間をおいてから取り出してください。
- サムネールが表示されている時、P2 カードを取り出すとサムネール画面は解除されます。

P2 カード使用上の注意

P2 カードは必ず P2 機器でフォーマットしてご使用ください。

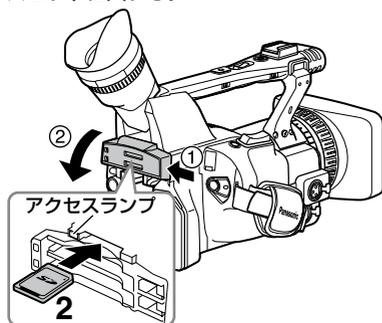
SD / SDHC メモリーカードを使う

SD / SDHC メモリーカード（以後、両カードとも SD メモリーカードと記載します。）を使って、SCENE ファイル、USER ファイルの保存・読み込みやクリップメタデータのアップロードができます。（→ 58 ページ）

SD メモリーカードの取り付け・取り出し

< 取り付け >

- 1 ビューファインダーを上にし、カードスロットカバーの側面を押し (①)、スライドさせて開く (②)。
- 2 カードの向きに注意して SD メモリーカードスロットに入れる。



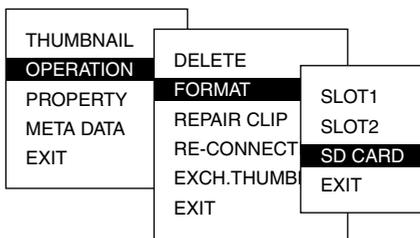
- 3 カードスロットカバーを閉じる。

< 取り出し >

- 1 カードスロットカバーを開け、アクセスランプが点灯していないことを確認する。
- 2 カードをさらに本体側へ押し込み、カードをつまんで取り出す。
- 3 カードスロットカバーを閉じる

SD メモリーカードのフォーマット

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。（→ 22 ページ）
- 2 動作モードボタンを押して、MCR モード（MCR ランプが点灯）にする。
- 3 MENU ボタンを押す。
- 4 メニューから OPERATION → FORMAT → SD CARD を選ぶ。（→ 71 ページ）
 - フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。



- 5 確認の画面で YES を選ぶ。

- 選択した SD メモリーカードがフォーマットされます。

- 設定メニュー CARD FUNCTIONS 画面の SD CARD FORMAT 項目からもフォーマットできます。（→ 108 ページ）
- SDHC カードの場合、32KB の容量は使用済みとなります。

SD メモリーカード使用上の注意

- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格 / SDHC 規格に準拠したものをお使いください。また、SD メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。本機では、以下の容量の SD メモリーカードが使用できます。

SD (8 MB ~ 2 GB まで) :

8 MB 16 MB 32 MB 64 MB 128 MB
256 MB 512 MB 1 GB 2 GB

SDHC (4 GB ~ 16 GB まで) :

4 GB 8 GB 16 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- 使用時、保管時は以下の点にご注意ください。
 - 高温・多湿を避ける。
 - 水滴を付けない。
 - 帯電を避ける。
- SD メモリーカード使用時は、必ずカバーを閉じてください。
- 119 ページの「メモリーカードのご使用について」もあわせてご覧ください。

ズーム機能を使う

本機は、13倍光学ズームを備えています。ズームボタン、またはズームリングでズーム動作を行います。

ズームボタン

ZOOMスイッチをSERVO位置にすると、ズームボタンでモータードライブによるズーム動作が行えます。

T：ズームイン

W：ズームアウト

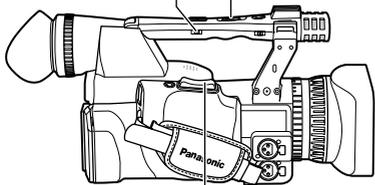
グリップ側のズームボタンを軽く押すと低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。

ハンドル側のズームボタンで行うズーム動作のスピードは、HANDLE ZOOMスイッチで3段階に切り替えることができます。

HANDLE ZOOMスイッチのスピード設定は、設定メニュー SW MODE画面のHANDLE ZOOM項目で変更できます。(→ 100ページ)

HANDLE ZOOMスイッチ

ズームボタン (ハンドル側)



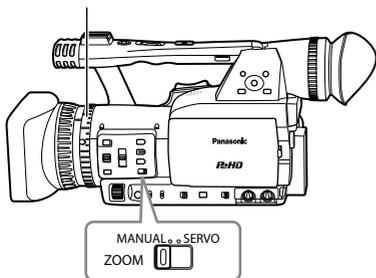
ズームボタン (グリップ側)

ズームリング

ZOOMスイッチをMANUAL位置にすると、ズームリングで手動によるズーム動作が行えます。

• ZOOMスイッチがSERVO位置の時は手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。

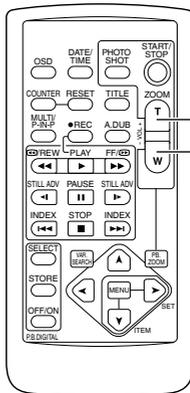
ズームリング



リモコンでの操作

ZOOM/VOL ボタンを押すと、モータードライブでのズーム動作を行います。

• ズームスピードは中速に固定されています。



ZOOM/VOL ボタン

デジタルズーム機能

USER1～3ボタンのいずれかに、D.ZOOMを割り当てることによって、デジタルズーム機能を使うことができます。(→ 45ページ)

D.ZOOMを割り当てたUSERボタンを押すごとに、倍率がOFF(×1)→2倍(×2)→5倍(×5)→10倍(×10)→OFF(1倍)の順に切り替わります。

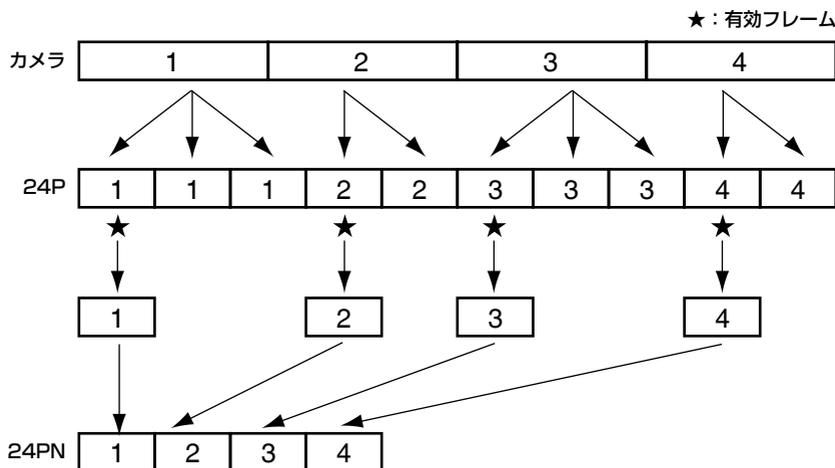
- OFF(×1)以外が選択されているときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在の倍率が表示されます。
- 記録フォーマットが1080i/60iのときのみ、デジタルズーム機能を使うことができます。
- 設定メニュー SCENE FILE画面のDRS項目(→ 98ページ)でOFF以外が選択されているときは、デジタルズーム機能を使うことができません。
- デジタルズーム機能を使用中に、スローシャッター機能を使用することはできません。また、スローシャッター機能を使用中は、デジタルズーム機能を使用することはできません。
- 記録中は、デジタルズームの切り替えはできません。

バリアブルフレームレート (VFR)

本機は、P2 カードの特徴を生かし、映画の手法であるコマ落とし（アンダークランク）や高速度（オーバークランク）撮影を、フレームレートコンバーターを使用することなく行うことができます（30PN または 24PN に設定する必要があります）。有効フレームのみ記録（ネイティブ記録）するため、24P、30P および 60P モードで記録する（スタンダード記録）より記録時間を 2 ~ 2.5 倍長く記録できます。またバリアカム（AJ-HDC27 シリーズ）と同様に、ノンリニア編集を使つてのフレームレート変換が可能な記録フォーマットも兼ね備えています（30P または 24P に設定する必要があります）。

24PN モード：

24 コマ / 秒のネイティブモードで撮影を行います。映像信号は、24 コマ / 秒の画像が 24 フレームに記録されます。有効フレームのみ記録されるので、2.5 倍長い時間記録できます。



- VFR 撮影するには、あらかじめ記録フレームレートと記録フォーマットを設定しておく必要があります。
- 記録中にフレームレートを変更することはできません。
- VFR 撮影は、垂直ライン数 720 のプログレッシブ撮影時のみ可能です。

記録フレームレートは、秒間 12 コマ（12 fps）から 60 コマ（60 fps）までの任意の 20 通りの中から設定できます。

本機で記録可能なフォーマット一覧について（→ 121 ページ）

表示される記録フレームレートと実際に記録されるフレームレートには若干の誤差があります。下表を参照ください。

記録 フレームレート	60	54	48	44	40	36	34	32	30	28	27	26	25	24	22	21	20	18	15	12
実記録 フレームレート	59.94	53.95	48.17	44.07	39.43	35.68	33.72	32.11	29.97	28.10	26.97	26.44	24.98	23.98	22.48	21.41	19.55	17.98	14.99	12.26

- 1 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (→ 102 ページ) で記録フォーマット 720P/30PN または 720P/24PN を選ぶ。
- 2 適切なシーンファイルを SCENE FILE ダイアルで選ぶ。
必要に応じて、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録しておきます。(→ 56 ページ)
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目 (→ 97 ページ) で FILM CAM を選び、FRAME RATE 項目 (→ 97 ページ) で任意の記録フレームレートを設定する。
- 4 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでネイティブ記録を開始します。

- ネイティブ記録の場合、記録待機中および記録中は 1394 出力されません。
- 音声は記録されませんが、記録と再生のフレームレートが同一の場合は音声も記録されます。
- 長時間記録したクリップを再生し、バリカム対応ノンリニア編集システムで取り込みを行う場合は、RECORDING SETUP 画面の UB MODE 項目を FRM.RATE に設定する必要があります。
- バリカム対応ノンリニア編集システムから本機に記録する場合、有効フレーム情報を継承するには、RECORDING SETUP 画面の 1394 UB REGEN 項目を ON にする必要があります。
- 編集後はノンリニア編集システムから 1080i/24P または 720P/60P (24P over 60P) で出力されます。

- 1 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (→ 102 ページ) で記録フォーマット 720P/60P、720P/30P または 720P/24P を選ぶ。
- 2 適切なシーンファイルを SCENE FILE ダイアルで選ぶ。
必要に応じて、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録しておきます。(→ 56 ページ)
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目 (→ 97 ページ) で FILM CAM を選び、FRAME RATE 項目 (→ 97 ページ) で任意の記録フレームレートを設定する。
記録フォーマット 720P/30P、720P/24P を選択した場合、設定メニュー SCENE FILE 画面の FRAME RATE 項目の設定に応じて以下の表示になります。
 - 1) PROPERTY-CLIP PROPERTY-VIDEO に表示される PULL DOWN 情報
Default 設定時 : 2 : 2 または 2 : 3
Default 以外の設定時 : other
 - 2) サムネール表示時の画面左下のフォーマット情報
Default 設定時 : 720P/30P または 720P/24P
Default 以外の設定時 : 720P/60P
(Default 設定とは、記録フォーマットのフレームレートが 30P であれば 30FRAME、24P であれば 24FRAME の設定を示します。)
- 4 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでスタンダード記録を開始します。
 - 音声も記録されます。
 - 有効フレーム取り出し機能を備えたバリカム対応ノンリニア編集システムの場合、アンダークランク / オーバークランク撮影素材もそのままアップロードできます。(RECORDING SETUP 画面の UB MODE 項目を FRM.RATE に設定する必要があります。)
 - 編集後はノンリニア編集システムから 1080i/24P または 720P/60P (24P over 60P) で出力されます。
 - 記録フレームレート 24P は 2 : 3 ブルダウン記録、30P は 2 : 2 ブルダウン記録になります。

バリアブルフレームレート (VFR) (つづき)

バリアブルフレームレート (VFR) の活用

映画制作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ 24 fps (毎秒 24 コマ) のフレームレートが通常 (1 倍速) となります。以下の設定にすれば上映時と同じ再生を得ることができます。720P プログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな高画質映像が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P (2 : 3 プルダウン)	24 fps*
720P/24PN (ネイティブ記録)	

CM/ ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV/SDTV 放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30 fps (毎秒 30 コマ) のフレームレートが通常 (1 倍速) となります。以下の設定にすれば放送時と同じ再生を得ることができます。CM、ミュージッククリップの収録がフィルムライクな高画質で、しかもテレビ放送に適したコマ数で可能です。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/30P (2 : 2 プルダウン)	30 fps*
720P/30PN (ネイティブ記録)	

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンファーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 24P で撮影した場合、VFR 記録フレームレートを 12 fps にすれば 2 倍速のクイックモーション効果が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P、 720P/24PN	22 fps 以下に設定 *
720P/30P、 720P/30PN	28 fps 以下に設定 *

- 720P/24P および 720P/30P の場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでクイックモーションの効果が得られます。

オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 30P で撮影した場合、記録フレームレートを 60fps にすれば 1/2 倍速のスローモーション効果が得られます。720P プログレッシブ映像が滑らかで高画質のスローモーションを生み出します。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P、 720P/24PN	25 fps 以上に設定 *
720P/30P、 720P/30PN	32 fps 以上に設定 *

- 720P/24P および 720P/30P の場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでスローモーションの効果が得られます。

* 記録フレームレート (FRAME RATE) は 20 種類からの選択になります。(→ 97 ページ)

1080i/480i のプログレッシブモードで撮影する

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (➔ 102 ページ) で 1080i および 480i モードの 30P、24P、24PA を選ぶと、プログレッシブモードで撮影できます。

30P モード :

30 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、30 コマ / 秒の画像を 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

高画質な映像を得ることができます。

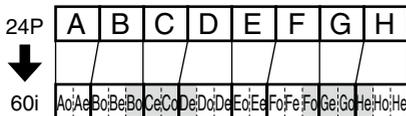


24P モード :

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、24 コマ / 秒の画像を一般的な [2:3] 変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

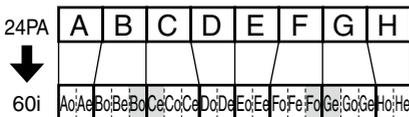
映画感覚の映像を得ることができます。



24P アドバンスモード

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、24 コマ / 秒の画像を、アドバンス変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。



従来の 24P [2:3] 変換方式で編集を行う場合、図の [BoCe] [CoDe] [FoGe] [GoHe] フレームでは、異なるコマの映像を伸張するため、画質の劣化が多くなります。

24P アドバンス変換方式では、図の [BoCe] [FoGe] のフレームを間引くことで、24P モードの画質劣化が少ない映像を得ることができます。また、アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用すると、24P モードに比べ、画質の劣化が少ない編集が実現できます。

• アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用しない場合は、通常の 24P モードで撮影を行ってください。

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

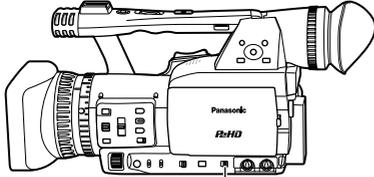
- ゲイン 18 dB にはできません。
- シャッタースピードを 1/50 (OFF) または、1/60 に設定されることをお勧めします。
- 24P モードと 24P アドバンスモードで撮影を行う時は、5 フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。

マニュアルモードで撮影する

手動でフォーカス、絞り、ゲイン、およびホワイトバランスを調整する場合は、本機をマニュアルモードにします。

マニュアルモードに切り替える

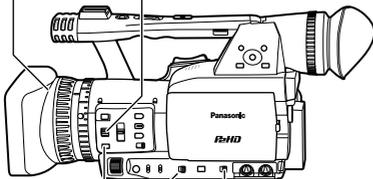
AUTO/MANUAL スイッチを、MANUAL 側にスライドさせてマニュアルモードに切り替えます。(ビューファインダーや液晶モニターの **A** 表示が消えます)



AUTO/MANUAL スイッチ

ピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

フォーカスリング FOCUS スイッチ



PUSH AUTO ボタン AUTO/MANUAL スイッチ
FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチ

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。

2 FOCUS スイッチでフォーカスの制御方法を切り替えます。

A (AUTO) :

オートフォーカスモード
自動的にピントを合わせます。

M (MANUAL) :

マニュアルフォーカスモード
フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。

∞ :

ピント距離を無限遠に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。
∞の位置にしても、FOCUS スイッチは、M (MANUAL) の位置に戻ります。

3 FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチでフォーカスリングに割り当てる機能を切り替えます。

FOCUS (フォーカス) :

フォーカス (ピント) を調整します。

IRIS (アイリス) :

アイリス (絞り) を調整します。

- FOCUS スイッチを M に切り替えたときは、FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチを FOCUS に切り替えてください。

一時的にオートフォーカスモードにする

FOCUS スイッチが M (MANUAL) の位置でも、PUSH AUTO ボタンを押している間は、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせることができます。

マニュアルフォーカスアシストモードに切り替える

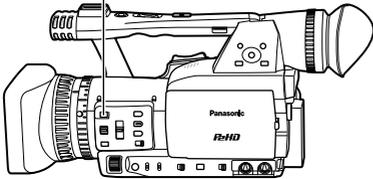
設定メニュー SW MODE 画面の MF ASSIST 項目を ON にすることで、マニュアルモードから切り替わります。

- マニュアルフォーカスモードと比べて、フォーカスリングの回転が約半分の操作で、フォーカスを調整 (粗調整) できます。
- フォーカスリングでの調整の後、フォーカスを自動で調整 (微調整) します。
- フォーカスのズレが大きい場合は、フォーカスが合わない場合があります。
- 自動調整実施後は、フォーカスリングを操作するまでは、次の自動調整を行いません。
- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しない時がありますので、照明に適したシャッタースピードを選んでください。(➔ 52 ページ)
- 60i、60P 以外の時にオートフォーカスモードにすると、通常のフォーカスモードの時よりも、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。
- 設定メニュー AUTO SW 画面の AF 項目で ON が選ばれている場合、オートモードの時は FOCUS スイッチのポジションに関係なくオートフォーカスになります。(➔ 102 ページ)
- マクロ撮影時は「AF」、「MF」、「MA」の画面表示が枠付き文字になります。

フォーカスアシストを使う

FOCUS ASSIST ボタンを押すと、画面中央部分が拡大表示、または画面の右上に周波数分布グラフが表示され、ピントを容易に合わせることができるため、マニュアルフォーカス時に便利です。FOCUS ASSIST ボタンを押したときの、ビューファインダーや液晶モニターの画面表示は、設定メニュー SW MODE 画面の FOCUS ASSIST 項目の設定により変更することができます。(→ 101 ページ)

FOCUS ASSIST ボタン

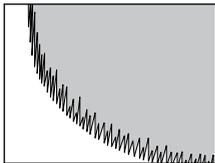


EXPANDED :

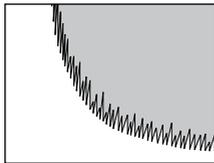
画面中央部分が 2 倍に拡大表示されます。

GRAPH :

ビューファインダーや液晶モニターの画面右上に周波数分布グラフが表示されます。グラフが右に表示されるよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。



ピントが合っていないとき



ピントが合ってくると、白い範囲が右に移動する

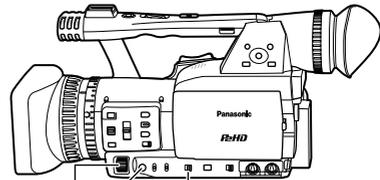
BOTH :

拡大表示と、グラフの両方が表示されます。

- EXPANDED 設定時、FOCUS ASSIST ボタンを押すと、液晶モニター、ビューファインダーの画角が若干変わります。
- EXPANDED 表示は、1080i、720P の HD モードで記録している時、または記録待機中のみ有効で、外部入力モードの時は動作しません。
- 480i SD フォーマットの時は、GRAPH 表示のみ有効です。EXPANDED 設定時には動作しません。また、BOTH 設定時には GRAPH 表示のみ有効です。
- FOCUS ASSIST ボタンは、デジタルズーム機能使用中は動作しません。

もう一度 FOCUS ASSIST ボタンを押すと元の画面に戻ります。

絞りを調整する



IRIS ダイヤル FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチ
IRIS ボタン

- AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 38 ページ)
- IRIS ボタンを押して、レンズ絞りの調整方法を切り替える。
AUTO IRIS : (オートアイリス)
絞り値を自動調整します。
MANUAL IRIS : (マニュアルアイリス)
手でレンズの絞りを調整します。
- マニュアルアイリスになっている時は、IRIS ダイヤルを回して、レンズの絞りを調整する。オートアイリス時は、このダイヤルでレンズの絞りを補正することができます。

設定メニュー SW MODE 画面の IRIS DIAL 項目で、IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定することができます。(→ 100 ページ)

設定メニュー AUTO SW 画面の A. IRIS 項目で ON が選ばれている場合、オートモードの時は、強制的にオートアイリスになります。(→ 102 ページ)

- FOCUS RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチを IRIS に切り替えることによって、フォーカスリングでレンズの絞りを調整することができます。ただし、このときはフォーカスリングでのピント調整ができなくなるため、FOCUS スイッチでフォーカスの制御方法を A (AUTO) に設定してください。(→ 38 ページ)

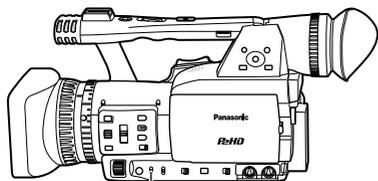
本機におけるレンズ絞りが開放の時の F 値は、レンズズームの広角側 (W) 端で F1.6、望遠側 (T) 端で F3.0 になっています。

ビューファインダーや液晶モニターに表示されるレンズ絞りが開放の時のアイリス表示には、広角側 (W) 端で OPEN が表示され、望遠側 (T) 端では F2.8 または OPEN が表示されます。

マニュアルモードで撮影する (つづき)

ゲインを調整する

カメラの画面が暗い時は、ゲインを上げ、画面を明るくすることができます。



GAIN スイッチ

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 38 ページ)

2 GAIN スイッチで、ゲインを切り替える。

L:

通常は、この位置にします。(0 dB)

M:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。
(工場出荷時は 6 dB)

H:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。
(工場出荷時は 12 dB)

M と H のゲイン値は、設定メニュー SW MODE 画面の MID GAIN 項目と HIGH GAIN 項目で変更することができます。(→ 99 ページ)

設定メニュー AUTO SW 画面の AGC 項目で OFF 以外が選ばれている場合、オートモードの時は GAIN スイッチのポジションに関係なくオートゲインになります。(→ 102 ページ)

記録フレームレート 22 fps 以下の時、およびスローシャッター (1/15) の時は、GAIN スイッチの位置に関係なく、0 dB に固定されます。(→ 34、52 ページ)

光量調節

外光が強い時 ND FILTER スイッチで、使用する ND フィルター (光量の調節フィルター) を切り替えることができます。

OFF:

ND フィルターを使用しません。

1/4:

光の量を、約 4 分の 1 にカットします。

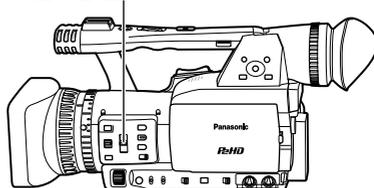
1/16:

光の量を、約 16 分の 1 にカットします。

1/64:

光の量を、約 64 分の 1 にカットします

ND FILTER スイッチ



ホワイトバランスを調整する

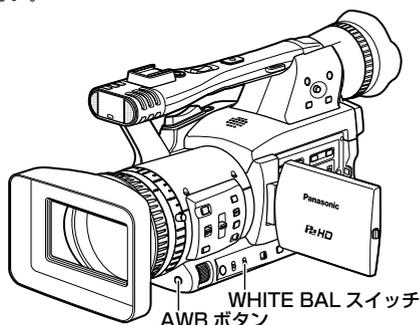
白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わった時には、必ずホワイトバランスを調整し直してください。

ホワイトバランスの調整値は、WHITE BAL スイッチの A と B の位置にメモリーすることができます。

また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。



ホワイトバランスの調整

- 1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 38 ページ)
- 2 シャッタースピードを設定する。(→ 52 ページ)
- 3 被写体の照明光源と同じ条件の所にホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写す。
被写体近くの白い物（白布、白壁）を代用することもできます。
 - 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 4 WHITE BAL スイッチを A または B の位置（ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置）にする。
- 5 AWB ボタンを押す。
 - 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます。）

AWB Ach ACTIVE

調整終了時のメッセージ

AWB Ach OK

ホワイトバランスの自動調整ができていない時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。

調整できない時のメッセージ

AWB Ach NG

- ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイト機能が動作している時は、ホワイトバランスの調整ができません。
設定メニュー AUTO SW 画面の ATW 項目で、ON が選ばれている場合、オートモードの時は WHITE BAL スイッチのポジションに関係なく ATW になります。(→ 102 ページ)

下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

エラーメッセージ	調整方法
LOW LIGHT	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

- 繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

プリセット値の利用

ホワイトバランスを調整する時間がない時などに便利です。

- 1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。（ビューファインダーや液晶モニターの \square 表示が消えます）
- 2 WHITE BAL スイッチを PRST の位置にする。
現在のホワイトバランス値が表示されます。
 - PRST の位置には、3200 K と 5600 K のホワイトバランス値がメモリーされています。
プリセット値の目安
P3.2K (3200 K) : ハロゲンライト
P5.6K (5600 K) : 屋外
- 3 AWB ボタンを押す。
3200 K と 5600 K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

マニュアルモードで撮影する (つづき)

ブラックバランスを調整する

黒を正確に再現するために、RGB 三原色のゼロレベルをそろえます。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- 標準 (OFF) のシャッタースピードや遅いシャッタースピードにした時
- プログレッシブモードと標準 (60i) モードを切り替えた時

AWB ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整します。

さらにこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。

- AWB ボタンを押すと、まず、ホワイトバランスを調整しますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。

- 記録中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

調整中のメッセージ

ABB ACTIVE

調整終了時のメッセージ

ABB END

- ATW 機能使用中も、AWB ボタンを押し続けるとブラックバランスの調整ができます。

ATW (Auto Tracking White)

自動追尾式ホワイト機能

設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、WHITE BAL スイッチ (A/B/PRST のいずれかのポジション) に ATW 機能を割り当てることができます。(→ 99 ページ)

また、工場出荷時の設定では、オートモードで ATW 機能が働くようになっています。

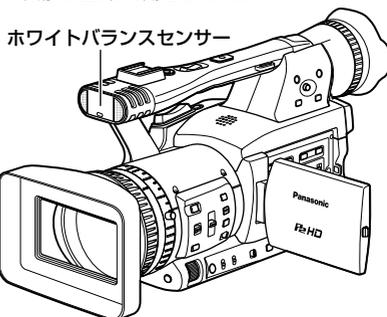
(→ 102 ページ)

ATW 機能を使用して撮影を行うと、常にホワイトバランスを自動的に調整しながら記録を行います。

- ATW 機能は、撮影環境を自動的に判定して、最適なホワイトバランスに調整する機能です。環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。

高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、前ページのホワイトバランス調整を行ってください。

ATW 機能を使用しての撮影時には、ホワイトバランスセンサーを手などでふさがないでください。ATW 機能が正常に働きません。



便利な撮影機能を使う

ローアングル撮影

ローアングルで撮影する時は、REC 切替スイッチを ON の位置にすることによりハンドル側の START/STOP ボタンで撮影を行うことができます。

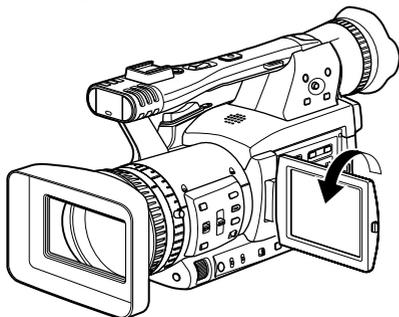
- ハンドル側の START/STOP ボタンを使用しないときは誤操作防止のため、REC 切替スイッチを OFF の位置にしておいてください。



対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に 180 度回転させて、撮影者自身を録画することができます。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の SELF SHOOT 項目で MIRROR を選ぶと、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。



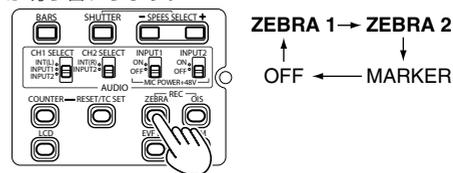
ゼブラパターン

CAM モード時に ZEBRA ボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカーがビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。

露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。

- 極端に明るい部分
- 光っている部分

ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。ZEBRA ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



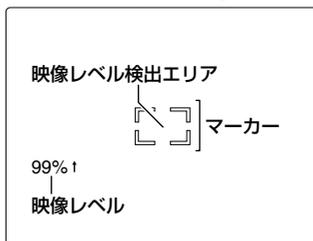
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZEBRA DETECT 1 項目と ZEBRA DETECT 2 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。(→ 106 ページ)

設定されたゼブラパターンは一定時間(約 2 秒間)、%で表示されます。

マーカー

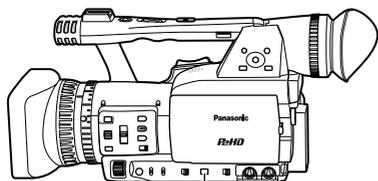
ゼブラパターンを表示している時に、ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカーを表示します(設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の MARKER 項目を ON に設定している時)。画面中央付近の明るさを数値で確認できます(0% ~ 99%)。

99%を超える時は、「99%↑」を表示します。



再度 ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

撮影状態の確認と表示



DISP/MODE CHK ボタン

記録待機または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンを放すと通常の表示に戻ります。

記録待機または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、すべての表示がオフになります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。本機の電源を切る、または動作モードを切り替えても維持されます。

また、MCR モードでサムネール画面表示中に、DISP/MODE CHK ボタンを押すと、選択されているクリップのプロパティが表示されます。もう一度押すとサムネール画面に戻ります。

映像サイズを変える

480i モードで記録する場合、記録する映像のサイズ（アスペクト比）を変えることができます。設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目（➔ 99 ページ）で選びます。

- メニューの操作（➔ 93 ページ）

SIDE CROP :

標準の 4 : 3 モードで記録します。
左右両端をカットします。



LETTER BOX :

画角を 16 : 9 にして記録します。
画面の上下に黒い帯が記録されます。



SQUEEZE :

カメラ映像を水平方向に圧縮して記録します。
記録された映像をワイド画面に対応したモニターテレビで再生すると、アスペクト比 16 : 9 の映像になります。

SQUEEZE に設定されている時は、画面に「SQU」が表示されます。



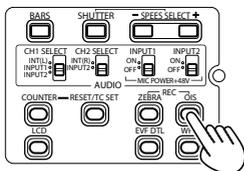
EVF/LCD 表示のサイズ（アスペクト比）を変えるには

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の DISPLAY ASPECT 項目（➔ 107 ページ）で設定することができます。

手ぶれ補正機能

カメラを手に持って撮影する時は、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。

OIS ボタンで手ぶれ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ぶれ補正が ON の時は、ビューファインダーや液晶モニターに  が表示されます。三脚を使用する時は、手ぶれ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけるながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

映像に効果を加える

BLACKFADE 機能や WHITEFADE 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。再生、REC CHECK、サムネール表示時は強制的にボタンが無効になります。

BLACKFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を黒でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

WHITEFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を白でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

USER ボタンの活用

USER1 ~ 3 ボタンには、16 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時に切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

- USER1 : WHITEFADE
- USER2 : BACKLIGHT
- USER3 : TEXT MEMO

詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 ~ 3 項目 (➔ 100、101 ページ) を参照してください。

以下の機能を割り当てた USER ボタンを押して動作させた状態で電源を切ると、元の状態に戻ります。

SPOTLIGHT、BACKLIGHT、ATW、
ATW LOCK、GAIN : 18 dB、D.ZOOM

逆光補正

逆光で被写体を撮影する時は、BACKLIGHT 機能を割り当てた USER ボタンを押します。

画面に BACK が表示されます。

逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。

再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。

カラーバー

CAM モードの時に、BARS ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度押すと、元の映像に戻ります。

設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の TEST TONE 項目で ON に設定しているときは、カラーバー表示中に 1kHz のテストトーンが出力されません。

- カラーバーは 1 kHz のテストトーンと共に記録することもできます。

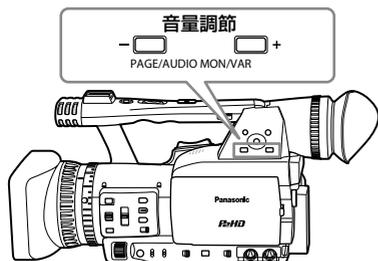
便利な撮影機能を使う（つづき）

ウェブフォームモニター機能

CAM モード中に WFM ボタンを押すと、液晶モニターに映像の波形を表示することができます。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- 設定メニューの SW MODE 画面の WFM 項目（➔ 101 ページ）で波形表示とベクトル表示を切り替えることができます。
- ビューファインダーには波形表示されません。
- フォーカスアシスト機能の動作中は表示されません。
- 波形表示は記録することはできません。

撮影時の音量調整



ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンで音量を調整することができます。

- 入力音声レベルの調整について（➔ 55 ページ）。

バックアップ記録

1394 端子に接続した外部機器（➔ 79、80 ページ）に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

- 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目と 1394 CMD SEL 項目で、外部機器の制御方法を設定してください。（➔ 108 ページ）

バックアップ記録を行う場合は、次のことに注意してください。

- メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記憶されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のメディアに映像を上書きしてしまうことがあります。バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。
- バックアップ記録を行う外部機器として、もう 1 台の AG-HPX175 を使用する場合、外部機器側の 1394 CONTROL 項目を OFF に設定し、MCR モードにして使用してください。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続する時の 1394 ケーブルの長さは、4.5 m までにしてください。
- バックアップ記録を行う時は、外部機器で 1394 信号を記録できる状態にしておいてください。
- 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目（➔ 108 ページ）で「CHAIN」を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のメディアが終端付近になった時に、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
- REC CHECK を行うと、その映像も記録されてしまいますのでご注意ください。
- ネイティブ記録では、バックアップ記録はできません。
- 特殊記録モード（➔ 49～51 ページ）のうち、インターバル記録、ワンショット記録、ループレック中はバックアップ記録は働きません。
- MCR モードからのダイレクト撮影中（➔ 69 ページ）はバックアップ記録は働きません。

2 スロット連続記録

2 つの P2 カードスロットの両方に P2 カードを装着すれば、2 枚のカードにわたって連続記録することができます。

また、一方が記録中にもう片方のカードを差し替えて、3 枚以上に連続記録することもできます（ホットスワップ記録）。

ただし、空きスロットに P2 カードを挿入するタイミング（プリレックの直後や 2 つのスロットにわたって連続記録するときの前後）によって、P2 カードの認識が遅くなる場合があります。P2 カードを挿入する際は、記録対象カードの残量が 1 分以上ある状態で行うことを推奨します。

SLOT SEL ボタンを押すと、ワンタッチで記録対象スロットを変更できます。

- スロットの変更は記録中にはできませんので、記録待機中に行ってください。
- ホットスワップ再生には対応していません。

ショットマーク機能

クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといいます。サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示 / 再生できます。

記録中、SHOT MARK 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、液晶モニターやビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークが設定されます。もう一度押すと解除されます。

また、クリップのサムネール操作でもショットマークの設定 / 解除が可能です。（→ 68 ページ）

ただし、再生中はショットマークの設定 / 解除はできません。

- ショットマークの設定 / 解除ができないときは、INVALID が表示されます。
- ホットスワップ記録で、1 回の撮影によってできた映像データが複数のクリップで構成される場合、その映像データを構成するすべての P2 カードが、スロットに挿入されていないとショットマークの設定 / 解除はできません。
- ループレック時は、設定 / 解除できません。

テキストメモ記録

記録中または再生中のクリップのある映像ポイントに、テキストメモを付加する機能です。

TEXT MEMO 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、そのポイントにテキストメモが記録されます（→ 45 ページ）。

サムネール画面でテキストメモを付けたクリップのみ選んで表示 / 再生できます。

テキストメモは 1 クリップにつき、最大 100 個まで記録できます。

テキストメモを編集するには、P2 ビューアー最新アップデート版が必要です（→ 118 ページ）。

- インターバル記録中、およびワンショット記録中はテキストメモを記録できません。
- テキストメモの記録ができない時は、INVALID が表示されます。

タイムスタンプ機能

映像に重ねて、撮影日時を記録することができます。

設定メニューの RECORDING SETUP 画面の TIME STAMP 項目で ON を選びます。

タイムスタンプ機能が ON の時は、ビューファインダーと液晶モニターの日時表示の先頭に[R]が表示されます。

- [R]は、実際の映像には記録されません。
- 撮影フォーマットによって、映像に記録される日時の文字の大きさや位置は異なります。
- 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の DATE / TIME 項目の設定により、記録される内容が変わります。また OFF に設定している場合は記録されません。
- 1394 出力の場合のみ多重された文字が出力されます。

LAST CLIP DELETE 機能

USER1～3 ボタンのいずれかに、LAST CLIP を割り当てることによって、ボタンを押すことで最後に撮影したクリップを削除することができます。

LAST CLIP を割り当てた USER ボタンを押すと、画面に YES/NO が表示されます。

YES を選ぶと最後に撮影したクリップが削除され、「LAST CLIP DELETE OK」が表示されます。

- クリップを削除しない場合は、NO を選択してください。
- 撮影後、MCR モード、PC モードに切り替えた場合や、記録フォーマットを変更した場合はボタンを押しても、クリップは削除できません。また、電源を切って、再度電源を入れた場合も、クリップは削除できません。
- 撮影後に、P2 カード（カードが2枚挿入されている場合は、いずれかのカード）の抜き差しを行った場合は、ボタンを押してもクリップは削除できません。また、P2 カードのプロテクト操作を行った場合も削除できません。
- ホットスワップ記録では、1回の撮影によってできた映像データを構成するすべてのP2カードがスロットに挿入されていないと、クリップは削除されません。
- クリップが削除できない場合、YES/NO の選択画面は表示されません。

特殊な記録機能を使う

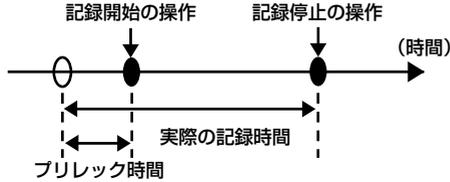
RECORDING SETUP 画面 (→ 102 ページ) で設定することにより、プリレック、インターバル記録、ワンショット記録、ループレックの特殊な記録ができます。

これらの特殊な記録は下記の設定になっているときのみ可能です。

- OPERATION TYPE 項目 (→ 97 ページ) : VIDEO CAM
- 記録フォーマット : 1080i/60i、720P/60P、480i/60i、1080i/30P、720P/30P、480i/30P のいずれか

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より一定時間前 (HD 記録で約 3 秒前、480i 記録で約 7 秒前) からの映像と音声を記録します。



1 OPERATION TYPE 項目と記録フォーマットが上記の設定になっていることを確認する。

2 PREREC MODE 項目 (→ 102 ページ) で、ON を選ぶ。

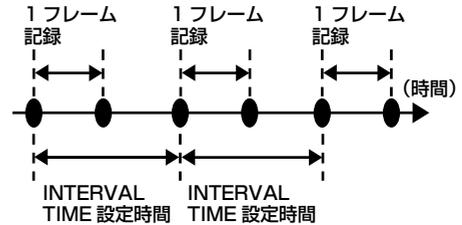
- メニューの操作 (→ 93 ページ)

3 START/STOP ボタンを押す。

- 一定時間前からの映像と音声を記録します。
- 下記の場合、プリレックは無効となり、それぞれの操作時点からの記録となります。
 - ・ 1394 入力記録時
 - ・ 再生から記録への移行時
 - ・ インターバル記録時
 - ・ ワンショット記録時
 - ・ ループレック時
- MCR モードから CAM モードへの切り替え直後、電源 ON 直後、PRE-REC 項目を変更した直後は、すぐに記録を開始しても上記記載時間前の映像と音声は記録できない場合があります。

インターバル記録 (INTERVAL REC)

INTERVAL TIME 項目で設定した時間間隔で 1 フレーム (1/30 秒) 記録を行います。



1 OPERATION TYPE 項目と記録フォーマットが上記の設定になっていることを確認する。

2 REC FUNCTION 項目 (→ 102 ページ) で、INTERVAL を選ぶ。

- メニューの操作 (→ 93 ページ)

3 INTERVAL TIME 項目で時間を設定する。(→ 102 ページ)

4 START/STOP ボタンを押す。

- INTERVAL TIME 項目で設定した時間間隔で 1 フレーム記録する動作を繰り返し行います。
- 停止するには、OPERATION レバーを ■ 方向に倒します。
- 解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。
- 動作状態表示の左に以下のように表示されます。
 - 記録中 : 「I-REC」点灯
 - 一時停止中 : 「I-PAUSE」点灯
 - 停止中 : 「I-PAUSE」の「I」点滅
- ただし、手順 **3** の設定が 2 秒未満の場合は、設定時間に応じて記録中「I-REC」が点滅します。
- プリレックは動きません。
- 音声は記録されません。
- このモード中に記録したデータは、まとめてひとつのファイルとなります。
- 1394 出力の映像は保証されません。

(次ページへつづく)

- DIR ENTRY NG CARD が 1 枚でも挿入されている場合は、実行できません。（→ 91 ページ）
- インターバル記録開始後に、記録可能な P2 カードを空きスロットに挿入しても使用できません。
- このモードの記録対象スロットは、P2 カードアクセスランプがオレンジ色表示になります。記録開始後に挿入した P2 カードの記録対象スロットは、P2 カードアクセスランプが緑色表示になります。
- テキストメモは付加できません。

ワンショット記録（ONE-SHOT REC）

設定した時間単位で一度だけ記録します。

- 1 OPERATION TYPE 項目と記録フォーマットが前ページの設定になっていることを確認する。**
- 2 REC FUNCTION 項目（→ 102 ページ）で、ONE SHOT を選ぶ。**
 - メニューの操作（→ 93 ページ）
- 3 ONE-SHOT TIME 項目で記録時間を設定する。（→ 102 ページ）**
- 4 START/STOP ボタンを押す。**

手順 2 で設定した時間の記録を行い、記録一時停止になります。

OPERATION レバーを ■ 方向に倒し記録を停止します。

解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。

 - 動作状態表示の左に以下のように表示されません。
記録中：「I-REC」点灯
一時停止中：「I-PAUSE」点灯
停止中：「I-PAUSE」の「I」点滅
 - ブリレックは働きません。
 - 音声は記録されません。
 - このモード中に記録したデータは、まとめてひとつのファイルとなります。
 - 1394 出力の映像は保証されません。
 - DIR ENTRY NG CARD が 1 枚でも挿入されている場合は、実行できません。（→ 91 ページ）
 - 連続でワンショット記録を行う場合、記録動作の受け付けが遅くなることがあります。
 - ワンショット記録開始後に、記録可能な P2 カードを空きスロットに挿入しても使用できません。
 - このモードの記録対象スロットは、P2 カードアクセスランプがオレンジ色表示になります。
 - 記録開始後に挿入した P2 カードの記録対象スロットは、P2 カードアクセスランプが緑色表示になります。
 - テキストメモは付加できません。

ループレック (LOOP REC)

P2 カードスロットに 2 枚の P2 カードが挿入されている時、順次カードを切り替えながら記録します。カードの残量がなくなると 1 枚目に戻り上書きして記録します。上書き実行時、保存されているクリップを削除してから新しいクリップを記録します。(クリップの削除は、上書き実行の約 30 秒前に行われます。)

1 OPERATION TYPE 項目と記録フォーマットが前ページの設定になっていることを確認する。

2 REC FUNCTION 項目 (→ 102 ページ) で、LOOP を選ぶ。
• メニューの操作 (→ 93 ページ)

3 START/STOP ボタンを押す。

記録を開始します。

停止するには、START/STOP ボタンを押します。

解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。

• 動作状態表示の左に以下のように表示されます。

記録中：「L-REC」点灯

停止中：「L-PAUSE」点灯

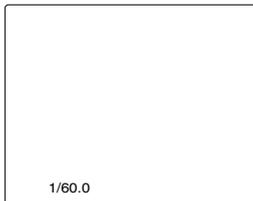
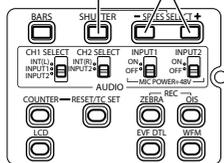
メモリー残量不足：「LACK L」点滅

- 1 分以上の記録残量がある P2 カードを 2 枚で使用ください。どちらかのカードを抜くと記録が停止します。
- 1394 入力記録時は動作しません。
- プリレックは働きません。
- DIR ENTRY NG CARD が 1 枚でも挿入されている場合は、実行できません。(→ 91 ページ)
- 停止に時間がかかる場合があります。
- P2 カードアクセスランプの点滅が点灯に変わるまで、次の動作は受け付けません。
- このモードの記録対象スロットは、P2 カードアクセスランプがオレンジ色表示になります。
- テキストメモは付加できません。

シャッタースピードを調整する

SHUTTER ボタン

SPEED SELECT ボタン



1 SHUTTER ボタンを押す。
 押すごとに、標準 (OFF) のシャッタースピードと、SPEED SELECT ボタンで選んだシャッタースピードが切り替わります。

2 SHUTTER ボタンを押した後に SPEED SELECT ボタンを押して、シャッタースピードを選ぶ。

SPEED SELECT+ ボタンを押すごとに、下記の表のようにシャッタースピードが変化していきます (- ボタンは逆順になります)。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動の時には、シャッタースピードが速くなるにつれて絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- シャッタースピードを遅くした場合、合焦時間が長くなるため三脚等に固定して使用することをお勧めします。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目で OFF 以外に設定している時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。ただし、標準 (OFF) のシャッタースピードに設定されている時は表示されません。

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度に変化しています。特に電源周波数が 50 Hz の地域では、本機の垂直同期周波数 (約 60 Hz) と照明の周波数 (50 Hz) がお互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。

人工照明下で撮影する時やホワイトバランスを調整する時は、シャッタースピードを下記の設定にして行ってください。

プログレッシブモード	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
OFF (60i)	1/100	OFF (1/60)
30P	OFF (1/50)	1/60
24P/24PA/24PN	OFF (1/50)	1/60

- スローシャッター 1/12、1/15 では、0 dB に固定されます。

1080i/60i、720P/60P、480i/60i の時	
標準 (OFF) 1/60	SYNCRO SCAN ↔ <u>1/15</u> ↔ 1/30 ↔ 1/100 ↓ ↑ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
1080i/30P、720P/30P、480i/30P、720P/30PN の時	
標準 (OFF) 1/50	SYNCRO SCAN ↔ <u>1/15</u> ↔ 1/30 ↔ 1/60 ↓ ↑ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
1080i/24P、480i/24P、1080i/24PA、480i/24PA の時	
標準 (OFF) 1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↓ ↑ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
720P/24P、720P/24PN の時	
標準 (OFF) 1/50	SYNCRO SCAN ↔ <u>1/12</u> ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↓ ↑ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120

※太字・下線は、設定メニュー SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目が VIDEO CAM の場合のみ選択できます。

また、設定メニュー SCENE FILE 画面の DRS 項目が OFF の場合のみ選択できます。

シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、設定メニュー SCENE FILE 画面の SYNCRO SCAN 項目で設定します。(→ 97 ページ)

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目 (→ 97 ページ) を FILM CAM に設定した場合、シャッター開角度を 10 度から 360 度まで 0.5 度ステップで可変できます。
例) 記録フレームレートを 24 fps に設定して露出時間を半分にする場合
 $1/24 \div 2 = 1/48 = 180 \text{度}$ ($1/24 = 360 \text{度}$)
デフォルト設定 (180 度) では、1/2 の露出時間になります。
90 度ならば 1/4、45 度ならば 1/8 の露出時間になります。
(シャッター開角度：フィルムカメラのシャッタースピードに相当し、角度が広いほど光が当たる時間が長くなります。)
- シャッタースピードが青文字で、後ろに (1/60) と表示された場合は、現在の記録フォーマットでは青文字のシャッタースピードに変更できません。(1/60) に固定されます。

プログレッシブモードは、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (→ 102 ページ) で切り替えることができます。

入力音声を切り替える

撮影時は、最大 4 チャンルの音声を記録することができます。また、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、および接続したオーディオ機器に切り替えることができます（下表参照）。

CH1*	CH2**	CH3	CH4
INT (L) : 内蔵マイク L	INT (R) : 内蔵マイク R	INPUT1	INPUT2
INT (L) : 内蔵マイク L	INPUT2	INPUT1	INT (R) : 内蔵マイク R
INPUT1	INT (R) : 内蔵マイク R	INT (L) : 内蔵マイク L	INPUT2
INPUT1	INPUT2	INT (L) : 内蔵マイク L	INT (R) : 内蔵マイク R
INPUT2	INPUT2	INT (L) : 内蔵マイク L	INT (R) : 内蔵マイク R
INPUT2	INT (R) : 内蔵マイク R	INT (L) : 内蔵マイク L	INPUT2

* CH1 に記録する入力音声は CH1 SELECT スイッチにより切り替えることができます。

** CH2 に記録する入力音声は CH2 SELECT スイッチにより切り替えることができます。

• CH3・CH4 の入力音声は CH1 SELECT スイッチおよび CH2 SELECT スイッチの切り替えによって自動的に決定されます。

また、使用メディアやフォーマットによって次の制限があります。

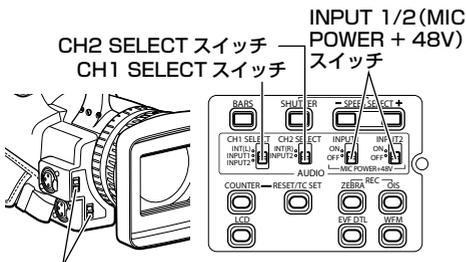
フォーマットについては（→ 121 ページ）

DVCPRO HD または DVCPRO50 フォーマット：

4 チャンネル記録に固定されます。

DVCPRO25 または DV フォーマット：

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 25M REC CH SEL 項目で 2CH または 4CH を選ぶことができます。



INPUT 1/2 スイッチ

内蔵マイクを使う

1 CH1 SELECT スイッチを INT (L) の位置にする。

• 内蔵マイク Lch の音声信号が音声チャンネル 1 のトラックに記録されます。

2 CH2 SELECT スイッチを INT (R) の位置にする。

• 内蔵マイク Rch の音声信号が音声チャンネル 2 のトラックに記録されます。

外部マイクやオーディオ機器を使う

1 INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に外部マイクまたはオーディオ機器を接続する。
（→ 78 ページ）

2 INPUT 1/2 スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える。

LINE：（オーディオ機器を接続した時）
入力レベルは 0 dBu です。

MIC：（外部マイクを接続した時）
入力レベルは -50 dBu です。

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN 1 と MIC GAIN 2 項目で入力レベルを -60 dBu に変更することができます。（→ 103 ページ）ただし、-60 dBu に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

3 ファントムマイク (+48 V 電源が必要なマイク) を使用する場合は

INPUT 1/2 (MIC POWER + 48 V) スイッチを ON の位置にする。

ON：（ファントムマイクを接続した時）
INPUT 1/2 端子に +48 V 電源を供給します。

OFF：（ファントムマイクを接続しない時）
INPUT 1/2 端子に電源を供給しません。

• ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。

• +48 V 電源に対応していない機器を接続する時は OFF の位置にしてください。ON の位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。

4 CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 のトラックに記録する入力信号を選ぶ。

INT (L) :

内蔵マイク Lch の音声を記録します。

INPUT1 :

INPUT1 端子に接続した機器の音声を記録します。

INPUT2 :

INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

5 CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 のトラックに記録する入力信号を選ぶ。

INT (R) :

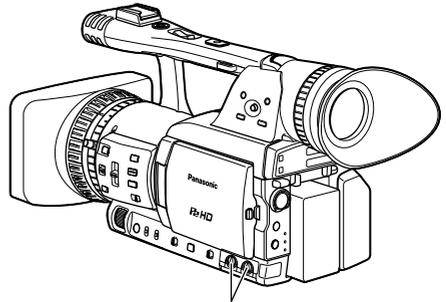
内蔵マイク Rch の音声を記録します。

INPUT2 :

INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

- 外部マイクの信号を CH1 と CH2 に入力する時は、外部マイクを INPUT 2 端子に接続し、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチの両方を INPUT 2 の位置にしてください。

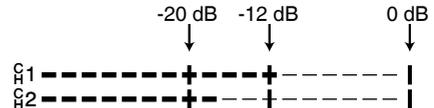
音声の記録レベルを調整する



AUDIO LEVEL つまみ

AUDIO LEVEL つまみで、内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。(モニター音量の調整については → 46 ページ)

音声信号の記録レベルは、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目 (→ 103 ページ) の設定に関係なく、このつまみで液晶モニター、ビューファインダー左下のオーディオレベルメーターの表示を参考に調整してください。



- AV IN/OUT SETUP 画面の INT MIC 項目が OFF に設定されている時は、CH1、CH2 の文字が反転 (黒文字) します。

CH1 CH2	CH1 CH2
INT MIC ON	INT MIC OFF

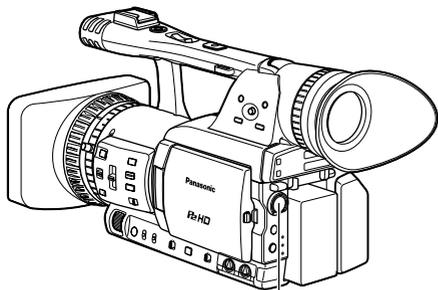
撮影前に記録レベルを確認してください。

- 記録時、当社放送用カメラレコーダー (品番 AJ シリーズ) と比較すると、記録レベルが高く設定されています。

撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)

各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。

撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。



シーンファイルダイヤル

- 記録中にシーンファイルを変更しても、OPERATION TYPE と FRAME RATE (→ 97 ページ) は変更されません。OPERATION TYPE と FRAME RATE を変更する場合は、記録待機状態にしてください。

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

F1 : SCENE

標準の撮影に適したファイル。

F2 : SCENE FLUO.

蛍光灯の特性を考慮した撮影 (屋内撮影などの撮影) に適したファイル。

F3 : SCENE SPARK

解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけた撮影に適したファイル。

F4 : SCENE B-STR

暗い部分の階調を広げた撮影 (夕暮れなどの撮影) に適したファイル。

F5 : SCENE CINE V

コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。(シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。→ 102 ページ)

F6 : SCENE CINE D

ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。(シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。→ 102 ページ)

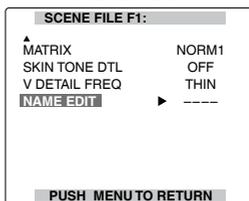
シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。

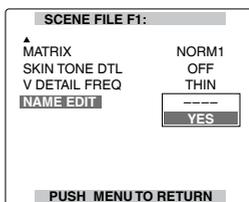
また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。

例：シーンファイルのファイル名を変更する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ。
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面を選ぶ。
 - メニューの操作 (→ 93 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)
- 4 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して NAME EDIT 項目を選ぶ。

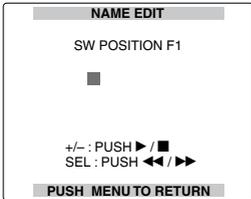
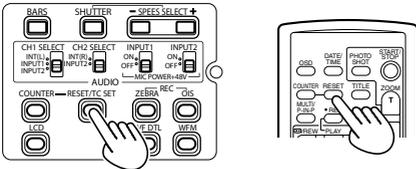


- 5 OPERATION レバーを押し (または ► 方向に倒し)、▼ 方向に倒して YES を選び、再度 OPERATION レバーを押す。



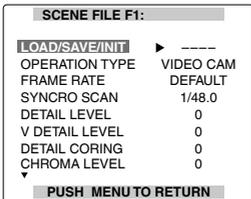
6 下記の画面が表示されたら OPERATION レバーで 6 文字のファイル名を設定する。ユーザーズビットの設定と同じ方法 (→ 64 ページ) で行います。

- 設定できる文字
(スペース)、A ~ Z、0 ~ 9、.; < = > ? @ [¥] ^ _ . /
- ファイル名を設定している時に本体またはリモコンの RESET ボタンを押すと、すべての文字を消去できます。

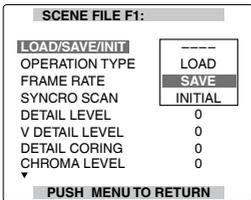


7 ファイル名の設定が完了したら、MENU ボタンを押す。

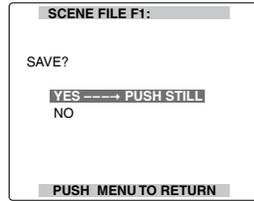
8 OPERATION レバー ▼ 方向に倒して LOAD/SAVE/INIT を選ぶ。



9 OPERATION レバーを押し、▼ 方向に倒して SAVE を選び、再度 OPERATION レバーを押す。



10 下記の画面が表示されたら YES を選び、OPERATION レバーを押す。(一階層上のメニューに戻るには MENU ボタンを押します。)



下記のメッセージが表示され、シーンファイルの変更が完了します。



11 MENU ボタンを 2 度押し、メニューモードを解除する。

- シーンファイルの設定変更後、前回保存した設定値に戻す場合は、手順 9 で LOAD を選び、手順 10 ~ 11 を同様に行います。
- シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、手順 9 で INITIAL を選び、手順 10 ~ 11 を同様に行います。



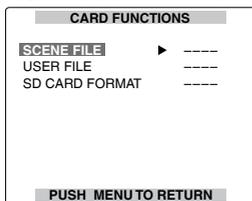
SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SDメモリーカードに保存、読み出しすることができます。

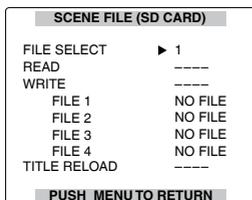
- F1 ~ F6 すべてのシーンファイルが書き替わります。
- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(→ 32 ページ)

以下の説明は、シーンファイルの保存を基本的に説明しています。

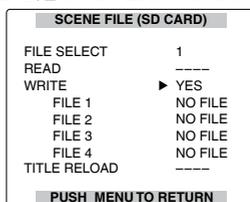
- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 設定メニュー CARD FUNCTIONS 画面の SCENE FILE を選択し、YES を選んで OPERATION レバーを押す(または▶方向に倒す)。
その他の設定値の場合は、USER FILE を選択します。
 - メニューの操作 (→ 93 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)



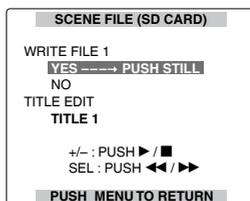
- 3 OPERATION レバーを◀▶方向に倒して、ファイル番号 (1 ~ 4) を選ぶ。



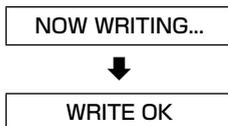
- 4 OPERATION レバーを▲▼方向に倒して WRITE を選び、OPERATION レバーを押す。



- 5 OPERATION レバーを◀方向に倒して、下記の画面が表示されたら YES を選び、OPERATION レバーを押す。
 - 下図の場合は、TITLE 1 がファイル名になります。(ファイル名を変更するには → 59 ページ)



下記のメッセージが表示され、シーンファイルの変更が完了します。



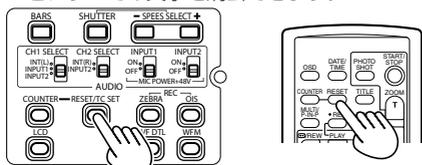
- 6 MENU ボタンを4度押して、メニューモードを解除する。

ファイルを読み出すには

- 1) 手順 **1**～**3** を行い、手順 **4** で READ を選んで OPERATION レバーを押す。
読み込みが完了すると、READ OK が表示されます。

ファイルにタイトルを付けるには

- 1) 手順 **1**～**4** を行う。
- 2) OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して文字を選び、▶ 方向に倒して次の文字に移動する。
入力できる文字は以下の通りです。
(スペース)、A～Z、0～9、.;<=>?@[¥] ^ _ . /
本体まだはリモコンの RESET ボタンを押すと、すべての文字を消去できます。



- 3) すべての入力が終わったら、文字の左端で OPERATION レバーを ◀ 方向に倒し（または右端で ▶ 方向に倒し）、OPERATION レバーを押す。

SD メモリーカードからファイルを再読み込みするには

- 1) 手順 **1**、**2** を行う。
- 2) OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して TITLE RELOAD に移動して YES を表示させ、OPERATION レバーを押す。
ファイル再読み込みが行われます。

- WRITE NG FORMAT ERROR が表示された場合は、SD メモリーカードをフォーマットしてください。(→ 32 ページ)
- WRITE NG WRITE PROTECT が表示された場合は、SD メモリーカードのプロテクトを解除してください。
- WRITE NG CANNOT ACCESS が表示された場合は、その他の動作（再生中など）を終了してから操作してください。
- WRITE NG ERROR が表示された場合は、SD メモリーカードの不良が考えられます。交換してください。

クリップメタデータについて

P2 カードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。(表示の方法は → 72 ページ)

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機にロードするものがあります。(ロードの方法は → 75 ページ)

SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成するには

「P2 ビューアー最新アップデート版」が必要です。以下のウェブサイトからダウンロードの上、パソコンにインストールしてください。
<http://panasonic.biz/sav/>

クリップメタデータの内容

下線の項目は、SD メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は撮影時に自動的に設定されます。

GLOBAL CLIP ID :

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。

USER CLIP NAME :

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。^{*1}

VIDEO :

記録映像の FRAME RATE (フレームレート)、PULL DOWN (プルダウン方式)、ASPECT RATIO (アスペクト比) を表示します。

AUDIO :

記録音声の SAMPLING RATE (サンプリング周波数)、BITS PER SAMPLE (量子化ビット数) を表示します。

ACCESS :

CREATOR (収録者名)、CREATION DATE (収録日)、LAST UPDATE DATE (最終更新日)、LAST UPDATE PERSON (最終更新者) を表示します。

DEVICE :

MANUFACTURER (機材のメーカー名)、SERIAL NO. (機材のシリアルナンバー)、MODEL NAME (機材のモデル名) を表示します。

SHOOT :

SHOOTER (撮影者名)、START DATE (撮影開始日時)、END DATE (撮影終了日時)、LOCATION/ALTITUDE/LONGITUDE/LATITUDE/SOURCE/PLACE NAME (撮影地 - 高度 / 経度 / 緯度 / 情報源 / 場所の名前) を表示します。

SCENARIO :

PROGRAM NAME (番組名)、SCENE NO. (シーンナンバー)、TAKE NO. (テイクナンバー) を表示します。

NEWS :

REPORTER (リポーター名)、PURPOSE (取材目的)、OBJECT (取材対象) を表示します。

MEMO :^{*2}

NO. (メモ番号)、OFFSET (クリップ先頭からのフレーム位置)、PERSON (テキストメモの記録者名)、TEXT (メモの内容) を表示します。

THUMBNAIL :

サムネール画像のオフセットを表示します。

EXCH.THUMBNAIL 機能でサムネールを変更するときに用います。

- *1 メタデータアップロードファイルに情報が無い場合は、グローバルクリップ ID がそのまま USER CLIP NAME になります。USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは「付録」をご参照ください。(→ 123 ページ)
- *2 MEMO を入力する時は、必ず TEXT を入力してください。PERSON のみの入力ではできません。

-
- P2 ビューアー以外で編集したファイルは、読み込めないことがあります。(「UNKNOWN DATA」と表示されます。)
 - 本機では、日本語と印刷可能な ASCII 文字のみ表示可能です。
 - 本機では、文字数の表示制限があるためすべてのデータを表示できません。(データが消えているわけではありません。)すべてを確認するには P2 ビューアーなどをご使用ください。
-

カウンターを利用する

カウンター表示

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。

1 COUNTER ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。(→ 87 ページ)

0 : 00.00 (CAM モードのみ)

カウンター値の表示

CLIP 0 : 00.00

(DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合)

撮影開始時に自動的に値がリセットされ、撮影ごとのカウンター値が表示されます。

TC XX : XX : XX : XX

タイムコードの表示 (720/24PN に設定している時は、フレームけたを 24 フレームで表示します。それ以外の設定では、フレームけたを 30 フレームで表示します)

tc XX : XX : XX : XX

OPERATION TYPE 項目を FILM CAM に設定した記録時および再生時は、タイムコードのフレームけたを 24 フレームに変換して表示します。ただし、REC FORMAT 項目を 720/24PN に設定した記録時、720/30PN に設定した記録時および再生時は、tc は表示しません。720/24PN に設定した再生時はタイムコードのフレームけたを 30 フレームに変換して表示します。(→ 97、102 ページ)

UB XX XX XX XX

ユーザービットの表示

FR ----

プログレッシブモードで撮影を行う時のフレームレート情報 (30P/24P/24PA) とフレーム変換を行うシーケンス情報の表示

無表示 :

データを表示しません。

カウンター値をリセットする

カウンター値を表示中に、COUNTER RESET ボタンを押します。

1394TC プリセットモード

マルチカメラで撮影する時に、TC の初期値を同期にセットさせることができます。(以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。)

1 2 台の機器を 1394 ケーブルで接続し、電源を入れます。(接続のしかたは → 80 ページ)

2 MASTER 側をカメラモードにし、1394 端子から映像信号が出力される状態にします。

- 両カメラの記録フォーマットを合わせてください。

以下はすべて SLAVE 側の操作です。

3 MCR モードに切り替え、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 1394TC REGEN 項目を OFF にして、カウンターを TCG 表示にします。

- REGEN 設定では行えません。

4 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 1394 IN PRESET 項目で、ON を選択します。(→ 104 ページ)

- 画面に 1394 TC と表示されます。

5 メディアを停止状態にします。

6 COUNTER RESET/TC SET ボタンを押します。1394 から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。

- 画面中央に TC SET OK と約 2 秒間表示されます。

7 カメラモードに切り替えます。

内蔵電池の充電 / タイムデータを設定する

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダーや液晶モニターの画面に [🔋] の表示が出る時は、内蔵電池が消耗していません。

以下の方法で充電してください。
充電完了後、日時を設定してください。

- 1 本機に AC アダプターを接続する。
(→ 19 ページ)
 - 本機の POWER スイッチは、OFF のままにします。
- 2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。
 - 内蔵電池が充電されます。
 - 充電を行った後は、TC やメニューを確認してください。

充電後も [🔋] が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

タイムコードを設定する

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(→ 103 ページ)

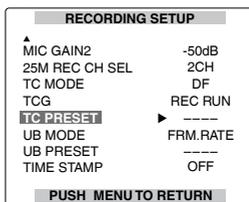
- TC MODE 項目
- TCG 項目
- TC PRESET 項目
- 1394 TC REGEN 項目 (MCR モードの時にメニュー項目が表示されます。)

MCR モードの時は、1394 TC REGEN 項目が ON に設定されていると、上記に示す項目の設定を変更することができません。

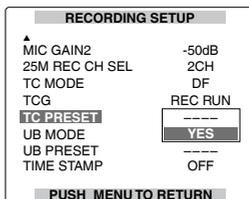
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)

任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

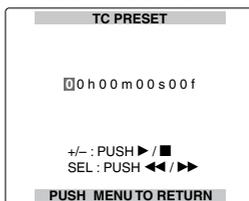
- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面で OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して TC PRESET 項目に移動し、OPERATION レバーを押す。



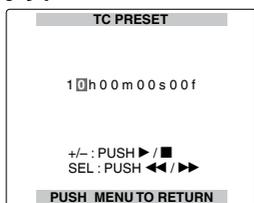
- 3 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



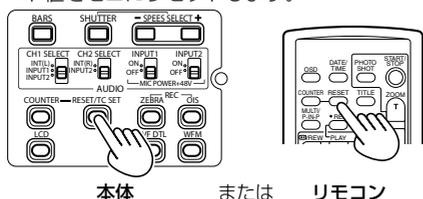
- 4 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。
OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、タイムコード値を選択します。



OPERATION レバーを▶方向に倒して次のけたに移動し、再度、▲▼方向に倒して値を選択します。



タイムコードを設定している時に、本体またはリモコンの RESET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



7 MENU ボタンを2度押して、メニューモードを解除する。



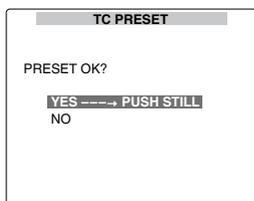
本機では、フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。そのためフォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでご注意ください。

記録フォーマット	フレームレート	タイムコードの調整
1080i/24P 1080i/24PA 480i/24P 480i/24PA	—	5 フレーム単位
720P/60P 720P/30P 720P/24P	24	
720P/24PN 720P/30PN	—	4 フレーム単位 2 フレーム単位

5 タイムコード値の設定が完了したら MENU ボタンを押す。



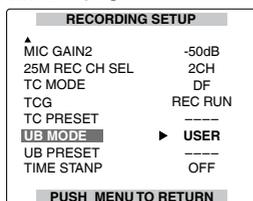
6 OPERATION レバーを▲方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



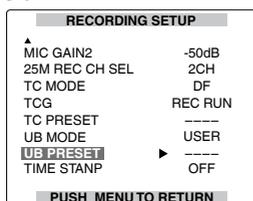
ユーザーズビットを設定する

ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 けたまでのメモ (日付、時刻などの情報) をサブコードトラック領域に記録できます。ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

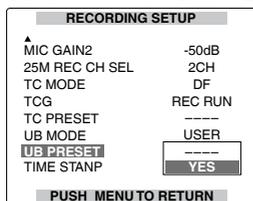
- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
 - 2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の UB MODE で USER を選択する。
 - メニューの操作 (→ 93 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)
- 例：CAM モード時



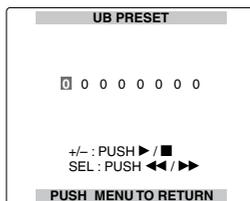
- 3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して UB PRESET 項目に移動し、OPERATION レバーを押す。



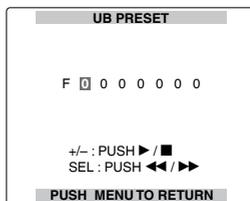
- 4 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



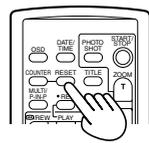
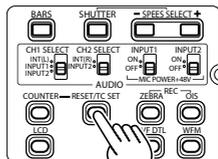
- 5 ユーザーズビットを設定する。OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、ユーザーズビットの文字を選択します。
 - 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の 0～9 とアルファベットの A～F です。



OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して次のけたに移動し、再度、▲▼ 方向に倒して文字を選択します。



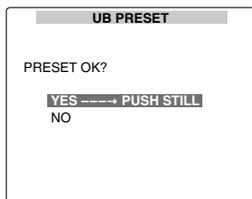
ユーザーズビットを設定している時に、本体またはリモコンの RESET ボタンを押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。



-
- 6** ユーザーズビットの設定が完了したら
MENU ボタンを押す。



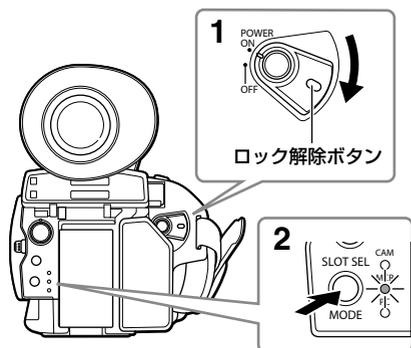
- 7** OPERATION レバー ▲ を方向に倒して YES
に移動し、OPERATION レバーを押す。



- 8** MENU ボタンを 2 度押して、メニューモード
を解除する。

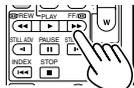
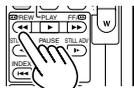
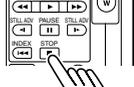


再生の基本操作



- 1 POWERスイッチをONにする。
ロック解除ボタンを押しながらPOWERスイッチをONの位置まで動かします。
- 2 動作モードボタンを押して、MCRランプを点灯させる。
本機がMCRモードになります。
• 押すたびに、以下のように切り替わります。
MCR ⇄ CAM
MCRの後に動作モードボタンを長押しすると、PC（パソコン接続）モードになります。
(→ 82 ページ)

サムネールを使ったクリップの再生について詳しくは 67 ページをご覧ください。

本機の OPERATION レバー	リモコン
 <p>再生する (▶) 停止中に操作すると、選択されたクリップの頭から再生します。 再生中に操作すると、可変速サーチモード (→ 76 ページ) になり、× 1 倍速で再生します。</p>	
 <p>早送り再生をする (▶▶) 再生中に操作すると、選択中のクリップ内で早送り再生します。(× 4 倍速) サムネール画面を解除している時は、停止中でも行えます。 押したままにすると、速度が速くなります。(× 32 倍速) 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ進めます。</p>	
 <p>早戻し再生をする (◀◀) 再生中に操作すると、選択中のクリップ内で早戻し再生します。(× 4 倍速) サムネール画面を解除している時は、停止中でも行えます。 押したままにすると、速度が速くなります。(× 32 倍速) 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ戻します</p>	
 <p>停止する (■)</p>	
 <p>一時停止する (⏸) 再度押すと、再生に戻ります。</p>	

サムネール画面について

P2 カードでの 1 回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。MCR モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。(クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかります。)

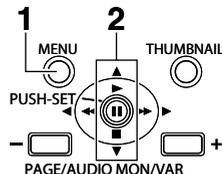
サムネール画面を使って、以下のようなことが行えます。

- クリップの再生、修復、削除や、ショットマークの付加、消去、テキストメモの付加
- P2 カード、SD メモリーカードのフォーマット
- SD メモリーカードから本機へメタデータ (撮影情報など) のロードなど

サムネール画面の基本操作

サムネールメニューを使うには：

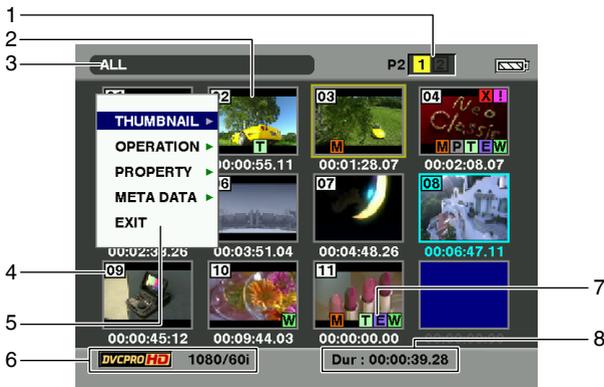
- 1 サムネール画面で MENU ボタンを押し、メニューを表示させる。
- 2 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。さらにメニューが表示された場合は、この操作を繰り返します。
 - 1 つ前の画面に戻るには、EXIT を選んで OPERATION レバーを押すか、または OPERATION レバーを ◀ 方向に倒します。
 - メニューモードを解除するには MENU を押します。



クリップを選択するには：OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して選択したいクリップに黄色の枠を移動させ、OPERATION レバーを押す。(青緑色の枠がつかます。)再度 OPERATION レバーを押すと、選択は解除されます。ページ移動するには、PAGE (－または＋) ボタンを押します。

クリップを再生するには：サムネールを選んで OPERATION レバーを ▶ (再生) 方向に倒す。(再生について詳しくは → 66 ページ)

- 再生フォーマットと同じフォーマット (下図 6) で記録されたクリップのみ再生できます。



THUMBNAIL

- ALL CLIP
- SAME FORMAT CLIPS
- SELECTED CLIPS
- MARKED CLIPS
- TEXT MEMO CLIPS
- SLOT CLIPS
- SETUP
- EXIT

OPERATION

- DELETE
- FORMAT
- REPAIR CLIP
- RE-CONNECTION
- EXCH. THUMBNAIL
- EXIT

PROPERTY

- CLIP PROPERTY
- CARD STATUS
- DEVICES
- PROPERTY SETUP
- SYSTEM INFO
- EXIT

META DATA

- LOAD
- RECORD
- USER CLIP NAME
- INITIALIZE
- PROPERTY
- LANGUAGE
- EXIT

- VIDEO OUT 端子からの出力のみサムネール画面が出力されます。

(次ページへつづく)

サムネール画面について (つづき)

1 スロット番号表示

黄色の枠で選択されたクリップが、どのスロットのP2カードにあるかを示しています。(番号が黄色になります。) クリップが2つのスロットにまたがって記録されている場合は、両方の番号が黄色になります。

• 挿入されたP2カードが以下のような場合、スロット番号を表示する枠がピンク色になります。

- ① RUN DOWN CARD (→ 91 ページ)
- ② DIR ENTRY NG CARD (→ 91 ページ)

2 サムネール

各クリップの代表となる映像 (初期設定は最初の映像) を表示します。

3 サムネールの表示状態 (→ 70 ページ)

サムネール表示するクリップの種類を示しています。

4 クリップ番号

撮影した順番に表示されます。(2000 まで) 記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されません。

赤色のクリップを再生するには、サムネール表示のまま再生フォーマットを変更するか (→ 71 ページ) 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MCR FORMAT 項目および 480i MCR MODE 項目を、下記 6 のフォーマットに合わせてください。(→ 102 ページ)

• メモリーカードレコーダー AJ-SPD850 などでプレイリストのエディットコピーをしたクリップ内に、フォーマット (DV、DVCPRO、DVCPRO50) が混在しているものも赤色で表示されますが、この場合は MCR FORMAT 項目を設定しても再生できません。

5 メニュー表示

各種メニュー項目が表示されます。EXIT を選び OPERATION レバーを押すと、メニュー表示が消えて元の画面に戻ります。

6 記録モード/フォーマット表示

記録した映像の記録モードとフォーマットが表示されます

7 各種インジケーター

[M]: ショットマーク

ショットマークが付いていることを示しています。(→ 右記)

[W]: ワイド

16:9 の画角で記録されていることを示しています。(480i 記録の場合)

[!]: 不完全クリップ

2 枚の P2 カードにまたがって記録されているのに、片方のカードがスロットに入っていない場合に表示されます。

[X]: 不良クリップ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合があるクリップに表示されます。

黄色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは修復が可能です。

赤色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは修復できませんので、削除してください。削除できない場合は、バックアップを取った後に P2 カードをフォーマットしてください。

フォーマットが異なるクリップの場合は、代わりに **[?]** が表示されます。

[T]: テキストメモ

テキストメモがあることを示しています。

[E]: エディットコピー

エディットコピークリップであることを示しています。(本機では編集できません)

[P]: プロキシ

プロキシが付加記録されていることを示しています。(本機では記録できません)

8 デュレーション表示

選択したクリップのデュレーションが表示されます。

クリップにショットマークを付ける

ショットマーク **[M]** を付けておくと、好みのクリップを探すのに便利です。

1 OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して、黄色の枠をショットマークを付けたいクリップに移動させる。

2 ショットマーク機能を割り当てた USER ボタンを押す。(→ 45 ページ)

ショットマークを解除するには、上記の操作を再び行ってください。

• 1 回の撮影によってできた映像データが複数の P2 カードに記録されている場合、その映像データを構成するすべての P2 カードが、スロットに挿入されていないとショットマークの設定/解除はできません。

サムネール画面を解除する

設定メニューの操作 (→ 93 ページ) を行うには、サムネール画面を解除する必要があります。ノンリニア編集機器から本機をコントロールする場合も同様に解除してください。

1 THUMBNAIL ボタンを押す。

THUMBNAIL



通常の再生待機画面 (1394 入力モード) になります。

ダイレクト撮影機能について

MCR モードの時に START/STOP ボタン (赤) を押すと、自動的に CAM モードに切り替わり、撮影が始まります。

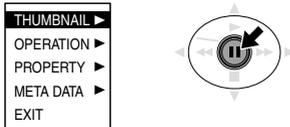
サムネールの操作

サムネールの表示方法を選ぶ (THUMBNAIL)

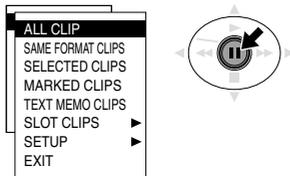
好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。

また、サムネールの表示方法をさらに細かく設定することもできます。

- 1 サムネール画面で MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。(→ 67 ページ)
- 2 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して THUMBNAIL を選び、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。



- 3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



ALL CLIP :

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT CLIPS :

MCR フォーマットと同じクリップを表示します。

SELECTED CLIPS :

任意に選択したクリップを表示します。

MARKED CLIPS :

ショットマークが付いたクリップを表示します。

TEXT MEMO CLIPS :

テキストメモが付いたクリップを表示します。テキストメモの位置のサムネール、TC、メモの総数、および現在の順番が表示されます。

テキストメモを削除するには

- 1) テキストメモを削除するクリップに黄色の枠を移動して OPERATION レバーを押す。
テキストメモサムネールが表示されます。
- 2) 削除するテキストメモサムネールを選択する。
- 3) MENU ボタンを押してメニューを表示させ、OPERATION-DELETE を選ぶ。

SLOT CLIPS :

特定のスロットにある P2 カードのクリップを表示します。

SETUP :

各種セットアップを行います。

EXIT :

1 つ前の画面に戻ります。

SETUP を選んだ場合のみ、次の手順 4 に進んでください。

- 4 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して設定項目を選び、OPERATION レバーを押す。

ALL HIDE :

ON にすると、MARKED IND.、TEXT MEMO IND.、WIDE IND.、PROXY IND. を一括で非表示にします。

MARKED IND. :

ショットマークインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を設定します。

TEXT MEMO IND. :

テキストメモインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を設定します。

WIDE IND. :

ワイドインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を設定します。

PROXY IND. :

プロキシインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を設定します。

DATA DISPLAY :

クリップの時間表示の部分を、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時間 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日時 (DATE TIME) / ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかから選択します。

DATE FORMAT :

記録日時の表示順を、年月日 (YMD) / 月日年 (MDY) / 日月年 (DMY) のいずれかから選択します。

この表示は、クリップのプロパティで表示される記録日、および DATA DISPLAY で表示される記録日に反映されます。

THUMBNAIL SIZE :

1 画面に表示されるサムネールを、LARGE (3 × 2) / NORMAL (4 × 3) のいずれかから選択します。

PLAYBACK RESUME :

再生の途中で停止した際、次の再生時に前回停止した地点から再生します。

THUMBNAIL INIT :

上記すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

EXIT :

1 つ前の画面に戻ります。

5 MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

再生フォーマットを変更する

現在設定されている再生フォーマットと異なるフォーマットのクリップ（クリップ番号が赤色のクリップ）を再生するとき、次の操作で本機の再生フォーマットの設定を変更し、再生することができます。

1 サムネール画面で OPERATION レバーを操作して、再生させたいクリップに移動する。

2 OPERATION レバーを ▼ 方向に 2 秒以上倒し続ける。

- サムネールの表示状態が UPDATING... と表示された後、元の表示に戻ります。
- 黄色の枠で表示されているクリップの記録フォーマットが本機で再生可能な場合、再生フォーマットが変更され、黄色の枠のクリップが再生できるようになります。

クリップの消去やカードのフォーマットなどを行う (OPERATION)

以下の操作が行えます。

必要に応じて各準備を行ってください。

クリップの消去

消去するクリップを選択しておいてください。

P2 カード、SD メモリーカードのフォーマット

- フォーマットするカードを本機に挿入してください。
- 実行するとすべてのデータが消去されます。

不良クリップの修復

修復する不良クリップ（ が表示）を選択しておいてください。（ただし が赤色の場合は修復できません。）

不完全クリップの連結

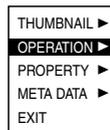
連結する不完全クリップ（ が表示）を選択しておいてください。通常、不完全クリップのサムネールは並んで表示されています。

サムネールの変更

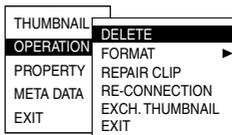
- 変更したいクリップにテキストメモを付け、サムネールの表示方法を TEXT MEMO CLIPS にしておいてください。
- 変更したいサムネールに黄色の枠を移動しておいてください。

1 サムネール画面で MENU ボタンを押す。メニューが表示されます。（→ 67 ページ）

2 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して OPERATION を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）



3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



DELETE :

選択したクリップを消去します。消去する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

FORMAT :

P2 または SD メモリーカードをフォーマットします。

FORMAT に移動するとカード選択画面が出ますので、P2 のスロット (SLOT1 / SLOT2) または SD CARD を選び、OPERATION レバーを押します。

フォーマットする / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

REPAIR CLIP :

不良クリップを修復します。

修復する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

- クリップを修復すると SHOT MARK、TEXT MEMO のデータは消去されます。

RE-CONNECTION:

複数の P2 カードにまたがって記録されているクリップを連結します。

クリップが複数の P2 カードにまたがって記録されている場合、それぞれが不完全クリップになることがあります。

このとき、連結機能を使って 1 つのクリップにすることができます。

連結する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

(次ページへつづく)

サムネールの操作 (つづき)

EXCH. THUMBNAİL:

サムネールの映像をあらかじめテキストメモをつけたポイントの映像に変更します。変更する/しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

EXIT :

1 つ前の画面に戻ります。

4 MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

- クリップをエクスプローラーなどの操作でコピーした場合、クリップに  インジケーターが表示されることがあります。このような場合には、下記のウェブサイトから最新の P2 ビューアーをダウンロードの上、パソコンにインストール後、再度コピーすることで、 を解除できる場合があります。

<http://panasonic.biz/sav/>

クリップやカードの情報を確認する (PROPERTY)

以下の操作が行えます。

必要に応じて各準備を行ってください。

クリップ情報の確認、修正

- 確認するクリップに黄色の枠を移動してください。

P2 カード情報の確認

- P2 カードを本機に挿入してください。

SD メモリーカード情報の確認

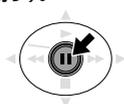
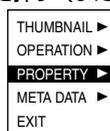
- SD メモリーカードを本機に挿入してください。

P2 カード容量表示の設定

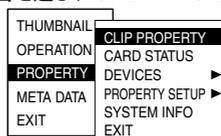
本機システムのバージョン確認

- サムネール画面で MENU ボタンを押す。メニューが表示されます。(→ 67 ページ)

- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して PROPERTY を選び、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。



- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



CLIP PROPERTY :

黄色の枠で表示されているクリップの情報が表示されます。(→ 73 ページ)

CARD STATUS :

P2 カードの情報が表示されます。

(→ 73 ページ)

DEVICES :

SD メモリーカードの情報が表示されます。

(→ 74 ページ)

PROPERTY SETUP :

P2 カードの容量表示方法を設定します。

P2 CARD CAP を選んだ後、REMAIN (残量) または USED (使用量) を選択し、OPERATION レバーを押してください。

SYSTEM INFO :

本機システムのバージョンが表示されます。

EXIT :

1 つ前の画面に戻ります。

- サムネール画面表示中に、DISP/MODE CHK ボタンを押すと CLIP PROPERTY 画面をショートカットで表示することができます。もう一度押すとサムネール画面に戻ります。

- 情報画面を解除するには MENU ボタンを押し、OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して EXIT を選び、OPERATION レバーを押す。

クリップの情報画面



- 1 クリップ番号
- 2 サムネール
- 3 スロット番号
- 4 クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータや、さまざまなデータを表示します。(P2 カードにライトプロテクトがかけられている時は、 を表示します。)

CLIP NAME : クリップ名

START TC : 記録開始時のタイムコードの値

START UB : 記録開始時のユーザーズビットの値

DATE : 記録した日付

TIME : 記録開始時の時刻

DURATION : クリップの長さ

V_FORMAT : ビデオ信号フォーマット

FRAME RATE : 再生フレームレート

REC RATE : 記録フレームレート

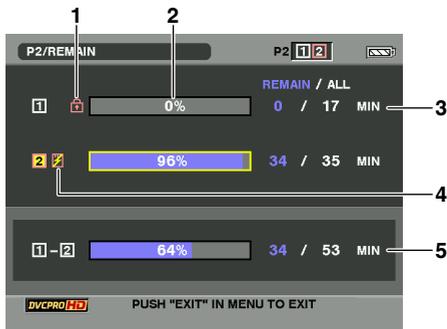
• この表示は 720P/24PN および 720P/30PN 記録時に SCENE FILE 画面の FRAME RATE 項目の設定が Default 以外の収録時に表示されます。

5 クリップメタデータ

映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。

OPERATION レバーを \blacktriangle 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押してください。(クリップメタデータの内容については → 60 ページをご覧ください。)

P2 カードの情報画面



1 書き込み禁止マーク

2 P2 カードの状態

P2 カードの残量を、メーターとパーセントで示します。

またカードの状態によっては、以下のような表示が出ます。

FORMAT ERROR :

フォーマットされていない P2 カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED :

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD :

カードが入っていません。

• 黄色の枠で表示されているスロット (黄色数字で表示) のカード情報を、OPERATION レバーを押すことで見ることができます。

BRAND : メーカー名

MODEL NO. : 品番

SERIAL NO. : シリアル番号

USER ID : ユーザー ID

WARNING : 警告内容

3 P2 カード残 / 総容量

P2 カードの残量 / 総容量を分単位で表示します。

分以下は切り捨てるため、スロット合計とは一致しない場合があります。

4 警告カードマーク

P2 カードが以下のような場合、このマークが表示されます。

① RUN DOWN CARD (→ 91 ページ)

② DIR ENTRY NG CARD (→ 91 ページ)

• 警告内容は、上記スロットのカード情報で見ることができます。

(次ページへつづく)

サムネールの操作 (つづき)

5 スロット合計

2つのスロットを合計した数値です。

ただし、書き込み禁止状態のP2カードの残量は、総残量に含まれません。

- REC FUNCTION 項目を LOOP に設定しているとき、スロット合計はループレック時の標準的な記録時間を示します。ただし、前ページの手順 **3** で PROPERTY SETUP: USED を選択しているときは、スロット合計の使用量は実際より多くなり、PROPERTY SETUP: REMAIN を選択しているときは、スロット合計の残量は実際より少なくなります。(→ 51 ページ)

SD メモリーカードの情報画面



SD STANDARD :

SD メモリーカードが SD および SDHC 準拠でフォーマットされている/いない (SUPPORTED/NOT SUPPORTED) を表示します。

USED : 使用量

BLANK : 残量

TOTAL : 全容量

NUMBER OF CLIPS : クリップ数

PROTECT :

SD メモリーカードの書き込み禁止状態を表示します。

記録されたクリップメタデータの修正

1 クリップの情報画面で、修正したいクリップメタデータの詳細画面を表示させる。

2 修正したい項目に OPERATION レバーでカーソルを合わせる。

変更可能なメタデータ項目は、下図の「USER CLIP NAME (ユーザークリップネーム)」などのように表示しています。



3 OPERATION レバーを押す。

メタデータ修正の入力画面 (ソフトキーボード) が表示されます。

キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。



4 キーボードの「OK」ボタンを押す。

修正されたメタデータがクリップに書き込まれ、メタデータの詳細画面に戻ります。

- SHOOT の LOCATION (撮影地情報) の各項目を削除する場合、単独では削除できません。ALTITUDE (高度) 項目を空白に設定することで、他の LONGITUDE (緯度) /LATITUDE (経度) 項目も一括して削除されます。

- 不完全クリップインジケータがついたクリップは、メタデータを修正できません。複数枚のP2カードにまたがったクリップは、全てのP2カードが挿入された状態でメタデータの修正を行ってください。
- MEMO項目は100文字以上付加されている場合、修正できません。

メタデータのアップロードなどを行う (META DATA)

以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

メタデータのロード

- メタデータを記録したSDメモリーカードを本機に挿入してください。(メタデータの作成については → 60 ページ)

メタデータをP2カードに記録する/しないの選択

USER CLIP NAME の記録方法の変更

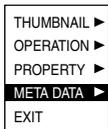
本機内メタデータの初期化

本機内メタデータの確認、修正

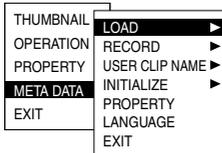
メタデータの表示言語の選択

- サムネール画面で MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。(→ 67 ページ)

- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して META DATA を選び、OPERATION レバーを押す (または ► 方向に倒す)。



- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



LOAD :

SDメモリーカードにセットしたメタデータを本機にロードします。

LOADに移動した状態でOPERATIONレバーを押すと、SDメモリーカードのメタデータが表示されますので、再度OPERATIONレバーを押してください。

ロードする/しない (YES/NO) を選び、OPERATIONレバーを押してください。

- ロードするメタデータファイル名が半角英数字以外の場合は「*」に変換されて表示されます。

RECORD :

本機にロードするメタデータを同時にP2カードに記録するかどうかを設定します。

記録する/しない (ON/OFF) を選び、OPERATIONレバーを押してください。工場出荷モードはOFFです。

USER CLIP NAME:

USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは「付録」をご参照ください。(→ 123 ページ)

INITIALIZE :

本機に記録されたメタデータを初期化します。RECORDのON/OFF設定を含め、すべてクリアされます。

初期化する/しない (YES/NO) を選び、OPERATIONレバーを押してください。

PROPERTY :

本機に記録されたメタデータを表示します。OPERATIONレバーを▲▼方向に倒してPROPERTYの項目を選び、OPERATIONレバーを押すと、各項目の内容が表示されます。OPERATIONレバーで内容を変更することもできます。

変更方法は「記録されたクリップメタデータの修正」と同様です。(→ 74 ページ)

LANGUAGE :

メタデータを表示するときの表示言語を選択することができます。英語/日本語 (ENGLISH/JAPANESE) から選択し、OPERATIONレバーを押してください。

- 日本語や中国語を英語で表示した場合や、英語の非表示文字などがある場合は、正しく表示されず「*」で表示されます。
- 本機で入力できる文字は英数字のみです。日本語、中国語は入力できません。

EXIT :

1つ前の画面に戻ります。

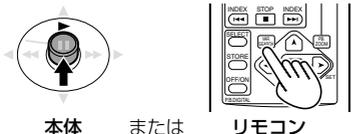
- MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

再生に便利な機能

可変速サーチ

再生速度を変えて、場面を探することができます。

- 再生中に、OPERATION レバーを▶（再生）方向に倒す。
リモコンの場合は、VAR. SEARCH ボタンを押してください。

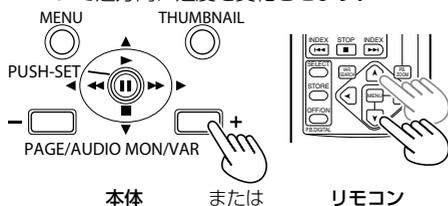


ビューファインダーや液晶モニターに [1 ×] が表示され、× 1 倍速で再生します。

- PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンを押して、再生速度を切り替える。

リモコンの場合は、SET ボタンの [▼] または [▲] を押してください。

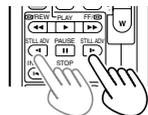
- ボタンを押すごとに 1/5 倍速、1 倍速、2 倍速、4 倍速、12 倍速、24 倍速と再生速度が変更します。12 倍速、24 倍速では音声は再生されません。
- + ボタンで正方向に速度を変化させ、- ボタンで逆方向に速度を変化させます。



通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを▶（再生）方向に倒す、またはリモコンの VAR. SEARCH ボタンを押します。

スロー再生

- 再生中に、リモコンの STILL ADV ボタン (◀ または ▶) を押す。



通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを▶（再生）方向に倒します。

早送り / 早戻し再生

- 再生中に、OPERATION レバーを◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）方向に倒す。
× 4 倍速で早送り / 早戻し再生します。
押したままにすると、速度が早くなります。
（× 32 倍速）



通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを▶（再生）方向に倒します。

コマ送り再生

- 再生中に、||（一時停止）を押して、一時停止状態にする。
- PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンを押す。
リモコンの場合は STILL ADV ボタン (◀ または ▶) を押します。



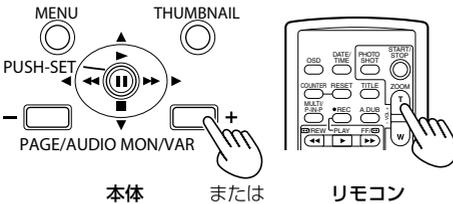
通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを▶（再生）方向に倒します。

クリップ送り / 戻し

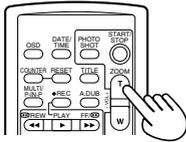
- 1 再生中に、**II** (一時停止) を押して、一時停止状態にする。
- 2 OPERATION レバーを **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) 方向に倒す。



音量を調整する



- 1 **PAGE/AUDIO MON/VAR** ボタンで、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量を調整する。
リモコンの場合、**ZOOM/VOL** ボタンを押します。



モニターに接続して見る

BNC ケーブル (別売)、AV コード (別売)、またはコンポーネント映像ケーブル (付属) を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

- 1 本機とテレビを接続する。(→ 81 ページ)
- 2 本機を再生する。

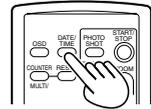
- ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示する時は、リモコンの **OSD** ボタンを押します。再度、**OSD** ボタンを押すと、表示が消えます。



撮影日時を確認する

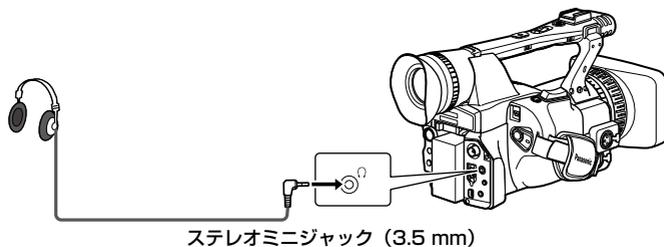
リモコンの **DATE/TIME** ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

時刻の表示
↓
日付の表示
↓
時刻と日付の表示
↓
表示なし



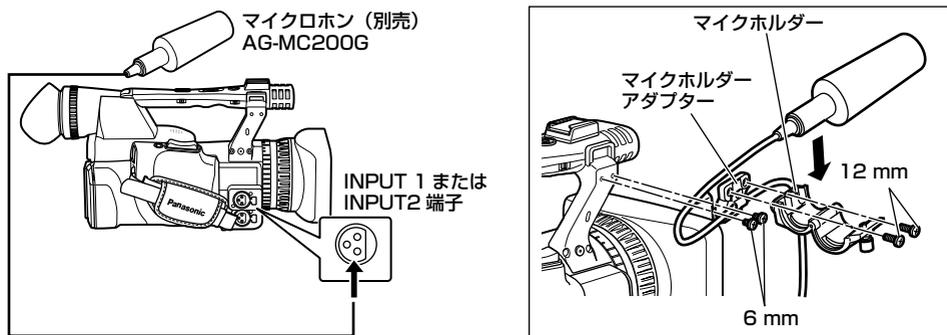
外部機器を接続する

ヘッドホン



- ヘッドホンを接続するとスピーカーから音声は出力されません。

外部マイク



- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。
- マイクホルダーおよびマイクホルダーアダプターをネジで取り付ける際、ゴムとの摩擦音がしますが、しっかりと締め付けてください。

パソコン（ノンリニア編集 / ファイル転送）

■ 1394 ケーブルを接続するときのご注意

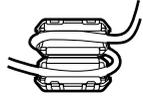
- 1394 ケーブルの両端に付属のフェライトコア（長さ 30 mm）を取り付けてください。ケーブルを右図のように通した後、「パチッ」と音がしてロックするまでフェライトコアを閉めてください。
- フェライトコアは、落下などの衝撃によって割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。



フェライトコア（長さ 30 mm）

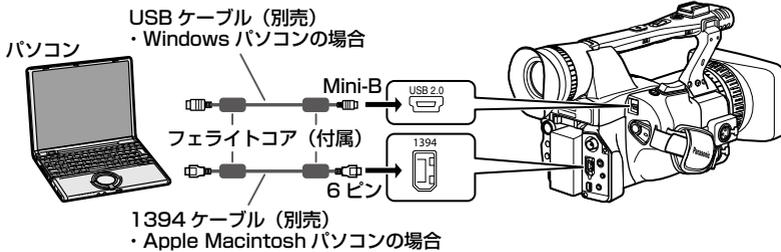
■ USB ケーブルを接続するときのご注意

- ケーブルの両端から 5 センチ程度に収まるように USB ケーブルに付属のフェライトコア（長さ 35 mm）を取り付けてください。ケーブルを右図のように巻きつけた後、「パチッ」と音がしてロックするまでフェライトコアを閉めてください。
- フェライトコアは、落下などの衝撃によって割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。



フェライトコア（長さ 35 mm）

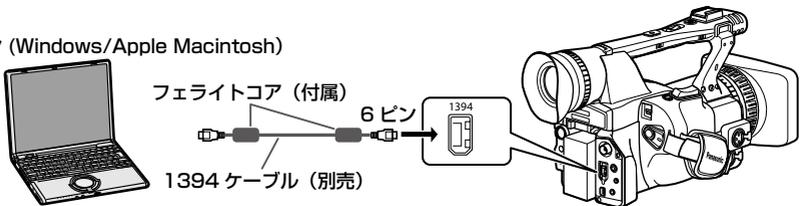
ファイル転送 / ノンリニア編集



- USB ケーブルを接続する場合は、パソコン側の端子を先に接続してください。
- 4 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合は、本機の端子（6 ピン）を先に接続してください。
- パソコンの条件等については → 82 ページ
- USB ケーブルは、3 m以内のダブルシールドケーブルをご使用ください。

1394 AVC 転送 / ノンリニア編集

パソコン (Windows/Apple Macintosh)



- ノンリニア編集機器から本機をコントロールする場合は、本機のサムネール画面を解除してください。（→ 69 ページ）
- パソコンから本機への転送中に、本機から同時に出力される映像・音声信号については保証されません。
- パソコンの画面には、機種名が表示されます。
- 4 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合は、本機の端子（6 ピン）を先に接続してください。

Macintosh に本機を接続する場合

- Macintosh の電源を入れた後、1394 ケーブルを接続してください。本機がマウントされないことがあります。
- Macintosh が省電力設定によってスリープした後は、本機を認識しないことがあります。この場合、1394 ケーブルを抜いて再度挿入してください。

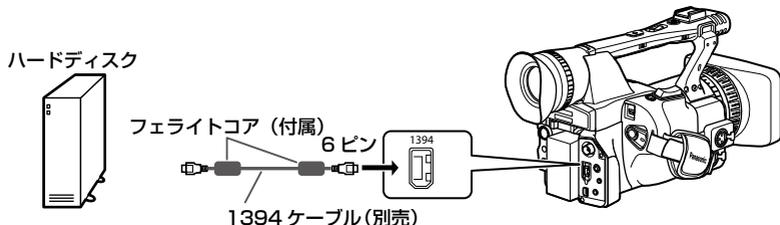
外部機器を接続する (つづき)

Macintosh に本機が正しくマウントされない場合

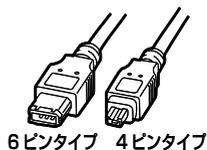
- P2 カードのアクセスランプがオレンジ色点滅している時：
 1. アプリケーション→ユーティリティ→ディスクユーティリティを起動する
 2. X.X GB Panasonic ディスクのボリュームの中からグレー表示のものを選び、「マウント」をクリックする。
- P2 カードのアクセスランプが消灯している時：

P2 カードを抜いて再度挿入してください。それでもマウントされない時は、1394 ケーブルを抜いて再度挿入してください。

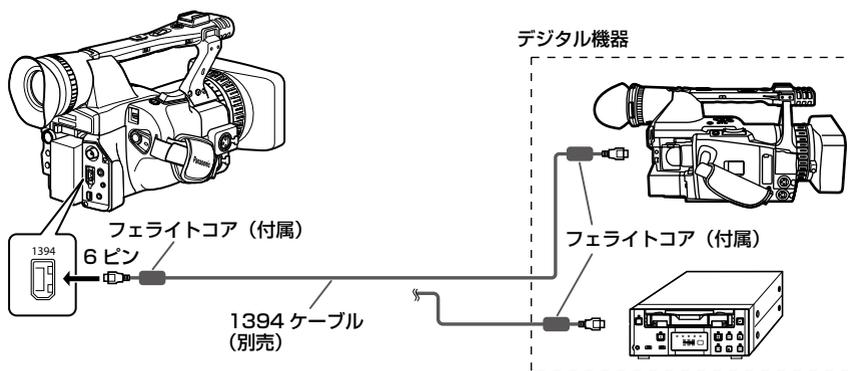
ハードディスク (データコピー)



- 1394 ケーブルを接続する時や外す時は、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合、1394 ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。USB ケーブルも同様です。
- 4 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合は、本機の端子 (6 ピン) を先に接続してください。
- 1394 端子に 1394 ケーブルを接続した時に、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。

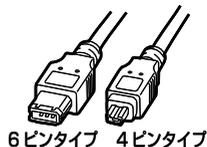


デジタルビデオ (ダビング)



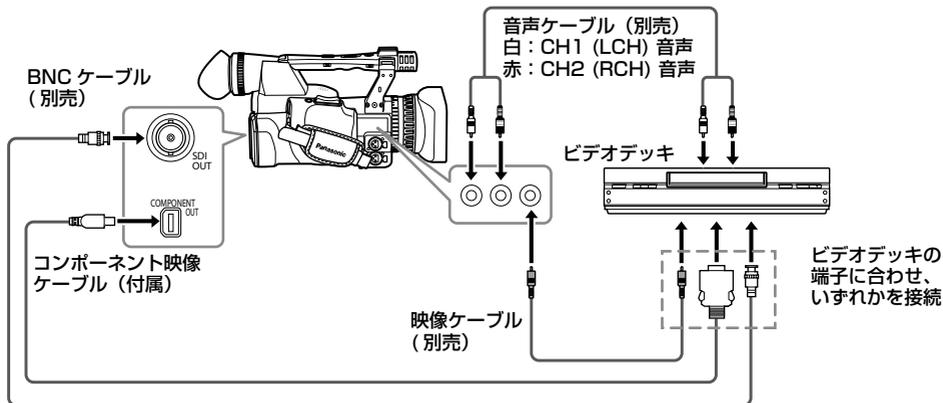
■ 1394 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。

- 1394 ケーブルを接続する時や外す時は、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合、1394 ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。



- 4 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合は、本機の端子（6 ピン）を先に接続してください。
- 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 外部機器から信号を記録している時は、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行う時に認識できないことがあります。
- 外部機器から信号を記録している時は、外部機器側で出力される信号のフォーマットを変更しないでください。正しい記録を行うことができません。
- 1394 端子に 1394 ケーブルを接続した時に、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
- 外部機器から 1394 ケーブルで信号を入力した時、SDI 出力などから映像が出力されますが、映像確認レベルであり、保証されません。（コマ飛びやコマ重なりが発生します。）
- DVD 機器での自動録画機能は正常に動作しないことがあります。その場合、手動で録画してください。

ビデオデッキ（ダビング）

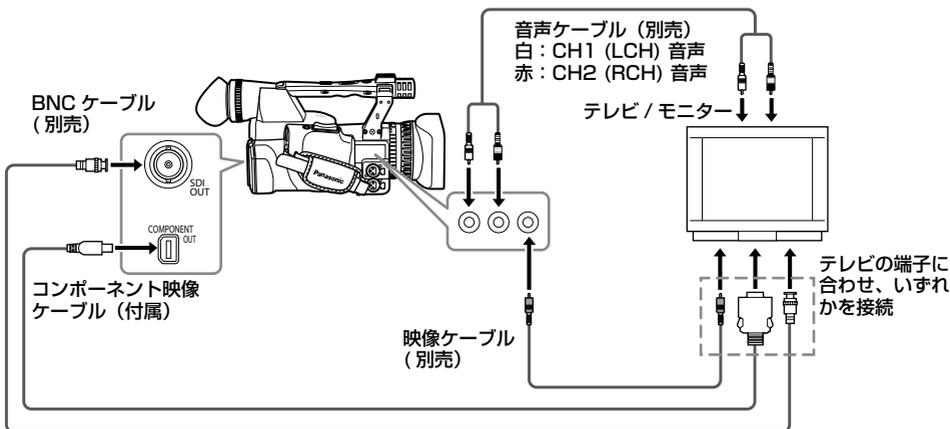


AUTO REC 機能

本機の REC START/STOP 時に、SDI (HD) 出力より REC START/STOP 情報を出力し、外部機器を制御することが出来ます。

※外部機器が対応している場合のみ有効です。

テレビ / モニター（再生 / ダビング）



P2 カードのノンリニア編集をする (PC モード)

編集用のパソコンと USB ケーブル (Windows)、または 1394 ケーブル (Apple Macintosh) *1 で接続して、P2 カード内の映像データをノンリニア編集することができます。(接続 → 79 ページ)

十分に充電されたバッテリー、または AC アダプターをご使用ください。

*1 1394 ケーブルでパソコンと接続した場合は、読み専用となり、P2 カードへの書き戻しはできません。

USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- WindowsXP または WindowsVista を搭載
- USB 専用ドライバーがインストールされている (付属の CD-ROM に添付)
- USB2.0 (High Speed、MassStorageClass) 対応 (USB1.1 は対応していません)
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- USB ケーブル接続時、パソコンの画面には、本機のシリーズ名が表示されます。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。
- 3 m を超える USB ケーブルは使用しないでください。誤動作の原因になります。
- Macintosh での動作は保証していません。

1394 接続を行う場合は次の条件が必要です。

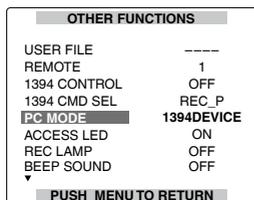
- Apple MacOSX 10.3 以上を搭載
- 1394.a (SBP2 プロトコル) に対応
- Windows での動作は保証していません。

• P2 カードを本機に挿入してください。
(→ 28 ページ)

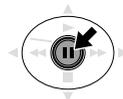
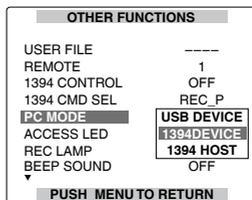
1 本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の PC MODE を選択し、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。

- メニューの操作 (→ 93 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 17 ページ)



3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して USB DEVICE または 1394 DEVICE を選び、OPERATION レバーを押す。



4 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除する。



5 動作モードボタンを押して MCR ランプを点灯させ、さらに 2 秒以上押し続ける。

PC ランプが点灯し、PC モードになります。アクセス可能な状態になると、本機で USB (または 1394) DEVICE CONNECT が表示されます。(DISCONNECT が表示された場合は操作できません)

6 パソコンでノンリニア編集を行う。

パソコンのマイコンピュータに、P2 カードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。

- 詳しくは、パソコン側の編集ソフトの説明をご覧ください。
- カードを入れ替える場合、USB 接続の時はアクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してください。1394 接続の時はドライブアイコンをゴミ箱にいれてからカードを抜いてください。
- PC モードの間は、本機の操作が行えません。
- ケーブルを抜く時は、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。1394 接続の場合は、本機で 1394 DEVICE DISCONNECT と表示されたのを確認してからケーブルを抜いてください。USB 接続の場合は、USB DEVICE CONNECT 表示のままです。カードにアクセスしていないことを十分に確認の上、ケーブルを抜いてください。

7 本機の電源を切る。

- 電源を切るときは、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。1394 接続の場合は、本機で 1394 DEVICE DISCONNECT と表示されたことを確認してから電源を切ってください。USB 接続の場合は、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行っても USB DEVICE CONNECT が表されたままですので、カードにアクセスしていないことを十分に確認した上で、電源を切ってください。
- 動作モードボタンを 2 秒以上押し続けても、PC モードは解除できません。

P2 カードは Type- II 準拠ですので、パソコンのカードスロットに直接挿入して、ノンリニア編集することもできます。

- Card Bus ドライバーが CD-ROM（付属）に入っています。
-

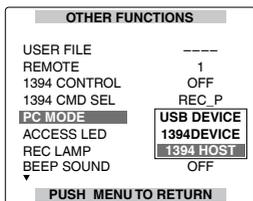
P2 カードから HDD にコピーする (1394 ホストモード)

- コピーに十分な容量の HDD (ハードディスク) をご使用ください。
- HDD を本機用にフォーマットしてから行います。HDD 内のすべてのデータは消去されますので、ご注意ください。
- 本機と 1 台の HDD を 1394 ケーブルで接続してください。(→ 80 ページ)
- 電源が入っていない HDD であっても、複数台の接続 (チェーン、ハブなど) は行わないでください。
- P2 カードを本機に挿入してください。(→ 28 ページ)

1 接続する HDD (1394.a SBP2 対応) の電源を入れ、1394 ケーブルで接続した後、本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の PC MODE 項目で、1394 HOST を選び、OPERATION レバーを押す。

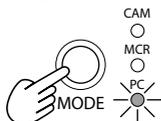
- メニューの操作 (→ 93 ページ)



3 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除する。



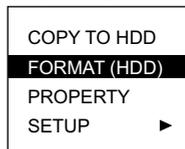
4 動作モードボタンを押して、MCR ランプを点灯させ、さらに 2 秒以上押し続ける。PC ランプが点灯し、PC モードになります。



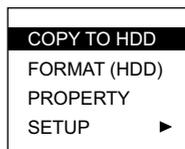
5 HDD をフォーマットしていない場合のみ OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して FORMAT (HDD) を選び、OPERATION レバーを押す。

その後、OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して YES を選び、OPERATION レバーを押してください。

フォーマットが始まります。(フォーマットは約 2～3 秒程度で終了します。)



6 フォーマットが終了したら OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して COPY TO HDD を選び、OPERATION レバーを押す。



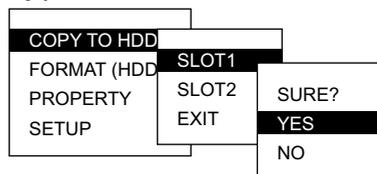
- HDD へのコピーはカード単位で行われます。

7 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒してカードスロットを選び、OPERATION レバーを押す。

その後、OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して YES を選び、OPERATION レバーを押してください。

コピーが始まります。

- 1 台の HDD につき 15 回までコピーができます。



8 コピーが終了したら本機の電源を切る。

- 動作モードボタンを 2 秒以上押し続けても、1394 ホストモードは解除できません。

HDD の状態を確認するには

画面右上の (HDD アイコン) で、以下のように HDD の状態を表示します。

白色：HDD が接続中で使用可能な状態

黒色：HDD が接続されていない状態

赤色：フォーマットの状態などにより HDD へコピーできない状態

- 赤色で表示された HDD にコピーする場合は、手順 5 で HDD のフォーマットを行ってください。

HDD にコピーした内容を確認するには

前ページの手順 **4** の後、OPERATION レバーを **▲▼** 方向に倒して PROPERTY を選んで、OPERATION レバーを押す。HDD の中身が表示されます。

- 各項目の詳細を見るには、OPERATION レバーを **▲▼** 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押してください。

HDD へのコピー時にベリファイ（データ検査）を行うには

前ページの手順 **4** の後、OPERATION レバーを **▲▼** 方向に倒して SETUP の VERIFY 項目から、YES を選ぶ。

- ベリファイ中に処理を中断しても、P2 カードのコピーは終了しています。

- ハードディスクから P2 カードへのコピーはできません。
- HDD は以下の条件でご使用ください。
 - 1394 バス以外から電力を供給する。（本機からは供給されません）
 - HDD を本機用にフォーマットしてもよい。
 - HDD の動作保証範囲内（温度など）で使用する。
 - HDD を振動する場所や不安定な場所に置かない。
- HDD によっては正しく動作しない場合があります。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2 カードを取り出したり、本機や HDD の電源を切ったりしないでください。電源の再起動が必要になります。
- HDD（1394.a SBP2 対応）を接続せずに 1394 HOST モードに入り、それから HDD を接続した場合は動作保証されません。いったん電源を切り、1394 HOST モードを解除してください。
- HDD は非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
- HDD の故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーに使用している HDD を他のパソコンなどで置き替えた場合、以後の本機での動作、および HDD のデータは保証できません。

- 不良クリップが含まれる P2 カードは、事前に修復してからコピーすることをお勧めします。
- コピー、フォーマットなどに支障がないよう、安定した電源での使用をお勧めします。

警告表示

HDD CAPACITY FULL!

HDD の空き容量が足りません

TOO MANY PARTITIONS!

パーティションが多すぎます *1

HDD DISCONNECTED!

HDD との接続が切断されました

CANNOT FORMAT!

初期化できません

TOO MANY TARGETS!

1394 の接続先が多すぎます

CANNOT ACCESS TARGET!

接続先にアクセスできません

CANNOT ACCESS CARD!

カードへアクセスできません

MISMATCH COMPONENT!

接続先と整合がとれません

UNKNOWN DEVICE CONNECTED!

HDD 以外のデバイスが接続されました

P2 CARD IS UNFORMATTED!

未フォーマットの P2 カードです

CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!

P2 カードにコンテンツがないのでコピーできません

VERIFICATION FAILED!

ベリファイで不一致が発見されました

TURN POWER OFF!

電源を切ってください

CANNOT RECOGNIZE HDD!

HDD の認識に失敗しました

*1 コピー可能な枚数は最大 15 枚までとなります。

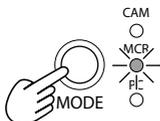
ダビングをする

デジタル入力

1394 端子を持ったデジタルビデオ機器と本機とを 1394 ケーブルで接続すると、デジタル信号による高画質なダビングを、双方向に行うことができます。

1 デジタルビデオ機器を、本機に接続する。
(→ 80 ページ)

2 本機の動作モードボタンを押して、MCR モードに切り替える。

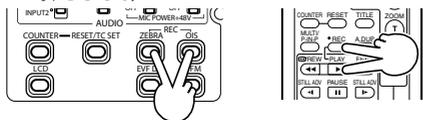


- MCR モード時はサムネール画面を解除してください。
- 接続した機器は、再生または記録できるように設定してください。
- 2 台目のカメラレコーダーなどとデジタルダビングを行う場合は、出力側と入力側のデジタル信号フォーマットが同じでなければ記録できません。
- 720P/24PN および 720P/30PN 設定の場合は、MCR モードでのデジタル出力のみ行えます。デジタル入力はできません。

3 再生側で再生を行う。

4 記録側で記録を開始する。

- 本機が記録側の場合は、REC の 2 つのボタン (ZEBRA ボタンと OIS ボタン) を同時に押します。(リモコンで操作する場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。)



本体 または リモコン

5 記録側の記録を終了する。

- 本機が記録側の場合は、OPERATION レバーを ■ (停止) 方向へ倒します。

6 再生側の再生を終了する。

- 本機が再生側の場合は、OPERATION レバーを ■ (停止) 方向へ倒します。

- DV フォーマットは 48K/2CH または 4CH に変換します。1080i と 720P では CH1 ~ CH4 をそのまま記録し、CH5 ~ CH8 は記録されません。

- 記録側のメニューで、1394 TC REGEN 項目や 1394 UB REGEN 項目を ON に設定してダビングを行うと、再生側のタイムコードやユーザーズビットをコピーすることができます。(→ 103、104 ページ)

この時、再生側の映像を受信していることを、記録側の画面で確認してから記録を開始してください。

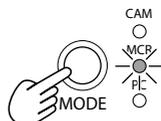
記録側で受信していない時に記録を開始すると、タイムコードやユーザーズビットを正しくコピーできない場合があります。

アナログ出力

本機で撮った内容を、S-VHS (VHS) カセットなどに記録することができます。

1 録画用のビデオ機器を、本機に接続する。
(→ 81 ページ)

2 動作モードボタンを押して、MCR モードに切り替える。



3 本機を再生する。

4 ビデオ機器の記録を開始する。

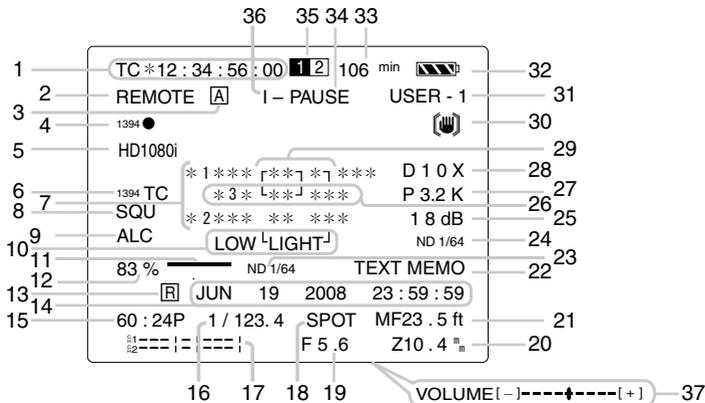
録画が終わったら、ビデオ機器を停止してください。

本機の再生を終了する時は、OPERATION レバーを ■ (停止) 方向へ倒します。

画面の表示

通常の表示

セーフティゾーンについては 38 を参照してください。



1 タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ (または表示なし) に切り替わります。

COUNTER : (CAM モードのみ)

カウンター値

CLIP COUNTER : (CAM モードのみ)

撮影ごとの CLIP のカウンター値

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合に表示されます。

TC :

タイムコード値

タイムコード値が P2 カードから正しく読みとれなかった時には、[TC *] を表示します。ドロップフレームモード運用している時は、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

tc :

タイムコード値 (FILM CAM モード時、フレーム桁を 24 フレームで表示)

タイムコード値が P2 カードから正しく読みとれなかった時には、[tc *] を表示します。ドロップフレームモード運用している時は、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

UB :

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が P2 カードから正しく読みとれなかった時には、[UB *] を表示します。

FR :

FR : 撮影するフレームレート情報

FR 60i : 60i インターレースモード (60 フィールド / 秒)

FR 60P : 60P プログレッシブモード (60 フレーム / 秒)
 FR 30P : 30P プログレッシブモード (30 フレーム / 秒)
 FR 24P : 24P プログレッシブモード (24 フレーム / 秒)
 FR 24PA : 24P アドバンスモード (24 フレーム / 秒)
 FR 24P と FR 24PA のモードのときは、最終けたにフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

2 ワーニング情報表示

REMOTE :

ワイヤレスリモコンの機器設定が違う場合、点滅します。

[] :

P2 カードが挿入されていない時や記録禁止状態の時に点滅します。

[] FULL :

P2 カードの残量がない時に点滅します。

[] LACK :

ループバックモードで P2 カードの残量が不足している時に点滅します。

[] :

カレンダー用の内蔵電池が消耗している時に点灯します。(→ 62 ページ)

3 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示

AUTO/MANUAL スイッチを切り替えた時に、設定メニューの AUTO SW 画面で設定された機能が動作している場合に表示します。

(次ページへつづく)

4 バックアップ用機器の状態表示

1394 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を OFF に設定していると表示されません。

1394 ● : 記録

1394 II : 記録待機

1394 ☒ : バックアップ機器が制御できない状態

1394 : バックアップ機器が未接続

1394 --- : バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない

5 記録フォーマット (→ 102 ページ) 表示

6 1394 TC 表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 1394 IN PRESET 項目が ON の時に表示されます。(MCR モードの時は表示されません。)

7 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示
- 警告表示 (→ 91 ページ)
- DISP/MODE CHK ボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示

8 スクイーズ記録表示

設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目で SQUEEZE を選択して (→ 99 ページ) スクイーズ記録を行っている時や、スクイーズ記録された映像を再生している時に表示します。

9 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON にした時に表示します。

10 AWB エラー表示

LOWLIGHT : オートホワイトバランス調整時、輝度が低すぎる時に表示します。

C TEMP ** : オートホワイトバランス調整時、WHITE BAL スイッチ切り替え時、電源オン時、設定メニュー SCENE FILE 画面の COLOR TEMP (A ch, B ch) 項目が 0 以外の時に表示します。

11 フォーカスバー

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の FOCUS BAR 項目が ON のとき表示されます。フォーカスが合うとバーが右方向に伸びます。

12 マーカー輝度表示

マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを 0% ~ 99% で表示します。99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

13 タイムスタンプ記録表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の TIME STAMP 項目が ON の時に表示されます。

14 日付と時刻表示

月:
 JAN (1月)、FEB (2月)、MAR (3月)、
 APR (4月)、MAY (5月)、JUN (6月)、
 JUL (7月)、AUG (8月)、SEP (9月)、
 OCT (10月)、NOV (11月)、DEC (12月)
 日
 年: 2000...2030
 時
 分
 秒

mmm dd yyyy hh:mm:ss

15 記録 / 再生フレームレート表示

720/30PN および 720/24PN の時以外は、記録フレームレートのみを表示します。

16 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

17 オーディオレベルメーター表示

(→ 55 ページ)

18 オートアイリス制御表示

STD : 標準オートアイリス制御

SPOT : スポットライト用のオートアイリス制御

BACK : 逆光補正用のオートアイリス制御

19 アイリス表示

CAM モードでは、撮影時の F 値を表示します。480i DV フォーマットの場合のみ、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目が ON に設定されていると、撮影時の F 値が再生時にも表示されます。

20 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM・FOCUS 項目で、単位を mm に切り替えられます。

21 フォーカス制御情報表示

99～00でフォーカス制御情報を表示します。

オートフォーカスの時はAF、マニュアルフォーカスの時はMFと表示されます。また、設定メニューSW MODE画面のMF ASSIST項目がONの時のマニュアルフォーカス時はMAと表示されます。マクロ制御に設定している時は、AF、MFまたはMAが白黒反転表示になります。

95 (被写体までの距離：無限遠)

：

00 (被写体までの距離：約5 cm)

ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。

また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。設定メニューDISPLAY SETUP画面のZOOM・FOCUS項目で、単位をfeetまたはmに切り替えられます。

22 テキストメモ、およびショットマーク表示

記録、または再生中に、あらかじめTEXTMEMO機能を割り当てたUSERボタンを押して、テキストメモを記録するときに点灯します。

- 記録中にSHOT MARKを割り当てたUSERボタンを押して記録中のクリップにショットマークをつけたとき、MARK ONと表示されます。再び押すと、ショットマークは消去されMARKOFFと表示されます。
- テキストメモが記録できなかったとき、またはショットマークの記録/削除ができなかったときはINVALIDと表示されます。

23 推奨NDフィルター表示

現在の撮影条件下で、推奨するNDフィルターを表示します。

24 NDフィルター表示

選択しているNDフィルターを表示します。

25 ゲイン表示

CAMモードでは、設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。(オートモード時はAGC表示。)

480i DVフォーマットの場合のみ、設定メニューDISPLAY SETUP画面のCAMERA DATA項目がONに設定されていると、撮影時のゲイン値が再生時にも表示されます。

26 AWB動作表示

ホワイトバランスの動作を表示します。

27 AWB情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。

ATW : ATW設定時

P3.2 K/P5.6 K : プリセット時

Ach/Bch : A/B時

LOCK : ATWロック時

28 デジタルズーム表示

デジタルズーム倍率を表示します。

D2X : 2倍

D5X : 5倍

D10X : 10倍

29 マーカー表示

撮影時にZEBRAボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

30 手ぶれ補正(■)表示

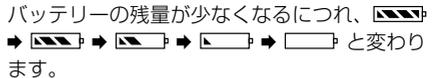
CAMモードで、手ぶれ補正モードで撮影した場合、(■)を表示します。

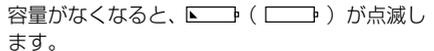
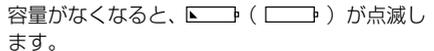
480i DVフォーマットの場合のみ、設定メニューDISPLAY SETUP画面のCAMERA DATA項目がONに設定されていると、手ぶれ補正モードで撮影した場合、再生時にも(■)を表示します。

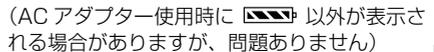
31 シーンファイル名表示 (CAMモード時)

(→ 56ページ)

32 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、と変わります。

容量がなくなると、 () が点滅します。

(ACアダプター使用時に以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

33 メディア残量表示

残量時間を表示します。

設定メニューDISPLAY SETUP画面のP2 CARD REMAIN項目で、残量表示を挿入カードの合計(TOTAL)か、記録対象のみの残量(ONE-CARD：白黒反転表示)のいずれかより選択できます。MODE CHECK時にMENU設定と反対の残量を確認することが出来ます。

残量の計算中は無表示になります。

ループレック中は、「LOOP」と表示され、MODE CHECK時には、ループレック終了時の標準的な記録時間が表示されます。

残量の合計が2分未満になると残量表示が点滅します。

残量表示は0 min～999 minの1分単位です。

(次ページへつづく)

画面の表示 (つづき)

34 動作状態表示

- REC : 記録
- PAUSE : 記録待機
- ⏏ : 再生一時停止
- ▷ : 再生
- ▷▷ (◀◀) : 早送り / 早送り再生 (巻き戻し / 早戻し再生)
- ◁▷ (◀◁) : スロー再生 (逆方向スロー再生)
- CHK : レックチェック
- ▷◁ (◀◀) : 頭出し (逆方向頭出し)
- ◁▷▷ (◀◁◁) : コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)
- ×▷ / ×▷▷ (×◀◀ / ×◀◀◀) : 可変速サーチ (逆方向可変速サーチ)

35 メディア情報表示

P2 カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。

- 1 2 点灯 : 記録可能な P2 カード
- 1 2 緑色点灯 : 記録対象の P2 カード
- 1 2 点滅 : カード認識中
- □ : カード未挿入
- P : ライトプロテクトがかかっている
- F : 容量がいっぱい
- X : 認識不可
- E : フォーマットエラーカード (フォーマットすれば正常になる)

36 特殊記録

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FUNCTION 項目を INTERVAL、ONE SHOT、LOOP に設定している時、または PRE REC を ON に設定している時に表示します。

37 モニター音量レベルメーター

PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンを押すと、内臓スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。

38 セーフティゾーン

DISPLAY SETUP 画面の SAFETY ZONE 項目 (→ 106 ページ) の設定により、範囲を表示します。

4 : 3 4:3 に切り出した位置を表示します。



13 : 9 13:9 に切り出した位置を表示します。



14 : 9 14:9 に切り出した位置を表示します。



90% 一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90%) を表示します。



主な警告表示

COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

EXTERNAL 1394 DISCONNECT

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を EXT に設定して、1394 端子に外部機器を接続しないで撮影を行った時に表示します。

INCOMPATIBLE CARD

規格が違うカードなので、使用することができません。

RUN DOWN CARD

P2 カードの規定の書き換え回数を超過しているため、動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。
P2 カードの交換をおすすめします。

DIR ENTRY NG CARD

P2 カードのディレクトリ配置が不正規となっているため、動作は継続しますが、正常に記録できないことがあります。また、特殊記録（インターバル記録、ワンショット記録、ループレック）には使用できません。

速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。

FORMAT ERR !

P2 規格に準拠していないカードです。

LOW BATTERY

バッテリーの電源が消耗しているため操作できません。

< サムネール画面 >

CANNOT ACCESS

クリップにアクセスできません。

CANNOT DELETE

クリップを削除できません。

CANNOT FORMAT

P2 カードおよび SD メモリーカードをフォーマットできません。

CANNOT REPAIR

クリップを修復できません。

CARD FULL

P2 カードの記録容量が足りません。

WRITE PROTECTED

P2 カードおよび SD メモリーカードが記録禁止状態です。

NO CARD

P2 カードおよび SD メモリーカードが入っていません。

NO FILE

ファイル（バージョンアップファイル等）がありません。

エラー表示

本機や P2 カードに異常が発生した時に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

CANNOT PLAY

再生時に異常が生じた時に表示します。
CARD ERR (1) (2) (1/2)
(数字のスロットの P2 カード異常)
CLIP ERROR (クリップ異常)
UPDATING (クリップ登録中)
ERROR (その他)

SYSTEM ERROR

システムに異常が発生した時表示します。
電源を入れ直してください。
P2 MICON ERROR (P2 マイコン応答なし)
P2 CONTROL ERROR (P2 制御異常)
REC RAM OVERFLOW
(記録 RAM のオーバーフロー)

TURN POWER OFF

カードをアクセス中に抜いて異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。

REC WARNING

記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

CARD ERR (1) (2) (1/2)

(数字のスロットの P2 カード異常)
• 警告が続く場合は電源を OFF にしてください。
• 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

ERROR (その他の異常)

WARNING

カメラ系の異常が発生した時に表示します。再度記録してください。

FOCUS LOCK (フォーカス動作異常)

PSD NG (手ぶれ検出異常)

GYRO NG (手ぶれ補正制御異常)

1394

1394 接続や信号に異常が発生した時に表示します。

1394 INITIAL ERROR (接続異常)

1394 INPUT ERROR (入力異常)

1394 INPUT ERROR (OTHER FORMAT)
(入力フォーマット違い)

画面の表示（つづき）

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押した時や、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目（→ 106 ページ）の設定により表示します。

表示項目	MODE CHECK	DISPLAY	OTHER DISPLAY 項目の設定		
			ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—	—	—
3 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示	○	○	○	○	×
5 記録フォーマット	○	○	○	×	×
7 情報表示	○	—	×	×	×
8 スクイーズ記録表示	○	○	○	○	×
9 マイクレベル自動制御表示	○	○	○	×	×
11 フォーカスバー表示	—	—	—	—	—
13 タイムスタンプ表示	○	○*4	—	—	—
14 日付と時刻表示	○	○*4	—	—	—
15 記録 / 再生フレームレート表示	○	○	○*1	×	×
16 シャッタースピード表示	○	○	○	○	×
17 オーディオレベルメーター表示	○	○	—	—	—
18 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	×
19 アイリス表示	○	○	○	○	×
20 ズームポジション表示	○	○	—	—	—
21 フォーカス制御情報表示	○	○	—	—	—
23 推奨 ND フィルター表示	○	○	○	○	×
24 ND フィルター表示	○	○	○	×	×
25 ゲイン表示	○	○	○	○*2	×
27 AWB 情報表示	○	○	○	○*3	×
28 デジタルズーム表示	○	○	—	—	—
30 手ぶれ補正表示	○	○	○	○	×
31 シーンファイル名	○	○	○	×	×
32 バッテリー残量表示	○	○	—	—	—
33 メディア残量表示	○	○	—	—	—
38 セーフティゾーン表示	—	—	—	—	—

○：表示する

×：表示しない

—：他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。

DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。

*1 FRAME RATE が 60i の時は表示されません。

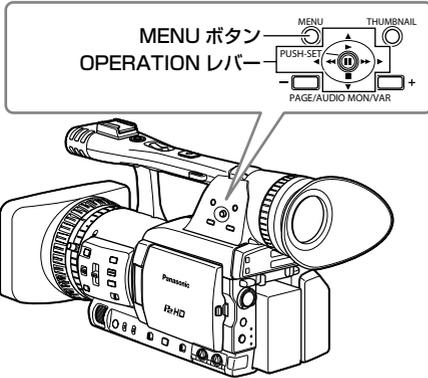
*2 OdB は表示されません。

*3 プリセット 3.2 K と 5.6 K のみ表示します。

*4 13 タイムスタンプ表示と 14 日付と時刻表示の両方を表示させている時は、DISP/MODE CHK ボタンを押しても表示は消えません。

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。



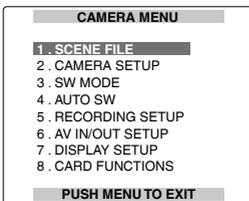
設定メニューの操作方法

- サムネールメニューが表示されている場合は、THUMB NAIL ボタンを押して解除してください。(➔ 69 ページ)
- 青文字で表示されているメニュー項目は使用できません。

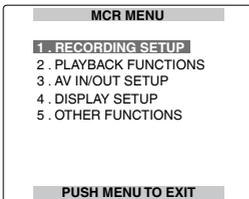
1 撮影中や記録動作中以外の時に、MENU ボタンを押す。

下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

CAM モード (例)



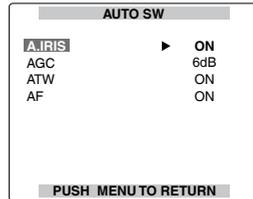
MCR モード (例)



2 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定したい機能に反転表示している部分を移動する。

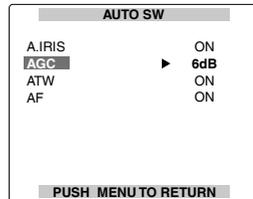
3 OPERATION レバーを押して (または ▶ 方向に倒して)、設定項目を表示する。

例：



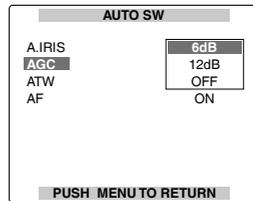
4 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定したい項目に移動する。

例：



5 OPERATION レバーを押して、設定する。数値などを変更する時は、OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定値を変更します。

例：



(次ページへつづく)

6 他の項目を変更する場合は、4～5を繰り返す。

設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、機能画面に戻ります。

7 他の機能を変更する場合は、2～5を繰り返す。

メニューモードを終了する場合は、再度 MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

設定メニューは、ユーザーファイルとシーンファイルに分かれており、それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

ユーザーファイル（シーンファイル以外の全項目）を初期化するには

OTHER FUNCTIONS 画面の USER FILE 項目で、INITIAL を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

シーンファイル（SCENE FILE）を初期化するには

6つのシーンファイルのうち、初期化したいファイルをシーンダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の LOAD/SAVE/INIT 項目で INITIAL を選択すると、選択したシーンファイルのみの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- シーンダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

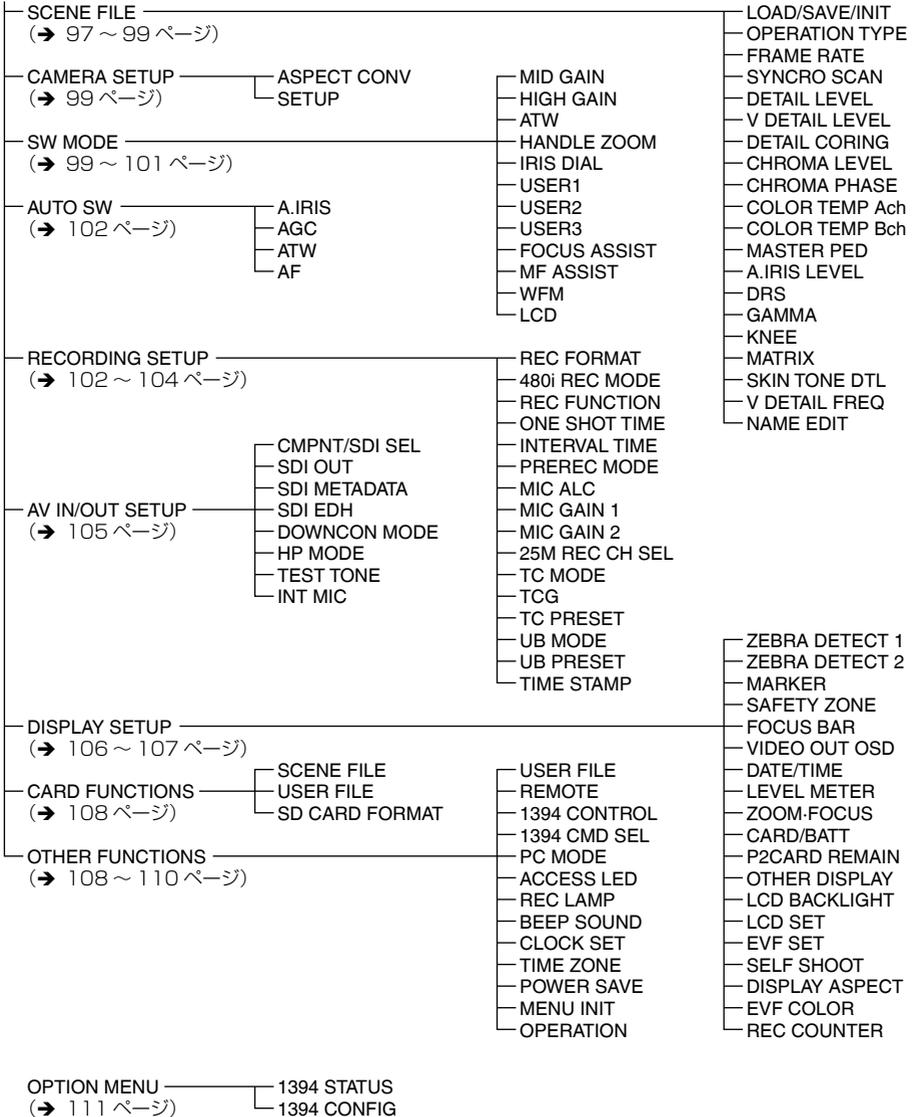
ユーザーファイル、シーンファイルを同時に初期化するには

OTHER FUNCTIONS 画面の MENU INIT 項目で YES を選択するとユーザーファイルと6つのシーンファイル全てを工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定メニューの構成

カメラ (CAM) モードのメニュー

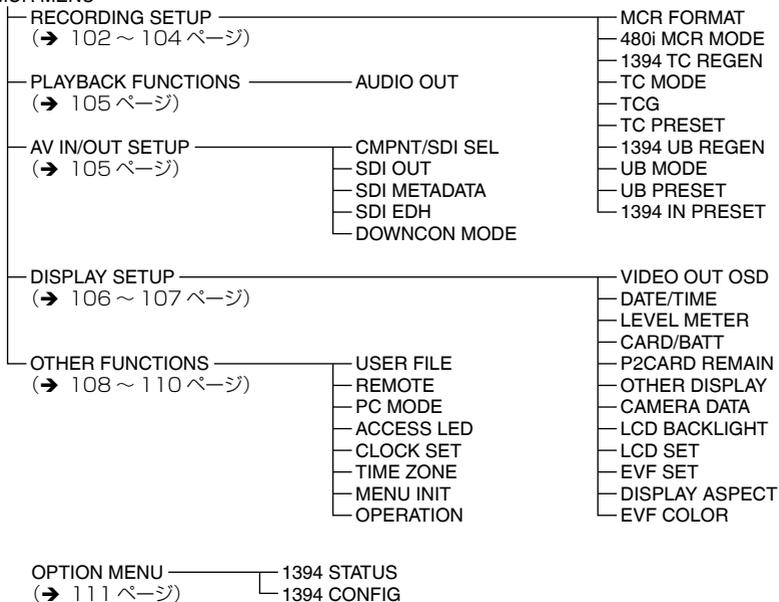
CAMERA MENU



設定メニューの構成 (つづき)

MCR (再生) モードのメニュー

MCR MENU



設定メニュー一覽

SCENE FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
LOAD/SAVE/INIT	(カメラ)	LOAD : SAVE で保存したシーンファイルの設定値を、読み込みます。 SAVE : 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 INITIAL : シーンファイルダイヤルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。
OPERATION TYPE	(カメラ)	シャッターやフレームレート動作をビデオ系またはフィルム系に切り替えます。 VIDEO CAM : SYNCRO SCAN : 1/n で表示 FILM CAM : SYNCRO SCAN : 角度で表示
FRAME RATE	(カメラ)	720P 設定で FILM CAM 時に、撮影の間隔および露光時間を切り替えます。 DEFAULT の値は、記録フォーマットのフレームレートに依存します。 DEFAULT, 12, 15, 18, 20, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 32, 34, 36, 40, 44, 48, 54, 60
SYNCRO SCAN	(カメラ)	テレビ画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 OPERATION TYPE 項目が VIDEO CAM の場合 : ・ 60P/60i の時 : 1/60.0…1/249.8 ・ 30P/30PN の時 : 1/30.0…1/48.0…1/249.8 ・ 24P/24PA/24PN の時 : 1/24.0…1/48.0…1/249.8 OPERATION TYPE 項目が FILM CAM の場合 : 「180.0d」のように角度で表示されます。 10.0deg…180.0deg…360.0deg (0.5度ステップで可変)
DETAIL LEVEL	(カメラ)	画像の輪郭補正 (水平垂直の両方向) の強弱の調整を行います。 - 7…0…+ 7
V DETAIL LEVEL	(カメラ)	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 - 7…0…+ 7
DETAIL CORING	(カメラ)	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 - 7…0…+ 7 - 方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 + 方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL	(カメラ)	クロマレベルの調整を行います。 - 7…0…+ 7
CHROMA PHASE	(カメラ)	クロマ位相の微調整を行います。 - 7…0…+ 7
COLOR TEMP Ach	(カメラ)	色温度の微調整 (ホワイトバランス Ach の調整を行った後の微調整) を行います。 - 7…0…+ 7
COLOR TEMP Bch	(カメラ)	色温度の微調整 (ホワイトバランス Bch の調整を行った後の微調整) を行います。 - 7…0…+ 7
MASTER PED	(カメラ)	映像の基準とする黒のマスターペダスタルの調整を行います。 - 100…0…+ 100
A.IRIS LEVEL	(カメラ)	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 - 10…0…+ 10

設定メニュー一覧 (つづき)

SCENE FILE 画面 (つづき)		
項目	表示モード	設定内容
DRS	(カメラ)	DRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能を選択します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 OFF、1、2、3 • 数値が大きいくほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなり、暗部のノイズも大きくなります。 • 60i、60P VIDEO CAM 時のみ有効となります。 • スローシャッター時は、青文字で表示され選択することができます。
GAMMA	(カメラ)	ガンマカーブを選択します。 HD NORM : HD 撮影に適したガンマ設定です。 LOW : 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着いた感のある映像にします。コントラストはシャープになります。 SD NORM : DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH : 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 B.PRESS : LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINE-LIKE_D : 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE_V : コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE ガンマを選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く (約 1/2) することをお勧めします。
KNEE	(カメラ)	白飛びを押さえるために、CCD が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル (ニーポイント) を設定します。 AUTO : 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW : 低めの設定 (約 80% から圧縮を開始) MID : 中間の設定 (約 90% から圧縮を開始) HIGH : 高めの設定 (約 100% から圧縮を開始)
MATRIX	(カメラ)	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM1 : 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 NORM2 : NORM より鮮やかな色を表現します。 FLUO : 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 CINE-LIKE : 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。
SKIN TONE DTL	(カメラ)	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON OFF

SCENE FILE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
V DETAIL FREQ	(カメラ)	480i モードでのプログレッシブモードで撮影する時の垂直方向のディテールを設定します。 THIN : ディテールを細くします。 MID : ディテールを少し太くします。 THICK : ディテールを太くします。 「THIN」や「MID」に設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ(60i: インターレース)で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。プログレッシブの環境で再生する時や編集等後処理を行う場合は、「THIN」や「MID」に設定することで、「THICK」に設定した時よりも高解像度の映像が得られます。
NAME EDIT	(カメラ)	シーンファイルダイアルで選択されているシーンファイルの、ファイル名を編集します。

CAMERA SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
ASPECT CONV	(カメラ)	480i で記録する映像のアスペクト比を選択します。記録フォーマットが 1080i、720P の時は選択できません。(→ 44 ページ) SIDE CROP : サイドクロップ(左右両端をカットします) LETTER BOX : レターボックス(上下に黒い帯を追加します) SQUEEZE : スクイーズ(水平方向に圧縮します)
SETUP	(カメラ)	480i での映像信号のセットアップレベルを設定します。 0% : カメラ出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 7.5% A: カメラ出力はセットアップ 7.5%、記録上はセットアップ 0% になります。

SW MODE 画面

項目	表示モード	設定内容
MID GAIN	(カメラ)	GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB
HIGH GAIN	(カメラ)	GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB
ATW	(カメラ)	WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能の動作を設定します。ただし、AUTO/MANUAL スイッチや USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。 Ach : WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 Bch : WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 PRST : WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 OFF : ATW 機能を動作させません。

設定メニュー一覧 (つづき)

SW MODE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
HANDLE ZOOM	(カメラ)	<p>HANDLE ZOOM スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。</p> <p>L/OFF/H : 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF/HIGH (高速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)</p> <p>L/M/H : 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /MID (中速) /HIGH (高速) を設定します。</p> <p>L/OFF/M : 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF/MID (中速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)</p>
IRIS DIAL	(カメラ)	<p>IRIS ダイアルの回転方向と絞り制御を設定します。(MANUAL IRIS モード時)</p> <p>DOWN OPEN : IRIS ダイアルを下方向に回した時に、絞りが開きます。</p> <p>UP OPEN : IRIS ダイアルを上方向に回した時に、絞りが開きます。</p>
USER1	(カメラ)	<p>USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>REC CHECK : レックチェックを行います。</p> <p>SPOTLIGHT : スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>BACKLIGHT : 逆光補正用のオートアイリス制御 (→ 45 ページ)</p> <p>BLACKFADE : ブラックフェード (→ 45 ページ)</p> <p>WHITEFADE : ホワイトフェード (→ 45 ページ)</p> <p>ATW : ATW 機能の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>ATWLOCK : ATW 時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。</p> <p>GAIN : 18dB ボタンを押すと、ゲイン値を 18dB に設定します。なお、記録フォーマットが 60i、60P 時のみ有効です。また、記録フレームレートが 54fps 以下の時およびスローシャッター (1/15) の時は無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲイン値を 18dB に切り替えた時や、18dB から他のゲイン値に切り替えた時は、画像が一瞬乱れることがあります。 この機能を使用する場合、MANUAL モードまたは AUTO モードでお使いの時は、設定メニュー AUTO SW 画面の AGC 項目を OFF にしてください。 <p>D.ZOOM : DIGITAL ZOOM 機能の倍率を切り替えます。 ボタンを押すごとに、OFF (× 1) → × 2 → × 5 → × 10 → OFF (× 1) の順に切り替わります。(→ 33 ページ)</p> <p>TEXT MEMO : テキストメモ記録 (→ 47 ページ)</p> <p>SHOT MARK : ショットマークを記録します。(→ 47 ページ)</p> <p>LVL METER : オーディオレベルメーターの表示チャンネルを切り替えます。(Ch1/Ch2 表示と Ch3/Ch4 表示)</p> <p>LAST CLIP : 撮影直後のクリップを削除します。(→ 48 ページ)</p>

SW MODE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
USER1	(カメラ)	<p>PRE REC : PRE REC 機能の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>F.RATE+ : フレームレートを変更します。</p> <p>F.RATE- : フレームレートを変更します。</p>
USER2	(カメラ)	<p>USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>BACKLIGHT</p>
USER3	(カメラ)	<p>USER3 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>TEXT MEMO</p>
FOCUS ASSIST	(カメラ)	<p>FOCUS ASSIST ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>EXPANDED : 画面中央部分を拡大表示します。</p> <p>GRAPH : ビューファインダーや液晶モニターの画面右上に周波数分布グラフが表示されます。</p> <p>BOTH : 拡大表示と、ヒストグラムの両方を表示します。</p>
MF ASSIST	(カメラ)	<p>マニュアルフォーカスモードの時、最後のフォーカスを自動で合わせます。</p> <p>ON : 最後のフォーカスを自動で合わせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスのずれが大きい場合は、フォーカスが合わないことがあります。 CAM REMOTE ジャックに接続されたリモコンの操作では動作しません。 <p>OFF : フォーカスの自動動作を行いません。</p>
WFM	(カメラ)	<p>WFM ボタンを押した時の WAVE FORM の表示を切り替えます。</p> <p>WAVE : 波形で表示します。</p> <p>VECTOR : ベクトルで表示します。</p> <p>WAVE/VECT : ボタンを押すごとに OFF → WAVE (波形) → VECTOR (ベクトル) → OFF の順に切り替わります。</p>
LCD	(カメラ)	<p>LCD ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>LCD REV : LCD に表示される映像の上下、左右を反転します。</p> <p>OVERSCAN : LCD/ビューファインダーに表示される映像のオーバースキャン、アンダースキャンを切り替えます。 ボタンを押すごとに、オーバースキャン、アンダースキャンが切り替わります。</p> <p>LCD BL : LCD のバックライトの明るさを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> LCD BL で設定したバックライトの明るさは、LCD ボタンに割り当てる機能を変更しても設定が保持されます。

設定メニュー一覧 (つづき)

AUTO SW 画面

項目	表示モード	設定内容
A.IRIS	(カメラ)	ON : オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行います。この時 IRIS ボタンは機能しません。 OFF : オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行いません。IRIS ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。
AGC	(カメラ)	A.IRIS 項目で ON が選択された時のオートゲイン制御の動作を設定します。 6dB : オートモードの時に、最大 6 dB のオートゲイン制御を行います。 12dB : オートモードの時に、最大 12 dB のオートゲイン制御を行います。 OFF : オートモードの時に、オートゲイン制御を行いません。GAIN スイッチで選択されているゲイン制御の動作を行います。
ATW	(カメラ)	ON : オートモードの時に、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能が働きます。この時 WHITE BAL スイッチや USER ボタンでは、ATW 機能動作の ON/OFF を行うことができません。ただし、USER ボタンに ATWLOCK を割り当てている時は、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。 OFF : オートモードの時に、ATW 機能動作を行いません。WHITE BAL スイッチで選択されているホワイトバランス機能動作を行います。
AF	(カメラ)	ON : オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行います。この時 FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンは機能しません。 OFF : オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行いません。FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンで選択されているフォーカスの動作を行います。

RECORDING SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
REC FORMAT	(カメラ)	記録フォーマットを選択します。 1080i/60i、1080i/30P、1080i/24P、1080i/24PA、720P/60P、720P/30P、720P/24P、720P/30PN、720P/24PN、480i/60i、480i/30P、480i/24P、480i/24PA
MCR FORMAT	(MCR)	再生、または 1394 入力のフォーマットを選択します。 1080i/60i、720P/60P、720P/30PN、720P/24PN、480i/60i
480i REC MODE	(カメラ)	記録フォーマットが 480i の時の記録モードを選択します。 DVCPRO50、DVCPRO、DV
480i MCR MODE	(MCR)	記録フォーマットが 480i の時の再生、または 1394 入力のフォーマットを選択します。 DVCPRO50、DVCPRO、DV
REC FUNCTION	(カメラ)	特殊記録モードを設定します。(→ 49、50、51 ページ) NORMAL、INTERVAL、ONE SHOT、LOOP
ONE-SHOT TIME	(カメラ)	ONE-SHOT REC の記録時間を設定します。(→ 50 ページ) 1F、2F、4F、8F、16F、1s
INTERVAL TIME	(カメラ)	INTERVAL REC のインターバル時間を設定します。(→ 49 ページ) 2F、4F、8F、16F、1s、2s、5s、10s、30s、1m、5m、10m
PREREC MODE	(カメラ)	プリレックを設定します。(→ 49 ページ) ON OFF

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
MIC ALC	(カメラ)	マイクレベル自動制御機能の ON/OFF を切り替えます。 (→ 55 ページ) ON OFF ON に設定すると、過大な入力レベルの時に音声歪みを低減することができます。 音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、AUDIO コントロールつまみで調整してください。
MIC GAIN 1	(カメラ)	INPUT 1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 (→ 54 ページ) -50dB -60dB
MIC GAIN 2	(カメラ)	INPUT 2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 (→ 54 ページ) -50dB -60dB
25M REC CH SEL	(カメラ)	DVCPRO、DV フォーマットの時に、記録するオーディオを選択します。(→ 54 ページ) 2CH、4CH <ノート> <ul style="list-style-type: none"> 4 チャンネルに設定しても、1394 入力されているチャンネル数が 2 チャンネルの時は 2 チャンネル入力 (CH1 と CH2 に固定) になります。 4 チャンネルに設定しても、1394 出力は 2 チャンネル出力 (CH1 と CH2 に固定) になります。
1394 TC REGEN	(MCR)	1394 端子に接続している機器の信号を記録する時、記録するタイムコードを選択します。 ON : 1394 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 OFF : TC MODE 項目 / TCG 項目で設定されたタイムコードで記録します。 <ul style="list-style-type: none"> この項目が ON に設定された場合、TC MODE 項目 / TCG 項目の設定よりも優先されます。 1394 端子に信号が入力されていない時は、TC MODE 項目 / TCG 項目の設定に従います。
TC MODE	(カメラ) (MCR)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。 DF : ドロップフレームモードを使用します。 NDF : ノンドロップフレームモードを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P、24PA、24PN に設定している時は、この項目の設定に関係なく、ノンドロップフレームモードになります。
TCG	(カメラ) (MCR)	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN : 動作モードに関係なく歩進させます。 <ul style="list-style-type: none"> 720P/24PN でご使用の場合にフレームレート 24P 以外に設定している場合、タイムコードの FREE RUN 動作は行われず、REC RUN 動作となります。720P/30PN でご使用の場合におけるフレームレート 30P 以外の設定でも同様です。 REC RUN : 記録中の時に歩進させます。
TC PRESET	(カメラ) (MCR)	記録するタイムコードの初期値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P、24PA、24PN に設定している時は、フレームの値を、0 または、5 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
1394 UB REGEN	(MCR)	<p>1394 端子に接続している機器の信号を記録する時、記録するユーザーズビットを選択します。</p> <p>ON : 1394 端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。</p> <p>OFF : UB MODE 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目が ON に設定された場合、UB MODE 項目の設定よりも優先されます。 ユーザーズビット情報がない信号の場合は、ユーザーズビットを記録しません。 1394 端子に信号が入力されていない時は、UB MODE 項目の設定に従います。
UB MODE	(カメラ) (MCR)	<p>ユーザーズビットとして記録する内容を設定します。</p> <p>USER : ユーザーの情報を記録します。</p> <p>TIME : 記録した時刻を記録します。</p> <p>DATE : 記録した日付を記録します。</p> <p>TCG : タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p>FRM. RATE : フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p> <p style="text-align: center;"> * * 0 * * * * * a b c d </p> <p>a: ユーザーズビット値の検算情報</p> <p>b: フレームシーケンス No.</p> <ul style="list-style-type: none"> 24P/24P (ADV) モードの時は、0 ~ 4 を表示。 60i/30P モードの時は、F を表示。 <p>c: フレームレート情報 フレームレート (60/30/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> I/P 識別情報 変換情報 フレームレート係数 <p>d: 記録管理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新フレーム情報 REC START/STOP 情報 <p><ノート> ネイティブ記録されたクリップを再生する場合 1394 出力のユーザーズビットをフレームレート情報にする場合は、この設定を FRM.RATE にしてクリップを再生してください。その場合画面表示されるユーザーズビットもフレームレート情報に変わります。</p>
UB PRESET	(カメラ) (MCR)	<p>ユーザーズビットを設定します。ただし、UB MODE 項目で USER を選択している必要があります。</p>
1394 IN PRESET	(MCR)	<p>TC SET ボタンを押した時に、1394 入力の TC に内部 TCG 値を同期します。</p> <p>ON : 同期セットモードに設定します。</p> <p>OFF : 同期セットモードを解除します。</p>
TIME STAMP	(カメラ)	<p>撮影した映像に DATE/TIME 情報を重畳する機能を設定します。</p> <p>ON : DATE/TIME 項目で設定されている情報を映像に重畳します。</p> <p>OFF : DATE/TIME 項目で設定されている情報を映像に重畳しません。</p> <p><ノート> 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の DATE/TIME 項目が OFF に設定されている場合は、DATE/TIME 情報を重畳しません。</p>

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
AUDIO OUT	(MCR)	P2 カードを再生した時に、AUDIO OUT 端子 (ピンジャック) から出力する音声信号を設定します。 CH1・CH2 : CH1 端子 =CH1 信号、CH2 端子 =CH2 信号 CH1 : CH1 端子 =CH1 信号、CH2 端子 =CH1 信号 CH2 : CH1 端子 =CH2 信号、CH2 端子 =CH2 信号 CH3・CH4 : CH1 端子 =CH3 信号、CH2 端子 =CH4 信号 CH3 : CH1 端子 =CH3 信号、CH2 端子 =CH3 信号 CH4 : CH1 端子 =CH4 信号、CH2 端子 =CH4 信号

AV IN/OUT SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
CMPNT/SDI SEL	(カメラ) (MCR)	コンポーネント端子、SDI 端子の種類を設定します。 AUTO : D4 端子対応モニター (720P/1080i/480i 出力) 1080i : D3 端子対応モニター (1080i/480i 出力) 480i : D1 端子対応モニター (480i 出力) 720P で記録したものを 1080i 出力する時のみクロスコンバートされます。その他の場合は変換なしで出力されます。
SDI OUT	(カメラ) (MCR)	コンポーネント端子、SDI 端子からの映像出力を設定します。 ON : コンポーネント端子から映像は出力されません。SDI 端子から映像が出力されます。 OFF : コンポーネント端子から映像が出力されます。SDI 端子から映像は出力されません。
SDI METADATA	(カメラ) (MCR)	HD-SDI 出力時に、SDI 信号へのメタデータの重畳を設定します。 ON : メタデータを重畳します。 OFF : メタデータを重畳しません。
SDI EDH	(カメラ) (MCR)	SD-SDI 出力時に SD-SDI 信号への EDH の重畳を設定します。 ON : EDH を重畳します。 OFF : EDH を重畳しません。
DOWNCON MODE	(カメラ) (MCR)	ダウンコンバートの出力モードを切り替えます。 SIDE CROP : サイドクロップ 左右両端をカットし、4:3 画角にします。 LETTER BOX : レターボックス 上下に黒い帯を追加し、16:9 画角映像を 4:3 画角に映します。 SQUEEZE : スクイーズ 16:9 画角です。4:3 画角モニターに表示する場合は、水平に圧縮されます。
HP MODE	(カメラ)	ヘッドホンの出力を切り替えます。 LIVE : マイクから入力された音声そのまま出力します。音の遅延が気になる場合に選択します。 RECORDING : 記録される状態の音声 (映像と同期した音声) を出力します。
TEST TONE	(カメラ)	BARS 設定が ON の時、Ch1/2/3/4 へのテストトーン出力を設定します。 ON : Ch1/2/3/4 へテストトーンを出力します。 OFF : テストトーンは出力されません。
INT MIC	(カメラ)	音声記録時の内蔵マイクの入力設定を切り替えます。 ON : 内蔵マイクを使用します。 OFF : 内蔵マイクを使用しません。

設定メニュー一覧 (つづき)

DISPLAY SETUP 画面		
項目	表示モード	設定内容
ZEBRA DETECT 1	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%、105%
ZEBRA DETECT 2	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%、105%、OFF <ノート> OFF に設定した時は、このゼブラパターンを表示しません。
MARKER	(カメラ)	マーカの表示 ON/OFF を切り替えます。(→ 43 ページ) ON OFF ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押して、マーカを表示することができます。
SAFETY ZONE	(カメラ)	SAFETY ZONE を設定します。 OFF、90%、4:3、13:9、14:9
FOCUS BAR	(カメラ)	FOCUS ASSIST バー表示の ON/OFF を切り替えます。 ON OFF ON に設定すると、FOCUS ASSIST バーを表示することができます。
VIDEO OUT OSD	(カメラ) (MCR)	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 ON OFF
DATE/TIME	(カメラ) (MCR)	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 OFF : 日付や時刻を表示しません。 TIME : 時刻を表示します。 DATE : 日付を表示します。 TIME&DATE : 日付と時刻を表示します。
LEVEL METER	(カメラ) (MCR)	オーディオレベルメーターの表示 ON / OFF を切り替えます。 ON OFF
ZOOM・FOCUS	(カメラ)	ズーム値とフォーカス値の単位表示を切り替えます。 OFF、NUMBER、mm/feet、mm/m <ノート> mm/feet 表示、mm/m 表示には誤差がありますので目安としてお使いください。
CARD/BATT	(カメラ) (MCR)	P2 カードの記録残量とバッテリー残量の表示の ON/OFF を切り替えます。 ON OFF
P2CARD REMAIN	(カメラ) (MCR)	P2 カードの記録残量表示を選択します。 ONE-CARD : 現在記録している P2 カードの記録残量を表示します。 TOTAL : 本機に挿入されている P2 カードのトータル記録残量を表示します。
OTHER DISPLAY	(カメラ) (MCR)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。(→ 92 ページ) OFF、PARTIAL、ALL
CAMERA DATA	(MCR)	ON に設定すると、DV フォーマットで記録されたクリップを再生する時に撮影時のカメラ情報(手ぶれ補正、絞り値、ゲイン値)を表示します。 ON OFF <ノート> 480i REC MODE (→ 102 ページ) が DV の時のみ表示します。

DISPLAY SETUP 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
LCD BACKLIGHT	(カメラ) (MCR)	液晶モニターのバックライトを調整します。HIGH に設定すると、通常より明るくなります。 HIGH NORMAL LOW
LCD SET	(カメラ) (MCR)	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(→ 25 ページ) LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST
EVF SET	(カメラ) (MCR)	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。(→ 25 ページ) EVF COLOR LEVEL EVF BRIGHTNESS EVF CONTRAST
SELF SHOOT	(カメラ)	対面撮影を行う時に、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。(→ 43 ページ) NORMAL MIRROR
DISPLAY ASPECT	(カメラ) (MCR)	液晶モニターとビューファインダーのアスペクトを選択します。 AUTO : 記録モード、再生モード等の情報をもとに自動的に切り替えます。 4:3 : 4:3 に固定します。 <ノート> 16:9 表示は、画面上下に黒帯が表示されます。映像は欠けません。
EVF COLOR	(カメラ) (MCR)	ビューファインダー表示をカラー/モノクロから選択します。 ON : カラー表示 OFF : モノクロ表示
REC COUNTER	(カメラ)	撮影時のカウンターの動作を選択します。 TOTAL : カードを COUNTER RESET ボタンでリセットするまでカウントを継続します。 CLIP : 撮影開始時にカウンターをリセットし、撮影単位の時間をカウントします。

設定メニュー一覧 (つづき)

CARD FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
SCENE FILE	(カメラ)	SD メモリーカードへシーンファイルの読み書きをします。 FILE SELECT : 読み書きの対象となるファイル番号を指定します。 READ : SD メモリーカードに保存されたシーンファイル (1 ~ 4) の設定値を選択して読み出します。 WRITE : SD メモリーカードに現在のシーンファイル (1 ~ 4) の設定値を保存します。 TITLE RELOAD : タイトル一覧を更新します。
USER FILE	(カメラ)	SD メモリーカードへユーザーファイル (シーンファイル以外の項目) の読み書きをします。 FILE SELECT : 読み書きの対象となるファイル番号を指定します。 READ : SD メモリーカードに保存されたユーザーファイル (1 ~ 4) の設定値を選択して読み出します。 WRITE : SD メモリーカードに現在のユーザーファイル (1 ~ 4) の設定値を保存します。 TITLE RELOAD : タイトル一覧を更新します。
SD CARD FORMAT	(カメラ)	SD メモリーカードをフォーマットします。

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
USER FILE	(カメラ) (MCR)	LOAD : 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 SAVE : 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 INITIAL : ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 LOAD や INITIAL を行った時は、設定値を有効にするために、本機の POWER スイッチを OFF にし、再度 ON にしてください。 ・INITIAL を実行しても、TIME ZONE 項目 (➔ 110 ページ) の設定は変更されません。
REMOTE	(カメラ) (MCR)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。(➔ 21 ページ リモコンの設定) OFF : リモコンでの操作を受け付けません。 1 : 動作モード 1 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 2 : 動作モード 2 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。
1394 CONTROL	(カメラ)	1394 端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ撮影を行う場合の制御方法を設定します。 OFF : バックアップ用の機器を制御しません。 EXT : 本機の START/STOP ボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。ただし、本機は記録動作を行いません。 BOTH : 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ機器の両方で記録します。 CHAIN : 撮影中に本機のメディアが終端付近になると、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。

OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
1394 CMD SEL	(カメラ)	<p>本機の START/STOP ボタンを押した時に、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。</p> <p>REC P : 記録と記録一時停止に切り替わります。</p> <p>STOP : 記録と停止に切り替わります。</p> <p><ノート> バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がない場合は、STOP を選択してください。</p>
PC MODE	(カメラ) (MCR)	<p>データ転送に使用する端子を選択します。(USB と 1394 の同時使用はできません)</p> <p>USB DEVICE: USB 端子を使ったファイル転送モード</p> <p>1394 DEVICE : 1394 端子を使ったファイル転送モード</p> <p>1394 HOST : 1394 端子を使って P2 カードから外部ハードディスクにファイルをコピーするモード</p>
ACCESS LED	(カメラ) (MCR)	<p>アクセスランプの ON/OFF を切り替えます。</p> <p>ON : 通常通りの仕様で点灯、点滅</p> <p>OFF : いかなる場合も消灯にする</p>
REC LAMP	(カメラ)	<p>タリーランプの点灯を設定します。</p> <p>OFF : タリーランプは点灯しません</p> <p>FRONT : フロントのタリーランプ (マイクロホン側) が点灯します。</p> <p>REAR : リアのタリーランプ (ビューファインダー側) が点灯します。</p> <p>BOTH : フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。</p>
BEEP SOUND	(カメラ)	<p>ビーブ音の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>ON OFF ON に設定すると、記録中に P2 カードが FULL になった時にビーブ音を発信します。 ビーブ音を発信する時は、出力端子からの音声信号をミュートしてビーブ音を出力します。</p>
CLOCK SET	(カメラ) (MCR)	<p>本機の内蔵カレンダーを設定します。</p>

設定メニュー一覧 (つづき)

OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容																																																																																																												
TIME ZONE	(カメラ) (MCR)	<p>GMT に対して、- 12:00 から + 13:00 まで 30 分単位 (ただし + 12:45 はあり) で設定します。(下記参照) +9 : 00</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 差</th> <th>地 域</th> <th>時 差</th> <th>地 域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>00:00</td><td>グリニッジ</td><td>- 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 01:00</td><td>アゾレス諸島</td><td>- 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 02:00</td><td>中部大西洋</td><td>- 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 03:00</td><td>ブエノスアイレス</td><td>- 03:30</td><td>ニューファンドランド島</td></tr> <tr><td>- 04:00</td><td>ハリファックス</td><td>- 04:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 05:00</td><td>ニューヨーク</td><td>- 05:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 06:00</td><td>シカゴ</td><td>- 06:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 07:00</td><td>デンバー</td><td>- 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 08:00</td><td>ロサンゼルス</td><td>- 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 09:00</td><td>アラスカ</td><td>- 09:30</td><td>マルケサス諸島</td></tr> <tr><td>- 10:00</td><td>ハワイ</td><td>- 10:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 11:00</td><td>ミッドウェイ諸島</td><td>- 11:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 12:00</td><td>クワジャリン</td><td>+ 11:30</td><td>ノーフォーク島</td></tr> <tr><td>+ 13:00</td><td></td><td>+ 10:30</td><td>ロード・ハウ・アイランド</td></tr> <tr><td>+ 12:00</td><td>ニュージーランド</td><td>+ 09:30</td><td>ダーウィン諸島</td></tr> <tr><td>+ 11:00</td><td>ソロモン諸島</td><td>+ 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 10:00</td><td>グアム</td><td>+ 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 09:00</td><td>東京</td><td>+ 06:30</td><td>ラングーン</td></tr> <tr><td>+ 08:00</td><td>北京</td><td>+ 05:30</td><td>ボンベイ</td></tr> <tr><td>+ 07:00</td><td>バンコク</td><td>+ 04:30</td><td>カブール</td></tr> <tr><td>+ 06:00</td><td>ダッカ</td><td>+ 03:30</td><td>テヘラン</td></tr> <tr><td>+ 05:00</td><td>イスラマバード</td><td>+ 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 04:00</td><td>アブダビ</td><td>+ 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 03:00</td><td>モスクワ</td><td>+ 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 02:00</td><td>東ヨーロッパ</td><td>+ 12:45</td><td>チャタム諸島</td></tr> <tr><td>+ 01:00</td><td>中央ヨーロッパ</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	時 差	地 域	時 差	地 域	00:00	グリニッジ	- 00:30		- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30		- 02:00	中部大西洋	- 02:30		- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島	- 04:00	ハリファックス	- 04:30		- 05:00	ニューヨーク	- 05:30		- 06:00	シカゴ	- 06:30		- 07:00	デンバー	- 07:30		- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30		- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島	- 10:00	ハワイ	- 10:30		- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30		- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島	+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド	+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島	+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30		+ 10:00	グアム	+ 07:30		+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン	+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ	+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール	+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン	+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30		+ 04:00	アブダビ	+ 01:30		+ 03:00	モスクワ	+ 00:30		+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島	+ 01:00	中央ヨーロッパ		
時 差	地 域	時 差	地 域																																																																																																											
00:00	グリニッジ	- 00:30																																																																																																												
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30																																																																																																												
- 02:00	中部大西洋	- 02:30																																																																																																												
- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島																																																																																																											
- 04:00	ハリファックス	- 04:30																																																																																																												
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30																																																																																																												
- 06:00	シカゴ	- 06:30																																																																																																												
- 07:00	デンバー	- 07:30																																																																																																												
- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30																																																																																																												
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島																																																																																																											
- 10:00	ハワイ	- 10:30																																																																																																												
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30																																																																																																												
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島																																																																																																											
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド																																																																																																											
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島																																																																																																											
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30																																																																																																												
+ 10:00	グアム	+ 07:30																																																																																																												
+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン																																																																																																											
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ																																																																																																											
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール																																																																																																											
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン																																																																																																											
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30																																																																																																												
+ 04:00	アブダビ	+ 01:30																																																																																																												
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30																																																																																																												
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島																																																																																																											
+ 01:00	中央ヨーロッパ																																																																																																													
POWER SAVE	(カメラ)	<p>約 5 分間、OPERATION レバー、MENU ボタン、THUMBNAIL ボタン、PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン、DISP/MODE CHK ボタン、USER1-3 ボタン、EVF DTL ボタンの操作がなかった時の省電力モードを選択します。</p> <p>ON : 本機の電源を OFF の状態にします。</p> <p>OFF : 本機の電源を OFF にせずに、停止状態を保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1394 ケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源 OFF にはなりません。 この設定が ON となっても、P2 カードが挿入されていない場合は、電源 OFF になりません。 																																																																																																												
MENU INIT	(カメラ) (MCR)	<p>メニュー設定を工場出荷時の状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> TIME ZONE は変更されません。 																																																																																																												
OPERATION	(カメラ) (MCR)	<p>通電時間 (5 桁) を表示します。</p>																																																																																																												

OPTION MENU 画面

DISP/MODE CHK ボタンを押したままにして、撮影状態の内容が表示されてから MENU ボタンを押すと表示されます。ノンリニア編集時に接続状態を確認したい時に使用します。

項目	表示モード	設定内容
1394 STATUS	(カメラ) (MCR)	1394 状態表示サブ画面が表示されます。 FORMAT : 入力、もしくは出力されている信号フォーマット RATE : 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50 : 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH : 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED : 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 STATUS : 1394 デジタルインターフェイスで入力、もしくは出力されている信号の状態 VIDEO : 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 AUDIO : 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態
1394 CONFIG	(カメラ) (MCR)	1394 拡張用メニューが表示されます。 DFLT : 通常はこのままでお使いください。 1-255

故障?と思ったら (Q&A)

電源関係

電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。 	P 19
電源がかってに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの消耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、自動的に電源が切れます。設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWER SAVE 項目を確認してください。 	P 110
電源が入ってもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。電源を入れた時、CAM、MCR、PC のランプが上から順に点滅し電源が切れてしまう場合も同様です。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。 	P 18

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> • 十分に充電されていますか。AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。 • 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 • バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。 	P 18 —— ——
バッテリーが充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • DC コードが AC アダプターに接続されていませんか。DC コードを接続していると充電できません。 	——

撮影

撮影が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • POWER スイッチが ON になっていますか。 	P 22
自動でピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> • マニュアルフォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 • オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせることができます。 ピントの合いにくい場面 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠くと近くのを撮る ・ 汚れたガラスの向こうのを撮る ・ 暗い場所を撮る ・ キラキラと光るものが周りにある ・ 動きの速いものを撮る ・ コントラストの少ないものを撮る 	P 38 ——

撮影

P2 カードを正しく入れているのに撮影できない。	<ul style="list-style-type: none">• P2 カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。「PROTECT」側になっていると録画できません。• P2 カードのメモリー残量が極端に少なくなっていますか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。• P2 カードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。• 2 GB の P2 カードは使用できません。• メディア情報表示が「E」表示になっていませんか。本機でフォーマットしてください。	P 29 —— P 29 P 89
インターバル記録、ワンショット記録、ループレックができない。	<ul style="list-style-type: none">• P2 カード挿入時、DIR ENTRY NG CARD の警告が表示されていませんか。このカードではインターバル記録、ワンショット記録、ループレックはできません。本機でフォーマットしてください。	P 91

編集

ノンリニア編集ができない。	<ul style="list-style-type: none">• パソコンと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P 82
外部機器にダビングできない。	<ul style="list-style-type: none">• 外部機器は正しく接続されていますか。	P 80、81

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	<ul style="list-style-type: none">• 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。	——
------------------	---	----

再生

再生ボタンを押しても再生できない。	<ul style="list-style-type: none">• CAM モードになっていませんか。動作モードボタンを押して、MCR ランプを点灯させてください。	P 66
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">• デジタル特有の現象です。故障ではありません。	——
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。	——
本機のスピーカーから再生音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン+ を押して音量を調整してください。	P 77
ホットスワップ再生ができない。	<ul style="list-style-type: none">• 本機はホットスワップ再生に対応していません。ダビング時には一度停止し、P2 カードを入れ替えてください。	P 86

故障?と思ったら (Q&A) (つづき)

その他

SDメモリーカードが読めない。	<ul style="list-style-type: none">SDメモリーカードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。	P 32
リモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none">リモコンのコイン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池が消耗しています。新しいコイン電池と交換してください。リモコンの設定は合っていますか。リモコンと本機の [REMOTE] 設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。	P 21 P 21
本機を前後に傾けた時に、カタカタと音がする。	<ul style="list-style-type: none">MCRモードの時や、POWERスイッチがOFFの時は、カメラ部の構造にカタカタと音がする部分があります。故障ではありません。	—
電源を入れた時や、MCRモードからCAMモードに切り替えた時、一瞬カタッと音がする。	<ul style="list-style-type: none">カメラ起動時の初期化動作です。カメラ構造によるもので、故障ではありません。	—

本機搭載ドライバーのアップデート

ドライバーに関する最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

ドライバーのアップデートの際は、サムネールメニューの PROPERTY → SYSTEMINFO で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてドライバーをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

- インストールする時は、必ず AC アダプターを接続してください。
- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格に準拠したものをお使いください。
また、SD メモリーカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

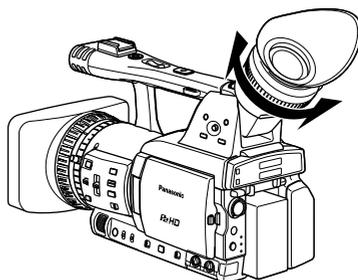
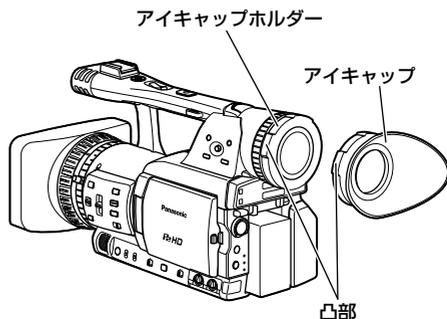
お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラをふいでください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ

- ビューファインダーの内部にホコリが付着した場合、アイキャップホルダーを取り外して除去してください。
- アイキャップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対にふかないでください。ホコリが付着した時は、エアブローなどで吹き飛ばしてください。
- アイキャップホルダーは、アイキャップを付けた状態で反時計方向に回して取り外します。(アイキャップホルダーは、固めに締めてあります。)この時、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイキャップホルダーを取り付ける時は、アイキャップホルダーとカメラ本体の凹凸部を合わせ、時計方向にカチッと音がするまで回してください。



保管上のお願い

保管時は、バッテリーを外してください。

湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

カメラレコーダー

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期間保管する場合、1年に1回は充電し、カメラで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。

P2 カード

- 本機から取り出した時は、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクタ部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。

SD メモリーカード

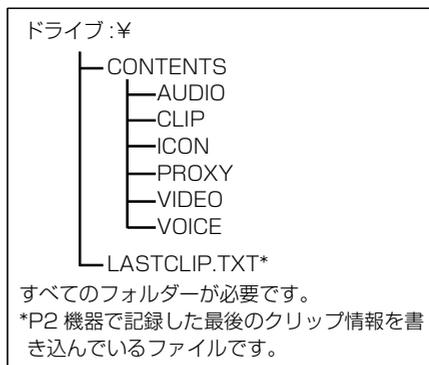
- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

P2 カード記録データの取り扱いについて

P2 カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「DVCPRO P2 シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

■ DVCPRO P2 フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXF ファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2 データとして認識できない、もしくはカードが P2 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



■ P2 カード内のデータを PC などに転送したり、PC に格納したデータを P2 カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 ビューアー」または「P2 コンテンツマネジメントソフトウェア」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。(対応 OS についても、下記ウェブサイトをご参照ください)

<http://panasonic.biz/sav/>

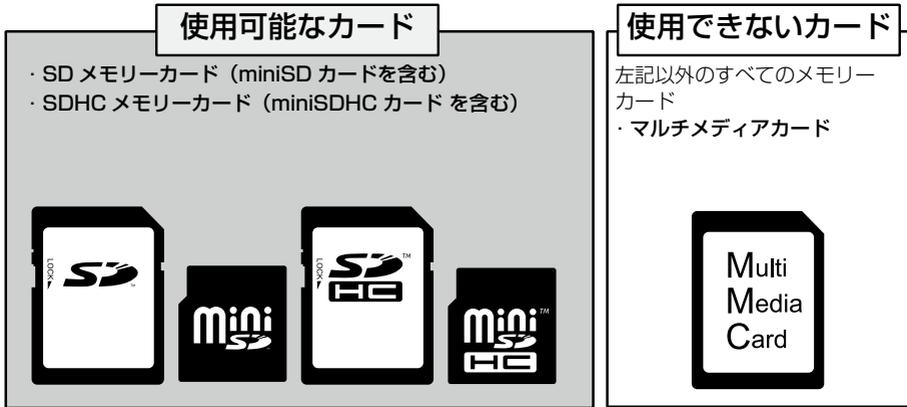
■ Microsoft Windows Explorer や Apple Finder など、一般の IT ツールを使用して PC に転送する場合は、下記のように行ってください。
なお、P2 カードへ戻す場合は、必ず P2 ビューアーをご使用ください。

- CONTENTS フォルダと LASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
- CONTENTS フォルダ以下は、操作しないでください。
- コピーする際は、CONTENTS フォルダと同時に LASTCLIP.TXT ファイルもコピーしてください。
- 複数の P2 カードを PC に転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2 カード毎にフォルダを作成してください。
- P2 カード内のデータ消去は行わないでください。
- P2 カードは必ず P2 機器でフォーマットしてご使用ください。

-
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple および Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc の米国およびその他の国における登録商標です。

メモリーカードのご使用について

本機には、SD 規格 /SDHC 規格に準拠した SD メモリーカードを入れてご使用ください。
また、miniSD/miniSDHC カードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ず、メモリーカードを入れてご使用ください。)



当社製の SD/SDHC メモリーカードおよび miniSD/miniSDHC カードをご使用いただくことをおすすめします。

本機や、本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- SDHC カードは、2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD カードロゴは、登録商標です。
- MMC (MultiMediaCard) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

-
- LEICA/ ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
 - DICOMAR/ ディコマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。
 - SD ロゴは商標です。

その他、この説明書に記載されている、各種説明、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録フォーマット一覧

			フレームレート			
			60	30P	24P	24PA
ビデオフォー マット	DVCPRO HD	1080i/60i	1080i/60i	1080i/30P over 60i	1080i/24P over 60i	1080i/24PA over 60i
		720P/60P	720P/60P	720P/30P over 60P	720P/24P over 60P	—
		720P/30PN	720P/60P ネイティブ 記録	720P/30PN	720P/24P ネイティブ 記録	—
		720P/24PN	720P/60P ネイティブ 記録	720P/30P ネイティブ 記録	720P/24PN	—
	DVCPRO50 DVCPRO DV	480i/60i	480i/60i	480i/30P over 60i	480i/24P over 60i	480i/24PA over 60i

			フレームレート																	
			12	15	18	20	21	22	24	25	26	27	28	30	32	34	36	40	44	48
ビデオ フォー マ ット	DVCPRO HD	1080i/60i	—																	
		720P/60P	720P/12P-60P over 60P																	
		720P/30PN	720P/12P-60P ネイティブ記録																	
		720P/24PN	720P/12P-60P ネイティブ記録																	
	DVCPRO50 DVCPRO DV	480i/60i	—																	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は P2HD 5 年間無償修理特約の対象商品です。お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 5 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の、P2 Asset Support System ウェブサイトをご覧ください。

日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HPX175
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

USER CLIP NAME の記録方法の選択

MENU ボタン を押し て META DATA → PROPERTY → USER CLIP NAME を選択すると、USER CLIP NAME の記録方法を選択することができます。TYPE1 と TYPE2 の二通りがあります。

● TYPE1

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP ID と同じ (UMID データ)

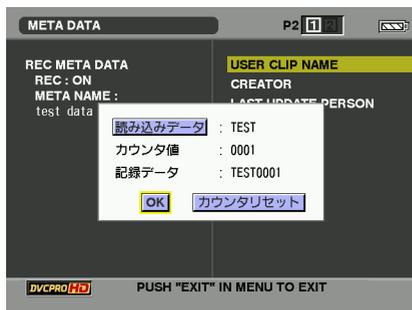
● TYPE2

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT 値 *
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP NAME と同じ

* COUNT 値は、4 桁の数字で表示されます。COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法を TYPE2 に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成することに、1 ずつ増えます。

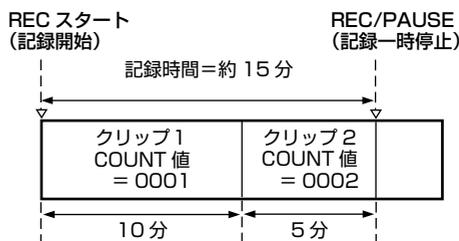
また COUNT 値は、以下の方法でリセットできます。

MENU ボタン を押し て META DATA → PROPERTY → USER CLIP NAME を選択すると、下記の画面が表示されます。「COUNT RESET」にカーソルを合わせ、OPERATION レバーを押すと、COUNT 値が 1 にリセットされます。

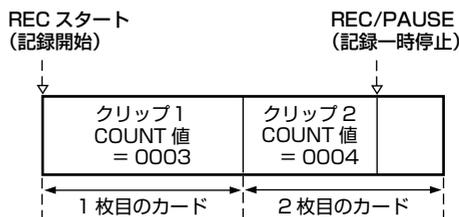


本機で 8 GB 以上の P2 カードを使用し、1 回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD 時: 約 5 分 / DVCPRO50 時: 約 10 分 / DVCPRO または DV 時: 約 20 分) を超える場合、また 1 回の記録が複数の P2 カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT 値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2 カード 1 枚での記録 (DVCPRO50) の例



P2 カード 2 枚にまたがって記録する例



なお、P2 機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ 1 のサムネールおよび COUNT 値が表示されます。

定格

【総合】

電源電圧 DC 7.2 V/7.9 V

消費電力

10.9 W (液晶モニター不使用時)

11.7 W (液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～40℃

動作周囲湿度

10%～85% (結露なし)

質量

1.9 kg (バッテリーや付属品を除く)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

154 mm × 179.5 mm × 397 mm

【カメラ】

撮像素子

CCD 型個体撮像素子 × 3

(1/3 型、インターライン型、プログレッシブ対応)

レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手ぶれ補正レンズ、

電動 / マニュアル切り替え 13 倍ズーム、

F1.6～3.0 (f=3.9 mm～51 mm)

(35 mm 換算：28 mm～368 mm)

色分解光学系

プリズム方式

ND フィルター

1/4、1/16、1/64

ゲイン切り替え

0/+3/+6/+9/+12/+18 dB (60i/60P モード)

0/+3/+6/+9/+12 dB (30P/30PN/24P/24PA/24PN モード)

シャッタースピード

プリセット

60i/60P モード:

1/60 (OFF)、1/100、1/120、

1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒

30P/30PN モード:

1/30、1/50 (OFF)、1/60、1/120、

1/250、1/500、1/1000 秒

24P/24PA/24PN モード:

1/24、1/50 (OFF)、1/60、1/120、

1/250、1/500、1/1000 秒

シンクロスキャン

60i/60P モード:1/60.0～1/249.8 秒

30P/30PN モード:1/30.0～1/249.8 秒

24P/24PA/24PN モード:1/24.0～1/249.8 秒

シャッター開角度

10 度から 360 度まで 0.5 度ステップで設定可能*1

*1 SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目が FILM CAM の場合

スローシャッタースピード

60i/60P モード:1/15、1/30 秒

30P/30PN モード:1/15 秒

24P/24PN モード:1/12 秒*1

*1 720/24P、720/24PN のみ

最低照度

3 lx (F:1.6、ゲイン+12dB、1/24 シャッター一時)

レンズフード

広視野大型レンズフード

フィルター径

72 mm

【ビデオ P2】(DVCPRO HD 1080i 720P)

サンプリング周波数

Y:74.25 MHz、P_B/P_R:37.125 MHz

量子化

8 bit

ビデオ圧縮方式

DCT+ 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

ビデオ記録ビットレート

100 Mbps

【オーディオ P2】(DVCPRO HD 1080i 720P)

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bit/4 CH

周波数特性

20 Hz～20 kHz

【メモリーカード】

映像記録フォーマット

DVCPRO HD

1080i/60i (30P over 60i、24P over

60i、24PA over 60i)

720P/60P (30P over 60P、24P over

60P)

720P/30PN (ネイティブ記録)

720P/24PN (ネイティブ記録)

DVCPR050/DVCPR0/DV

480i/60i (30P over 60i、24P over

60i、24PA over 60i)

音声記録フォーマット:

PCM デジタル記録

48 kHz 16 ビット 4CH (DVCPRO HD/DVCPRO50)

48 kHz 16 ビット 2CH/4CH 切り換え (DVCPRO/DV)

記録・再生時間:

約 8 分:

AJ-P2C008HG を 1 枚使用し、DVCPRO HD、音声 4CH で記録時

約 16 分:

AJ-P2C016RG を 1 枚使用し、DVCPRO HD、音声 4CH で記録時

約 32 分:

AJ-P2C032RG を 1 枚使用し、DVCPRO HD、音声 4CH で記録時

<ノート>

- この時間は、P2 カードに 1 ショットを連続記録した場合のものです。記録するショット数によっては、記録できる時間は上記の時間より短くなる場合があります。
- DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN を除きます。

【映像出力】

SDI 出力

BNC × 1、0.8 V_{p-p}、75 Ω

HD: SMPTE 292M/296M/299M 準拠

SD: SMPTE 259M-C/272M-A/ITU-R BT.656-4 準拠

アナログコンポーネント出力

ミニ D 端子 (D4/D3/D1 対応) × 1

Y: 1.0 V [p-p]、75 Ω

P_B/P_R: 0.7 V [p-p]、75 Ω

アナログ・コンポジット出力

ピンジャック × 1、1.0 V [p-p]、75 Ω

【オーディオ入出力】

XLR 入力

XLR (3 ピン) × 2 (INPUT 1、INPUT 2)、

LINE/MIC 切り替え、ハイインピーダンス

LINE: 0 dBu

MIC: -50 dBu/-60 dBu (メニューにて切り替え)

LINE 出力

ピンジャック × 2 (CH1、CH2)

出力: 316mV、600 Ω

内蔵マイク

ステレオマイクロホン

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1

内蔵スピーカー

20 mm 丸形 × 1

【その他入出力】

デジタルインターフェース

6 ピン、デジタル入出力 (IEEE1394 規格準拠)

USB

Type mini B コネクター (USB ver. 2.0 準拠)

カメラリモート

ミニジャック (3.5 mm 径) (FOCUS、IRIS)

スーパーミニジャック (2.5 mm 径) (ZOOM S/S)

【モニター】

LCD

3.5 インチ、液晶カラーモニター (21 万画素)

ビューファインダー

0.44 インチ、液晶カラービューファインダー (23.5 万画素)

【AC アダプター】

定格入力 100 V - 240 V AC、50/60 Hz 24 W

定格出力 7.9 V DC、1.9 A (ビデオカメラ)

8.4 V DC、1.2 A (充電時)

 は安全項目です。

質量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70.0 mm × 44.5 mm × 116.0 mm

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎(06) 6901-1161

